

基 本 計 画 書

基 本 計 画 書									
事 項	記 入 欄								
計 画 の 区 分	大学の設置							備 考	
フ リ ガ ナ 設 置 者 名	ガッコウホウジン シガガクエン 学校法人 滋賀学園								
フ リ ガ ナ 大 学 の 名 称	ビワコガクインダイガク びわこ学院大学 (Biwako-Gakuin University)								
大学本部の位置	滋賀県東近江市布施町29番地								
大 学 の 目 的	教育基本法に基づき、学校教育法の定める大学として広く知識を授けるとともに、深く専門の学術を教授研究し、幅広く高度な学識を身につけた有為な人材を育成し、もって社会の発展と学術・文化の向上に寄与することを目的とする。								
新設学部等の目的	<p>本学部は、教育分野と福祉分野の融合を図り、教育及び福祉に関する専門的知識と技術を有し、地域社会における教育・福祉の充実進展に寄与することのできる人材を養成する。</p> <p>また、子ども学科は、子どもに関わる広範な知識・技術を教授研究し、教育、保育及び福祉に関して高度な専門性を有する人材の育成を目的とする。</p>								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	
	教育福祉学部 (Faculty of Education and Welfare) 子ども学科 (Department of Child Studies)	4	80	3年次 10	340	学士 (子ども学)	平成21年4月 第1年次 平成23年4月 第3年次	滋賀県東近江市布施町29番地	
	計		80	3年次 10	340				
同一設置者内における変更状況 (定員の移行、名称の変更等)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成21年4月、滋賀文化短期大学→びわこ学院大学短期大学部に名称変更予定 ・平成21年4月、滋賀文化短期大学に新学科の設置を届出する(入学定員100人) ・平成21年度より、滋賀文化短期大学生活文化学科を学生募集停止 (△50) ・平成21年度より、滋賀文化短期大学人間福祉学科を学生募集停止 (△210) (平成20年6月届出予定) 								
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
		講義	演習	実習	計				
	教育福祉学部 子ども学科	91 科目	40 科目	18 科目	149 科目	124 単位			

学部等の名称	専任教員等						兼任 教員		
	教授	准教授	講師	助教	計	助手			
新設分	教育福祉学部 子ども学科	10 (5)	6 (4)	5 (3)	0 (0)	21 (12)	2 (0)	46 (24)	
	計	10 (5)	6 (4)	5 (3)	0 (0)	21 (12)	2 (0)	46 (24)	
既設分	該当なし	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	
	計	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	
合計		10 (5)	6 (4)	5 (3)	0 (0)	21 (12)	2 (0)	46 (24)	
教員以外の職員の概要	職 種	専 任		兼 任		計			
	事務職員	9 (6)		0 (0)		9 (6)			
	技術職員	0 (0)		0 (0)		0 (0)			
	図書館専門職員	2 (2)		2 (2)		4 (4)			
	その他の職員	0 (0)		2 (2)		2 (2)			
	計	11 (8)		4 (4)		15 (12)			
校地等	区 分	専 用		共 用		共用する他の 学校等の専用		計	滋賀文化 短期大学 と共用
	校舎敷地	0 m ²		3,573 m ²		0 m ²		3,573 m ²	
	運動場用地	0 m ²		6,741 m ²		0 m ²		6,741 m ²	
	小 計	0 m ²		10,314 m ²		0 m ²		10,314 m ²	
	そ の 他	0 m ²		10,337 m ²		0 m ²		10,337 m ²	
	合 計	0 m ²		20,651 m ²		0 m ²		20,651 m ²	
校 舎	専 用		共 用		共用する他の 学校等の専用		計	滋賀文化 短期大学 と共用	
	1,424 m ² (1,424 m ²)		5,298 m ² (5,298 m ²)		185 m ² (185 m ²)		6,907 m ² (6,907 m ²)		
教室等	講義室	演習室		実験実習室		情報処理学習施設		語学学習施設	大学全体
	8 室	5 室		20 室		2 室 (補助職員1人)		1 室 (補助職員一人)	
専任教員研究室		新設学部等の名称				室 数			申請学部 全体
		教育福祉学部				21 室			

図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	大学全体での共用分 図書 24,069冊 〔1,478冊〕 学術雑誌 39種〔2種〕	
	教育福祉学部	26,000〔1,800〕 (24,794〔1,667〕)	70〔15〕 (60〔9〕)	8〔8〕 (5〔5〕)	730 (688)	9,000 (8,786)	70 (62)		
	計	26,000〔1,800〕 (24,794〔1,667〕)	70〔15〕 (60〔9〕)	8〔8〕 (5〔5〕)	730 (688)	9,000 (8,786)	70 (62)		
図書館	面積	閲覧座席数		収納可能冊数		大学全体			
	1,098 m ²	156 席		70,000 冊					
体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体				
	879 m ²	テニスコート 2面							-
経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む)を含む。
		教員1人当たり研究費等	350千円	350千円	図書購入費	8,000千円	3,620千円	3,900千円	
	共同研究費等	2,000千円	2,000千円	設備購入費	132,000千円	2,920千円	2,700千円		
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,280千円	1,050千円	1,050千円	1,050千円	-	-		
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常経費補助金、資産運用収入、雑収入等						
附属施設の概要		該当なし							

様式第2号(その2)

教育課程等の概要

教育福祉学部子ども学科

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養教育科目	社会の理解	人権教育	1春	2			○									兼1
		法と社会(日本国憲法)	2秋		2			○								兼1
		社会科学入門	1春		2			○								兼1
		家族社会学	3春		2			○			1					
		社会調査論	1秋		2			○								
		経済学	1春		2			○		1						兼1
	小計(6科目)		2	10	0				1	0	1	0	0		兼4	
	自然の理解	滋賀の環境	1秋	2				○		1						
		自然科学入門	2春		2			○		1						
		微生物学	2秋		2			○								兼1
		生命と科学	4秋		2			○		1						
		医学概論(公衆衛生学・予防医学を含む)	2春		2			○								兼1
	物理学入門	3秋		2			○		1							
	小計(6科目)		2	10	0				3	0	0	0	0		兼2	
	人間・文化の理解	基礎心理学	1春		2			○								兼1
		宗教学	4秋		2			○								兼1
		哲学と人間	4春		2			○								兼1
		地域歴史学	1秋		2			○								兼1
生活科学入門		1秋		2			○								兼1	
国際文化論		2春		2			○				1					
小計(6科目)		0	12	0				0	0	1	0	0		兼4		
ことば・情報	基礎英語 I	1春	2				○								兼1	
	基礎英語 II	1秋	2				○								兼1	
	英会話 I	1秋		2				○							兼1	
	英会話 II	2春		2				○							兼1	
	中国語会話 I	1秋		2				○			1					
	中国語会話 II	2春		2				○			1					
	ポルトガル語会話 I	1秋		2				○							兼1	
	ポルトガル語会話 II	2春		2				○							兼1	
	小計(8科目)		4	12	0				0	0	1	0	0		兼3	
	手話・要約筆記演習	1春		1				○							兼1	
点字・ガイドヘルプ演習	1春		1				○							兼1		
小計(2科目)		0	2	0				0	0	0	0	0		兼2		
情報	情報処理論	1春		2			○			1						
	情報倫理論	1秋		2			○								兼1	
	情報処理演習 I	1春	1					○		1						
	情報処理演習 II	1秋	1					○		1						
	小計(4科目)		2	4	0				0	1	0	0	0		兼1	
大学入門	スタディ・スキルズ	1春	1					○		1	1					
	キャリアデザイン I	2春		1				○		1	1	2				
	キャリアデザイン II	2秋		1				○		1	1	2				
	小計(3科目)		1	2	0				1	2	3	0	0			
健康	運動の科学	1秋		2			○					1				
	体育実技 I	1春		1								1				
	体育実技 II	4春		1								1				
	小計(3科目)		0	4	0				0	0	1	0	0			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	学科コア科目	教育福祉学	1春	2			○			1		1			兼1 いずれか1科目 選択必修	
		子ども学総論	1秋	2			○			1	1	1				
		子ども教育学概論	1春		2			○					1			
		子ども教育学概論(養護)	1春		2			○					1			
		発達心理学	1春	2				○								
		教育心理学	1秋	2				○		1						
		教育心理学(養護)	1秋	2				○		1						
		人間福祉概論	1秋	2				○		1						
		子ども福祉学概論	1春	2				○								
		子ども学総合演習	3通	2		2			○	6	4	3				
		子ども学総合演習(養護)	3通	2		2			○		1					
		子ども学卒業研究	4通	2					○	6	5	3				
	小計(12科目)			12	12	0			7	5	3	0	0	兼2		
	子ども教育基幹科目	教職概論	1秋		2			○				1			兼1 兼1 兼1 いずれか1科目 選択履修	
		教職概論(教職)	1秋		2			○				1				
		子どもの心理	1秋		2			○		1						
		障害児教育学	2秋		2			○			1					
		教育課程論	2秋		2			○								
		教育課程論(養護)	2秋		2			○								
		地域・家庭連携論	2春		2			○				1				
		幼児理解論	1秋		2			○								
		教育相談論	2秋		2			○				1				
		教育相談論(養護)	2秋		2			○				1				
		小計(10科目)			0	20	0			1	1	2	0	0		兼2
		子ども教育展開科目	子どもと読み書き	2春		2			○		1					
	子どもと数		2春		2			○				1				
	子どもと遊び		3秋		2			○								
	子どもと音楽Ⅰ		1秋～2春		2				○							
	子どもと音楽Ⅱ		2秋～3春		2				○							
	子どもと図画工作Ⅰ		1秋～2春		2				○		1					
子どもと図画工作Ⅱ	3秋～4春			2				○		1						
子どもと運動	2秋～3春			2				○			1					
道徳教育指導論	2秋			2				○			1					
道徳教育指導論(養護)	2秋			2				○			1					
特別活動論	2秋			2				○			1					
特別活動論(養護)	2秋			2				○			1					
教育方法学	3秋			2				○			1					
教育方法学(養護)	3秋			2				○			1					
教育行政学	3春			2				○			1					
教育行政学(養護)	3春			2				○			1					
教育情報学	3秋			2				○		1						
生徒・進路指導論	3春			2				○			1					
生徒・進路指導論(養護)	3春			2				○			1					
生涯学習論	4秋			2				○			1					
学校保健論	3秋			2				○			1					
健康相談論	3秋			2				○			1					
衛生学	2秋			2				○					兼1			
養護概説	3春			2				○			1					
解剖生理学	2秋			2				○				1				
免疫・薬理学	3秋			2				○				1				
精神保健学	2秋			2				○				1				
基礎看護学	2春		4				○		1	1						
救急医学論	3秋		2				○					兼1				
小計(29科目)			0	60	0			4	2	3	0	0	兼11			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門教育科目	子ども福祉基幹科目	保育原理総論	2春	4		○										兼1	
		養護原理総論	1秋	2		○										兼1	
		現代社会と福祉Ⅰ	1秋	2		○				1							
		地域福祉論	2春	4		○				1							
		障害児保育学	2秋	2		○				1							
	小計(5科目)			0	14	0				2	1	0	0	0		兼2	
	子ども福祉科目	子ども福祉展開科目	現代社会と福祉Ⅱ	2春	2		○				1						
			社会保障論	2春	4		○				1						
			公的扶助論	3秋	4		○				1						
			家族援助論	1秋	2		○										兼1
			子どもの健全育成論Ⅰ	3春	2		○										兼1
			子どもの健全育成論Ⅱ	3秋	2		○										兼1
			食育論(食品学を含む)	1秋	2		○										兼1
			子どもの食事	3通	2			○									兼1
			子どもの保健	1秋	4		○										兼1
			子どもの保健実習	2春・2秋	1				○								兼1
			保育指導法総論	3通	2				○			1					
			保育計画論	3秋	2			○				1					
			子どもと環境	2秋～3春	2				○			1					
			子どもと健康	2通	2				○				1				
			子どもと人間関係	2通	2				○								兼1
			子どもと言葉	2秋～3春	2				○								兼1
			子どもと表現	2秋～3春	2				○								兼1
			乳児保育演習Ⅰ	2春	1				○								兼1
			乳児保育演習Ⅱ	2秋	1				○								兼1
			障害児・者福祉論	2春	4			○			1	1					兼1
			障害児保育演習	3春	1				○		1						
			養護内容演習	2春	1				○								兼1
音楽療法演習			4秋	1				○								兼1	
遊戯療法演習	3秋	2				○								兼1			
言語療法演習	3春	1				○								兼1			
社会福祉援助技術論	2秋	4			○									兼1			
社会福祉援助技術演習Ⅰ	2秋	2				○								兼2			
社会福祉援助技術演習Ⅱ	3春	2				○			1					兼1			
小計(28科目)			0	59	0				1	4	1	0	0		兼15		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	発展科目	教職実践演習	4通	2			○		1		1				☆小教 ☆幼教	
		教科教育法 国語	2秋	2		○			1						☆小教	
		教科教育法 社会	2秋	2		○									兼1 ☆小教	
		教科教育法 算数	2秋	2		○									兼1 ☆小教	
		教科教育法 理科	3春	2		○									兼1 ☆小教	
		教科教育法 生活	3春	2		○			1						兼2 ☆小教	
		教科教育法 音楽	3春	2		○									兼1 ☆小教	
		教科教育法 図画工作	3秋	2		○									兼1 ☆小教	
		教科教育法 家庭	3春	2		○									兼1 ☆小教	
		教科教育法 体育	2秋	2		○						1			☆小教	
		総合的学習の研究(介護等体験を含む)	3春	2				○			2				☆小教 ※講義	
		教育実習指導(小学校)	3春	1				○		2		2			☆小教	
		教育実習(小学校)	3春	4				○		2		2			☆小教	
		上級教育実習(小学校)	4春	2				○		2		2			☆小教	
		教育実習指導(幼稚園)	3春	1				○			1				兼1 ☆幼教	
		教育実習(幼稚園)	3春	4				○			1				兼1 ☆幼教	
		上級教育実習(幼稚園)	4春	2				○			1				兼1 ☆幼教	
		看護技術演習	3通	2				○		1	1					☆養教
		看護臨床実習	3秋	2				○		1	1					☆養教
		看護実習指導	4春	1				○		1	1	1				☆養教
		看護実習	4春	4				○		1	1	1				☆養教
		保育実践演習	3春	1				○			1					☆幼教 ☆保育
		保育実習指導	2秋~3春	1				○		1	2					兼1 ☆保育
		保育実習Ⅰ(施設)	2秋	2				○		1	2					兼1 ☆保育
		保育実習Ⅰ(保育所)	3春	2				○		1	2					兼1 ☆保育
		保育実習Ⅱ	4春	2				○		1	2					兼1 ☆保育
		保育実習Ⅲ	4春	2				○		1	2					兼1 ☆保育
小計(27科目)			0	55	0			4	4	3	0	0		兼7		
合計(149科目)		—	23	276	0			10	6	5	0	0		兼46		
学位又は称号	学士(子ども学)				学位又は学科の分野				教育学・保育学関係		社会学・社会福祉学関係					
卒業要件及び履修方法								授業期間等								
教養教育科目-以下の要件を含め34単位以上を修得 「社会の理解」より 6単位(必修2単位を含む)以上を修得 「自然の理解」より 6単位(必修2単位を含む)以上を修得 「人間・文化の理解」より 4単位以上を修得 「ことば・情報科目」より 必修(「基礎英語Ⅰ」(2単位)、「基礎英語Ⅱ」(2単位))2科目4単位を修得 「英会話Ⅰ」(2単位)、「英会話Ⅱ」(2単位)、 「中国語会話Ⅰ」(2単位)、「中国語会話Ⅱ」(2単位) 同系2科目 「ポルトガル語会話Ⅰ」(2単位)、「ポルトガル語会話Ⅱ」(2単位) 4単位以上を修得 「手話・要約筆記」(1単位)、「点字・ガイドヘルプ」(1単位)から1単位以上を修得 必修(「情報処理演習Ⅰ」(1単位)、「情報処理演習Ⅱ」(1単位))2科目2単位を修得 「情報処理論」(2単位)、「情報倫理論」(2単位)から2単位以上を修得 「大学入門」より 2単位(必修1単位を含む)以上を修得 「健康」より 3単位以上を修得 専門教育科目-以下の要件を含め90単位以上を修得 「学科コア科目」より 必修18単位(選択必修6単位を含む)を修得 『子ども教育コース』選択者は 子ども教育基幹科目14単位 子ども教育展開科目から12単位以上 子ども福祉科目から14単位以上を修得 『子ども福祉コース』選択者は 子ども福祉基幹科目14単位 子ども福祉展開科目から12単位以上 子ども教育科目から14単位以上を修得								1学年の学期区分		2	期					
								1学期の授業期間		15	週					
								1時限の授業時間		90	分					
●専門教育科目発展科目は備考欄に記載する免許・資格名(略称)の各課程登録者のみ履修することができる。 ☆小教=小学校教諭一種免許取得課程 ☆幼教=幼稚園教諭一種免許取得課程 ☆養教=養護教諭一種免許取得課程 ☆保育=保育士資格取得課程 ●履修科目の登録上限:半期20単位(学外実習科目、集中授業科目を除く)																

様式3号(その2)

教 員 の 氏 名 等

(教育福祉学部 子ども学科)							
専任 等区 分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	保有 学位等	担当授業科目名称	担当 単位 数	年間 開講 数	現職 (就任年月)
							開設後の職 (就任年月)
専	教授 (学部長)	チハラ タカシ 千原 孝司 ＜平成21年4月＞	教育学修士	子ども学総論※	0.6	1	滋賀大学教育学部 教授 (平成21年4月)
				教育心理学 教育心理学(養護) 教育情報学 子どもの心理	2 2 2 2	1 1 1 1	
専	教授	アキモト ユキシゲ 秋元 幸茂 ＜平成21年4月＞	芸術学士	子ども学総合演習	2	1	滋賀大学 名誉教授 (平成12年4月)
				子ども学卒業研究 子どもと図画工作Ⅰ 子どもと図画工作Ⅱ	2 2 2	1 2 2	
専	教授	ナカニシ マサミ 中西 正己 ＜平成21年4月＞	理学博士	滋賀の環境	2	1	総合地球環境学 研究所名誉教授 (平成15年3月)
				子ども学総合演習 子ども学卒業研究 教科教育法 生活※ 教育実習指導(小学校) 教育実習(小学校) 上級教育実習(小学校)	2 2 0.7 1 4 2	1 1 1 1 1 1	
専	教授	タカハシ サトイ 高橋 里玄 ＜平成22年4月＞	修士 (社会福祉学)	基礎看護学※	1	1	白鳳女子短期大学 専攻科助産学専攻 教授 (平成19年4月)
				看護技術演習 看護臨床実習 養護実習指導 養護実習	2 2 1 4	1 1 1 1	
専	教授	オオエ ヒデオ 大江 秀雄 ＜平成22年4月＞	農学博士	自然科学入門	2	1	滋賀文化短期大学 人間福祉学科 教授 (平成6年4月)
				生命と科学	2	1	
専	教授	タナカ ヒロカズ 田中 博一 ＜平成22年4月＞	文学修士	人間福祉概論	2	1	滋賀文化短期大学 人間福祉学科 教授 (平成6年4月)
				子ども学総合演習 子ども学卒業研究	2 2	1 1	
兼任	講師	タナカ ヒロカズ 田中 博一 ＜平成21年10月＞	文学修士	人間福祉概論	2	1	びわこ学院大学 教育福祉学部 教授 (平成22年4月)
専	教授	ニシウマ サブロウ 西馬 三郎 ＜平成21年4月＞	博士 (工学)	物理学入門	2	1	滋賀文化短期大学 生活文化学科 教授 (平成18年4月)
							びわこ学院大学 教育福祉学部 教授 (平成21年4月)
専	教授	イトウ キミコ 位藤 紀美子 ＜平成21年4月＞	修士 (教育学)	子ども学総合演習	2	1	京都教育大学 教育学部 教授 (平成9年4月)
				子ども学卒業研究 子どもと読み書き 教職実践演習 教科教育法 国語 教育実習指導(小学校) 教育実習(小学校) 上級教育実習(小学校)	2 2 2 2 1 4 2	1 1 1 1 1 1 1	
専	教授	エンドウ ロクロウ 遠藤 六朗 ＜平成22年4月＞	教育学学士	障害児保育学	2	1	滋賀文化短期大学 人間福祉学科 教授 (平成18年4月)
				子ども学総合演習 子ども学卒業研究 障害児保育演習 障害児・者福祉論※	2 2 1 2	1 1 2 1	

専任等区分	職位	フリガナ氏名 <就任(予定)年月>	保有学位等	担当授業科目名称	担当単位数	年間開講数	現職 (就任年月)
専	教授	ヒラオ リョウジ 平尾 良治 <平成22年4月>	文学修士	社会調査論	2	1	滋賀文化短期大学 人間福祉学科 教授 (平成17年4月)
				キャリアデザインⅠ	1	1	
				キャリアデザインⅡ	1	1	びわこ学院大学 教育福祉学部 教授 (平成22年4月)
				教育福祉学※	1	1	
				子ども学総合演習	2	1	
				子ども学卒業研究	2	1	
				地域福祉論	4	1	
				保育実習指導	1	1	
				保育実習Ⅰ(施設)	2	1	
				保育実習Ⅰ(保育所)	2	1	
保育実習Ⅱ	2	1					
保育実習Ⅲ	2	1					
兼任	講師	ヒラオ リョウジ 平尾 良治 <平成21年4月>	文学修士	教育福祉学※	1	1	
				社会調査論	2	1	
専	准教授	ムラニシ ミエコ 村西 美恵子 <平成23年4月>	修士 (社会福祉学)	子ども学総合演習(養護)	2	1	滋賀文化短期大学 人間福祉学科 准教授 (平成17年4月)
				子ども学卒業研究	2	1	
				学校保健論	2	1	びわこ学院大学 教育福祉学部 教授 (平成23年4月)
				養護概説	2	1	
				基礎看護学※	1	1	
				総合的学習の研究(介護等体験を含む)	2	1	
				看護技術演習	2	1	
				看護臨床実習	2	1	
				養護実習指導	1	1	
				養護実習	4	1	
兼任	講師	ムラニシ ミエコ 村西 美恵子 <平成22年4月>	修士 (社会福祉学)	基礎看護学※	1	1	
専	准教授	ニシカワ マサアキ 西川 正晃 <平成22年4月>	教育学修士	保育指導法総論	2	2	関西国際大学 教育学部 准教授 (平成19年4月)
				子どもと環境	2	2	
				子ども学総合演習	2	1	びわこ学院大学 教育福祉学部 准教授 (平成22年4月)
				子ども学卒業研究	2	1	
				教育実習指導(幼稚園)	1	1	
				教育実習(幼稚園)	4	1	
上級教育実習(幼稚園)	2	1					
専	准教授	ヤスタ ヨシト 安田 誠人 <平成21年4月>	修士 (教育学)	子ども学総論※	0.7	1	滋賀文化短期大学 人間福祉学科 准教授 (平成17年4月)
				障害児教育学	2	1	
				教育相談論	2	1	びわこ学院大学 教育福祉学部 准教授 (平成21年4月)
				教育相談論(養護)	2	1	
				子ども学総合演習	2	1	
				子ども学卒業研究	2	1	
				障害児・者福祉論※	1	1	
				社会福祉援助技術演習Ⅱ	2	2	
				総合的学習の研究(介護等体験を含む)	2	1	
				保育実習指導	1	1	
				保育実習Ⅰ(施設)	2	1	
				保育実習Ⅰ(保育所)	2	1	
				保育実習Ⅱ	2	1	
保育実習Ⅲ	2	1					
専	准教授	カラスノ タケン 鳥野 猛 <平成21年4月>	修士 (社会福祉学)	キャリアデザインⅠ	1	1	滋賀文化短期大学 人間福祉学科 准教授 (平成15年4月)
				キャリアデザインⅡ	1	1	
				子ども学総合演習	2	1	びわこ学院大学 教育福祉学部 准教授 (平成21年4月)
				子ども学卒業研究	2	1	
				現代社会と福祉Ⅰ	2	1	
				社会保障論	4	1	
				現代社会と福祉Ⅱ	2	1	
				公的扶助論	4	1	
専	准教授	コウジキ トモハル 上月 智晴 <平成21年4月>	修士 (教育学)	子どもと運動	2	2	滋賀文化短期大学 人間福祉学科 准教授 (平成18年4月)
				子ども学総合演習	2	1	
				子ども学卒業研究	2	1	びわこ学院大学 教育福祉学部 准教授 (平成21年4月)
				保育計画論	2	1	
				保育実践演習	1	1	
				保育実習指導	1	1	
				保育実習Ⅰ(施設)	2	1	
				保育実習Ⅰ(保育所)	2	1	
				保育実習Ⅱ	2	1	
				保育実習Ⅲ	2	1	

専任 等区 分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	保有 学位等	担当授業科目名称	担当 単位 数	年間 開講 数	現職 (就任年月)
専	准教授	ナガミネ トモマサ 長嶺 共全 <平成21年4月>	博士 (工学)	情報処理論	2	1	滋賀文化短期大学 人間福祉学科 准教授 (平成17年4月)
				情報処理演習Ⅰ	1	2	
				情報処理演習Ⅱ	1	2	
				スタディ・スキルズ	1	1	びわこ学院大学 教育福祉学部 准教授 (平成21年4月)
専	講師	ニキ ユキオ 仁木 幸男 <平成22年4月>	修士 (教育学)	子ども学総合演習	2	1	早稲田大学 教育総合研究所 研究協力員 (平成18年4月)
				子ども学卒業研究	2	1	
				子どもと教	2	1	
				道徳教育指導論	2	1	びわこ学院大学 教育福祉学部 講師 (平成22年4月)
				道徳教育指導論(養護)	2	1	
				特別活動論	2	1	
				特別活動論(養護)	2	1	
				生徒・進路指導論	2	1	
				生徒・進路指導論(養護)	2	1	
				教職実践演習	2	1	
				養護実習指導	1	1	
				養護実習	4	1	
専	講師	パン ジュイン 逢 軍 <平成21年4月>	博士 (社会学) 修士 (人文学)	家族社会学	2	1	同志社大学社会学部 嘱託講師 (平成15年4月)
				国際文化論	2	1	
				中国語会話Ⅰ	2	1	
				中国語会話Ⅱ	2	1	びわこ学院大学 教育福祉学部 講師 (平成21年4月)
				スタディ・スキルズ	1	1	
専	講師	オクダ アイコ 奥田 愛子 <平成21年4月>	修士 (体育学)	運動の科学	2	1	名古屋大学 総合保健体育科学センター 研究員 (平成7年4月)
				体育実技Ⅰ	1	2	
				体育実技Ⅱ	1	1	
				子どもと健康	2	2	びわこ学院大学 教育福祉学部 講師 (平成21年4月)
				健康相談論	2	1	
				教科教育法 体育	2	1	
				教育実習指導(小学校)	1	1	
				教育実習(小学校)	4	1	
上級教育実習(小学校)	2	1					
専	講師	ミヤサカ トモユキ 宮坂 朋幸 <平成22年4月>	博士 (教育学) 修士 (文学)	キャリアデザインⅠ	1	1	滋賀文化短期大学 人間福祉学科 講師 (平成19年4月)
				キャリアデザインⅡ	1	1	
				教育福祉学※	1	1	
				子ども学総論※	0.7	1	びわこ学院大学 教育福祉学部 講師 (平成22年4月)
				子ども教育学概論	2	1	
				子ども教育学概論(養護)	2	1	
				教職概論	2	1	
				教職概論(養護)	2	1	
				子ども学総合演習	2	1	
				子ども学卒業研究	2	1	
兼任	講師	ミヤサカ トモユキ 宮坂 朋幸 <平成21年4月>	博士 (教育学) 修士 (文学)	教育福祉学※	1	1	
				子ども学総論※	0.7	1	
				子ども教育学概論	2	1	
				教職概論	2	1	
専	講師	アサダ ショウヘイ 浅田 昇平 <平成21年4月>	修士 (人間科学)	キャリアデザインⅠ	1	1	京都教育大学 学生部教務課 事務補佐 (平成19年4月)
				キャリアデザインⅡ	1	1	
				教育行政学	2	1	
				教育行政学(養護)	2	1	びわこ学院大学 教育福祉学部 講師 (平成21年4月)
				地域・家庭連携論	2	1	
				子ども学総合演習	2	1	
				子ども学卒業研究	2	1	
				生涯学習論	2	1	
				教育方法学	2	1	
				教育方法学(養護)	2	1	
				教育実習指導(小学校)	1	1	
				教育実習(小学校)	4	1	
				上級教育実習(小学校)	2	1	
兼任	講師	カワシマ ジュンジロウ 川島 順次郎 <平成21年4月>	学芸学士	人権教育	2	1	滋賀県彦根市立中学校 教諭 (平成8年3月まで)
							びわこ学院大学 教育福祉学部 非常勤講師 (平成21年4月)

専任 等区 分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	保有 学位等	担当授業科目名称	担当 単位 数	年間 開講 数	現職 (就任年月)
兼任	講師	ワタナベ アキヒコ 渡邊 暁彦 <平成22年10月>	修士 (法学)	法と社会(日本国憲法)	2	1	滋賀大学 教育学部 講師 (平成12年10月)
							びわこ学院大学 教育福祉学部 非常勤講師 (平成22年10月)
兼任	講師	カド ショウゾウ 角 省三 <平成21年4月>	法学士	社会科学入門	2	1	元 時事通信社 参与 (平成19年3月まで)
							びわこ学院大学 教育福祉学部 非常勤講師 (平成21年4月)
兼任	講師	シンソ タカシロウ 新祖 隆志郎 <平成21年4月>	修士 (商学)	経済学	2	1	同志社大学大学院 商学研究科博士後期課程 在学中 (平成19年4月)
							びわこ学院大学 教育福祉学部 非常勤講師 (平成21年4月)
兼任	講師	シンヤ ヒサユキ 新屋 久幸 <平成22年4月>	医学博士	医学概論(公衆衛生学・予防医学を含む) 衛生学 解剖生理学 救急医学論	2 2 2 2	1 1 1 1	しんや医院 院長 (平成元年4月)
							びわこ学院大学 教育福祉学部 非常勤講師 (平成22年4月)
							明治鍼灸大学 教授 (平成元年3月)
							びわこ学院大学 教育福祉学部 非常勤講師 (平成22年10月)
兼任	講師	アマガイ タカシ 雨貝 孝 <平成22年10月>	理学博士 医学博士	微生物学 免疫・薬理学	2 2	1 1	元 京都大学教育学部 研究員 (平成8年3月まで)
							びわこ学院大学 教育福祉学部 非常勤講師 (平成21年4月)
兼任	講師	フクダ カナエ 福田 香苗 <平成21年4月>	教育学修士 ※	基礎心理学 発達心理学	2 2	1 1	元 京都大学教育学部 研究員 (平成8年3月まで)
							びわこ学院大学 教育福祉学部 非常勤講師 (平成21年4月)
兼任	講師	フジタ マサヒロ 藤田 正浩 <平成24年4月>	文学修士 ※	宗教学 哲学と人間	2 2	1 1	滋賀文化短期大学 人間福祉学科 教授 (平成18年4月)
							びわこ学院大学 教育福祉学部 非常勤講師 (平成24年4月)
兼任	講師	ナカジマ ノブオ 中島 伸男 <平成21年10月>	郵政省電気通 信学園 卒	地域歴史学	2	1	滋賀県東近江市 野々宮神社 宮司 (平成8年2月)
							びわこ学院大学 教育福祉学部 非常勤講師 (平成21年10月)
兼任	講師	タニグチ ヒロシ 谷口 浩志 <平成21年10月>	工学士	生活科学入門	2	1	滋賀文化短期大学 生活文化学科 教授 (平成18年4月)
							びわこ学院大学 教育福祉学部 非常勤講師 (平成21年10月)
兼任	講師	フカイ エジュン 深井 恵純 <平成21年4月>	文学士	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ	2 2	2 2	元 滋賀県立高等学校 校長 (平成19年3月まで)
							びわこ学院大学 教育福祉学部 非常勤講師 (平成21年4月)
兼任	講師	ジェイソン ベインズ Jason Baynes <平成21年10月>	修士 (教育学) 修士 (人類学)	英会話Ⅰ 英会話Ⅱ	2 2	1 1	滋賀学園中学・高等学校 ALT (平成17年11月)
							びわこ学院大学 教育福祉学部 非常勤講師 (平成21年10月)

専任等区分	職位	フリガナ氏名 <就任(予定)年月>	保有学位等	担当授業科目名称	担当単位数	年間開講数	現職 (就任年月)	
兼任	講師	タケヤ クミコ 竹屋 久美子 <平成21年10月>	文学修士	ポルトガル語会話Ⅰ	2	1	滋賀県警察本部 ポルトガル語講師 (平成14年9月)	
				ポルトガル語会話Ⅱ	2	1	びわこ学院大学 教育福祉学部 非常勤講師 (平成21年10月)	
兼任	講師	ハラダ ナオコ 原田 直子 <平成21年4月>	学芸学士	手話・要約筆記演習	1	2	元 理学電気株式会社 事務員 (昭和58年6月まで)	
							びわこ学院大学 教育福祉学部 非常勤講師 (平成21年4月)	
兼任	講師	マエダ マリ 前田 真里 <平成21年4月>	文学士	点字・ガイドヘルプ演習	1	2	元 外務省大使館 専門調査員 (平成10年8月まで)	
							びわこ学院大学 教育福祉学部 非常勤講師 (平成21年4月)	
兼任	講師	オカノ ユキオ 岡野 幸夫 <平成21年10月>	博士(工学)	情報倫理論	2	1	滋賀文化短期大学 生活文化学科 教授 (平成18年4月)	
							びわこ学院大学 教育福祉学部 非常勤講師 (平成21年10月)	
兼任	講師	ヤマグチ ケイコ 山口 桂子 <平成22年4月>	短期大学卒 (保育科)	保育原理総論	4	1	社会福祉法人鶴翼会 あやめ保育所 理事長兼所長 (平成14年4月)	
							びわこ学院大学 教育福祉学部 非常勤講師 (平成22年4月)	
兼任	講師	サイトウ フミオ 斎藤 文夫 <平成21年10月>	文学士	養護原理総論	2	1	日本福祉大学社会福祉学部 社会福祉学科 准教授 (平成8年4月)	
				養護内容演習	1	2		びわこ学院大学 教育福祉学部 非常勤講師 (平成21年10月)
兼任	講師	キシモト ミノル 岸本 実 <平成22年10月>	教育学修士	教育課程論	2	1	滋賀大学 教育学部 准教授 (平成8年4月)	
				教育課程論(養護)	2	1		
				教科教育法 社会	2	1		
				教科教育法 生活※	0.6	1		びわこ学院大学 教育福祉学部 非常勤講師 (平成22年10月)
兼任	講師	スギモト エイコ 杉本 栄子 <平成21年10月>	短期大学卒 (幼児教育学科)	幼児理解論	2	1	元 滋賀県愛知郡 愛荘町立幼稚園 主任教諭 (平成19年3月まで)	
				子どもと人間関係	2	2		
				教育実習指導(幼稚園)	1	1		
				教育実習(幼稚園)	4	1		
				上級教育実習(幼稚園)	2	1		びわこ学院大学 教育福祉学部 非常勤講師 (平成21年10月)
				保育実習指導	1	1		
				保育実習Ⅰ(施設)	2	1		
				保育実習Ⅰ(保育所)	2	1		
兼任	講師	オクダ エンジ 奥田 援史 <平成23年10月>	体育学修士	子どもと遊び	2	1	滋賀大学 教育学部 准教授 (平成10年4月)	
							びわこ学院大学 教育福祉学部 非常勤講師 (平成23年10月)	
兼任	講師	オカモト ヒトシ 岡本 仁司 <平成21年10月>	専門学校卒 (中学校教員 養成:音楽)	子どもと音楽Ⅰ	2	2	社会福祉法人ゆたか会身体障害 者療護施設精湖園 指導員 (平成6年7月)	
				子どもと音楽Ⅱ	2	2		
				音楽療法演習	1	1		びわこ学院大学 教育福祉学部 非常勤講師 (平成21年10月)
兼任	講師	サノ ハルミ 佐野 晴美 <平成21年10月>	修士 (教育学)	子どもと音楽Ⅰ	2	2	滋賀文化短期大学 人間福祉学科 非常勤講師 (平成12年4月)	
				子どもと音楽Ⅱ	2	2		びわこ学院大学 教育福祉学部 非常勤講師 (平成21年10月)

専任等区分	職位	フリガナ氏名 <就任(予定)年月>	保有学位等	担当授業科目名称	担当単位数	年間開講数	現職 (就任年月)
兼任	講師	フジカワ ジュンコ 藤川 順子 <平成21年10月>	修士 (教育学)	子どもと音楽Ⅰ 子どもと音楽Ⅱ	2 2	2 2	元 相愛大学音楽研究所 助手 (平成12年3月まで)
							びわこ学院大学 教育福祉学部 非常勤講師 (平成21年10月)
兼任	講師	ミネオ ケイコ 嶺尾 圭子 <平成21年10月>	修士 (教育学)	子どもと音楽Ⅰ 子どもと音楽Ⅱ	2 2	2 2	カラコンエ主催によるピアノ教室 講師 (平成8年4月)
							びわこ学院大学 教育福祉学部 非常勤講師 (平成21年10月)
兼任	講師	コウ メグミ 黄 恵 <平成21年10月>	教育学学士	子どもと音楽Ⅰ 子どもと音楽Ⅱ	2 2	2 2	ピアノ塾(自営) 講師 (平成14年4月)
							びわこ学院大学 教育福祉学部 非常勤講師 (平成21年10月)
兼任	講師	カツミ サトコ 勝見 聡子 <平成21年10月>	学芸学士	子どもと音楽Ⅰ 子どもと音楽Ⅱ	2 2	2 2	滋賀県水口女子専門学校 非常勤講師 (平成13年4月)
							びわこ学院大学 教育福祉学部 非常勤講師 (平成21年10月)
兼任	講師	アマサ キョウコ 甘佐 京子 <平成22年10月>	看護学修士	精神保健学	2	1	滋賀県立大学人間看護学部 講師 (平成15年4月)
							びわこ学院大学 教育福祉学部 非常勤講師 (平成22年10月)
兼任	講師	カタヤマ ヒロキ 片山 弘紀 <平成22年10月>	修士 (人間科学)	社会福祉援助技術論 社会福祉援助技術演習Ⅰ	4 2	1 2	滋賀文化短期大学 人間福祉学科 講師 (平成18年4月)
							びわこ学院大学 教育福祉学部 非常勤講師 (平成22年10月)
兼任	講師	オノ トモコ 小野 朋子 <平成22年4月>	社会福祉学 修士	障害児・者福祉論※ 遊戯療法演習	1 2	1 1	名古屋福祉保育柔整専門学校 専任教員 (平成9年4月)
							びわこ学院大学 教育福祉学部 非常勤講師 (平成22年4月)
兼任	講師	オカモト アサヤ 岡本 朝也 <平成21年10月>	修士 (社会学) ※	家族援助論	2	1	元 奈良県奈良市役所 職員 (平成8年3月まで)
							びわこ学院大学 教育福祉学部 非常勤講師 (平成21年10月)
兼任	講師	ヤマト アキコ 大和 明子 <平成23年4月>	短期大学卒 (文科国語専攻)	子どもの健全育成論Ⅰ 子どもの健全育成論Ⅱ	2 2	1 1	元 社会福祉法人 京都社会福祉協議会 職員 (平成17年3月まで)
							びわこ学院大学 教育福祉学部 非常勤講師 (平成23年4月)
兼任	講師	ウマビキ ミカ 馬引 美香 <平成21年10月>	生活科学修士	食育論(食品学を含む) 子どもの食事	2 2	1 2	滋賀文化短期大学 人間福祉学科 非常勤講師 (平成14年4月)
							びわこ学院大学 教育福祉学部 非常勤講師 (平成21年10月)
兼任	講師	ハセガワ ヒサコ 長谷川 久子 <平成21年10月>	高等看護学院 卒	子どもの保健	4	1	元 滋賀県立小児 保健センター 看護師 (平成12年3月まで)
							びわこ学院大学 教育福祉学部 非常勤講師 (平成21年10月)
兼任	講師	アラカワ イクミ 荒川 育美 <平成22年4月>	保健専門学校 卒 (助産学科)	子どもの保健実習	1	2	元 医療法人友仁会 山崎病院母乳育児相談室 看護師・助産師 (平成17年3月まで)
							びわこ学院大学 教育福祉学部 非常勤講師 (平成22年4月)

専任等区分	職位	フリガナ氏名 <就任(予定)年月>	保有学位等	担当授業科目名称	担当単位数	年間開講数	現職 (就任年月)
兼任	講師	シブヤ イクコ 渋谷 郁子 <平成22年10月>	修士 (人間科学)	子ども言葉	2	2	立命館大学大学院 文学研究科心理学専攻 在学中 (平成17年4月)
							びわこ学院大学 教育福祉学部 非常勤講師 (平成22年10月)
兼任	講師	クボ オサミ 久保 修三 <平成22年10月>	芸術学士	子どもと表現	2	2	教育研究グループ 「音楽グルメの会」主宰 (平成12年10月)
							びわこ学院大学 教育福祉学部 非常勤講師 (平成22年10月)
兼任	講師	クリヤマ ツネコ 栗山 恒子 <平成22年4月>	短期大学卒 (社会福祉学 科)	乳児保育演習Ⅰ	1	2	元 京都市民生局保育課 職員 (平成15年3月まで)
				乳児保育演習Ⅱ	1	2	びわこ学院大学 教育福祉学部 非常勤講師 (平成22年4月)
兼任	講師	ナカタニ ハジメ 中谷 芽 <平成23年4月>	言語訓練専門 職員養成学校 修了	言語療法演習	1	1	社会福祉法人びわこ学園 第一びわこ学園 言語聴覚士 (平成5年4月)
							びわこ学院大学 教育福祉学部 非常勤講師 (平成23年4月)
兼任	講師	ヨシヒロ ジュンイチ 吉弘 淳一 <平成21年4月>	修士 (教育学) 修士 (社会学)	子ども福祉学概論	2	1	福井県立大学看護 福祉学部社会福祉学科 准教授 (平成17年4月)
				社会福祉援助技術演習Ⅰ	2	2	びわこ学院大学 教育福祉学部 非常勤講師 (平成21年4月)
				社会福祉援助技術演習Ⅱ	2	2	
兼任	講師	イワモト ミツエ 岩本 光恵 <平成23年4月>	家政学士	教科教育法 家庭	2	1	滋賀学園中学・高等学校 教育顧問 (平成19年4月)
				教科教育法 生活※	0.7	1	びわこ学院大学 教育福祉学部 非常勤講師 (平成23年4月)
兼任	講師	マキノ ジュンコ 牧野 淳子 <平成23年4月>	教育学修士 博士(文学)	教科教育法 音楽	2	1	元 京都府京都市立中学校教諭 (昭和61年3月まで)
							びわこ学院大学 教育福祉学部 非常勤講師 (平成23年4月)
兼任	講師	ニイゼキ シンヤ 新開 伸也 <平成23年10月>	修士(教育学)	教科教育法 図画工作	2	1	滋賀大学 教育学部 准教授 (平成12年4月)
							びわこ学院大学 教育福祉学部 非常勤講師 (平成23年10月)
兼任	講師	ワタナベ ノブキ 渡邊 伸樹 <平成22年10月>	博士(学術) 修士(教育学)	教科教育法 算数	2	1	京都教育大学 教育学部 准教授 (平成17年4月)
							びわこ学院大学 教育福祉学部 非常勤講師 (平成22年10月)
兼任	講師	イシカワ サトコ 石川 聡子 <平成23年4月>	博士(工学)	教科教育法 理科	2	1	大阪教育大学 教育学部 准教授 (平成20年4月)
							びわこ学院大学 教育福祉学部 非常勤講師 (平成23年4月)
兼任	講師	ムラカミ アツコ 村上 厚子 <平成22年4月>	高等看護学院 卒	基礎看護学※	2	1	元 滋賀文化短期大学 人間福祉学科 教授 (平成20年3月まで)
							びわこ学院大学 教育福祉学部 非常勤講師 (平成22年4月)

設置の趣旨等を記載した書類

1. 設置の趣旨及び必要性

滋賀文化短期大学は“東近江地域に高等教育機関を”という滋賀県と東近江市（旧八日市市）からの支援を受け、地域の要請に応える高等教育機関として誕生した。本県内においても時代変化の潮流を受け、地域を取り巻く社会構造から発生してくる諸問題も複雑多岐にわたっている。そのような背景のなかで、地域とともに歩む学校法人滋賀学園は、「学士課程」というさらに高次の教育と福祉の素養と教養を備えた幅広い職業人養成の高等教育機関を設置することこそが、地域の要請に応えることであると認識している。

(1) 教育研究上の理念、目的

本学園の建学の精神は、国際的視野に立ちながら、将来ますます複雑多様化する未来社会に対応していくことができるように、広く一般教養を高め、各自の個性を尊重し、情緒豊かな人間性を育み、人間愛に満ち、自立心に富んだ、有為の人間を育成するものであり、未来の地域社会を切り拓く創意と意欲を持った人材の育成を目指すものである。

1) 本学園における教育研究の歩みと今後の展開

初代理事長 森はなが、昭和8年に和服裁縫研究所を開設して以来、75年にわたる歩みの中で、本学園は地域に根ざした教育機関として、滋賀学園中学校・高等学校及び滋賀文化短期大学を設置し、社会の変化・要望に応え、地域の私学教育を担ってきた。

滋賀文化短期大学は、“東近江地域に高等教育機関を”という要請に応えて、平成2年に生活文化学科の単科短期大学として開学した。広く一般教養を高め、各自の個性を尊重し、情緒豊かな人間性を育み、人間愛に満ち、自立心に富んだ、有為の人間を育成するという本学園の建学の精神に従って、家庭、職場、地域社会で自立的に活動するための幅広い知識と技術の修得を目的とするものであった。

その後、少子高齢社会における地域福祉サービスを担う人材養成のため、平成6年に介護福祉・人間福祉の2専攻からなる人間福祉学科を増設した。短期大学で初めて人間福祉学科として、県と市の支援によりこの増設が実現した。さらに平成10年には人間福祉学科に児童福祉専攻を増設し、児童から高齢者に至るまでの総合的な福祉教育を担い、地域に貢献する全人教育を実施してきた。

一方、平成9年には男女共学制を実施し、門戸を拓げて、より多様な人材を養成・輩出してきた。生活文化学科からは、幅広い教養を備えた人材を、人間福祉学科からは介護福祉・社会福祉・保育などの専門的人材を輩出しており、開学以来の卒業生は約3,600名を数え、その内約2,000名は滋賀県内で活躍している。また、本学の教員は、東近江市をはじめ、県内の多くの市町において、各分野の専門家として、地域活動に貢献してきている。このように滋賀文化短期大学は、地域とともに、地域に根ざした高等教育機関として、18年の確かな歩みを遂げてきた。

しかしながら、急速に高度化、複雑化していく社会に適応して活躍できる人材を養成し

ていくためには、より長期間の教育の場を設け、さらに高度な専門的知識と技術を修得し、広い視野と教養、人間性豊かな情操を備えた人材を育成していくことがますます重要となってきた。特に、教育、子育てに関する地域・社会のニーズは、ますます高度化、専門化、多様化してきており、これまでの児童福祉教育の実践を踏まえ、更なる高度な専門職業人の養成が強く望まれている状況にある。

そこで、合併広域化した東近江市及び県中部地域における新たな時代と社会の教育・人材ニーズについて、本学園の理事会において鋭意検討を重ねてきた。そして、本学園は、短期大学では時間的制約があり、十分な教育、研究が難しい部分を強化するため、自らの教育・経営の諸資源と人材ネットワークを最大限に活用するとともに、地域社会の変わらぬ協力・支援を得て、高度な専門知識や技術の修得に加えて、それらをより高次元に活用できる人間力を培うとともに、教育と福祉の素養と深い教養を備えた幅広い職業人養成を目指す4年制大学を新設することとした。

2) 子どもを取り巻く教育福祉環境の変化

21世紀に入り、超少子高齢・人口減少社会を迎えて、子どもを取り巻く環境は大きく変化してきており、家庭や地域コミュニティの機能低下の中で、子どもの教育や子育ての問題には、深刻なものも生じており、子どもの教育、福祉、子育てへのニーズが多面的に高まってきている。そして、そのための知識や技術は、より複雑化・多様化している。

子どもの教育・学習支援には、より幅広い専門的知識・高い技術が求められており、他方で、地域社会による子ども家庭支援といった子ども福祉の考え方も広まりつつある。このような時代のなかでは、子どもに関わる広範で専門的な知識・技術を修得し、子どもに必要な社会的支援について実践的に理解し、子どもの豊かな成長を支えることができる、より高度な専門性を有する人材の育成が急務となっているといえよう。つまり、教育・福祉両面からのアプローチができる子育てのスペシャリストの養成が急務となっている。

滋賀県では、平成14年度の学校週5日制の完全実施に際して、“子どもの世紀元年”と位置づけ、「子どもの体験活動の機会と場の拡大」と「家庭教育の再生」に向けた「子どもを中心にすえたコミュニティづくり」のための「しが子どもの世紀推進事業」をスタートさせた。また、平成17年度からは、次世代育成支援行動計画「子ども世紀 しがプラン」に基づき、数値目標を定め、5か年計画で事業推進に取り組んでいる。そして、次代の社会を担う子どもたちが健やかに育つ“次世代育成型”社会の実現を掲げている。具体的な目標として、①子ども施策の質・量の転換を図る、②子育ての新たな支え合いのシステムを構築する、③少子化の流れを変える、の三つの方向を示し、行政、企業、学校、家庭、地域社会が一体となって取り組んでいくこととしている。

その具体策としては、0歳から5歳までの乳児・幼児期における成長・発達をトータルにケアし、保育・教育の質的向上を図るために、保育所と幼稚園との交流・連携事業に取り組んでいる。さらに、幼児から児童への教育の流れをスムーズに展開するために、保育所・幼稚園と小学校との連携事業を推進している。また、小学校の児童を対象とした「放課後児童クラブ」の拡充に努めている。これらの施策の拡充の中で、諸活動を担う専門の

人材の質と量の確保が重要になってきている。

本学が立地する東近江市は、二度の合併により面積約 383 平方キロメートル、人口約 12 万人の滋賀県内、中部地域の有数の都市となった。旧八日市市と旧 6 町の各地域の個性と伝統を生かしながら、東近江市としての新たな“都市・コミュニティ”づくりが急務となっている。本学園は、地域のニーズに応える高度な専門性を有する人材の輩出こそが、高等教育機関としての果たす使命と役割と考え、「びわこ学院大学教育福祉学部子ども学科」を設置することとし、地域社会の教育、福祉の活性化、更なる発展に寄与することとする。(資料-1、資料-2)

3) 中心的な学問分野・テーマ領域

① 教育福祉学とは

ヒトは 1 つの生命体、生物的存在として誕生し、乳幼児から児童にかけての子ども期の成長・発達のプロセスを経て、大人の人間という社会的存在となる。教育とは「ヒトから人間へと、子どもの個性を引き出し発展させるとともに彼らを社会化する営み」であり、福祉とは「個人の自立を支援し、人間としての生を社会的にサポートする営み」と言える。

社会的存在である人間にとって、社会からの教育と福祉という 2 つの側面からの働きかけは不可欠であり、人間は、言語を獲得し、社会規範を身につけるなど比較的長期に亘る経過を経て、個人としての固有の人生を全うしていくものと言える。子どもからオトナへの発展過程に強く影響する環境は、核家族化が進行するとともに地域社会機能が低下し、インターネットなどが普及して子どもの学習環境が急激に変化してきている。

こうした現代の状況においては、教育及び福祉の活動を統合的に教育研究する学際的な「教育福祉」分野の教育研究が要請されている。教育福祉学は、広範な分野を持つことになり、組織的、総合的に研究されることは、急を要しているが、本学では、当面の課題として対象を子どもに限定して教育研究を考えている。

② 子ども学とは

近代においては、子ども期の福祉は家族や近隣社会において、もっぱら非制度的に営まれ、その教育は幼稚園及び小学校における学校教育制度の中で実施されてきた。しかし、現代社会では核家族や共働き家庭が増大し、一方で地域コミュニティ機能が低下しており、子ども期における福祉機能の拡充が急務となってきている。さらに、教育においても、塾・予備校での学習、インターネット環境下の意図的・無意図的学習が生じており、非学校教育の領域が拡大している。子ども期を対象に教育と福祉を総合して教育研究する所以である。

ヒトから人間への発達を支援する教育、それを社会的にサポートするシステムが不可欠となっている現代社会では、子どもを総合的に研究することが急務とされ、「子ども学」が構築されつつある。

「子ども学」という学問領域においては、21 世紀を生き抜く子どもたちと社会、とり

わけ地域にとって有益であるためには、教育学や保育学、福祉学といった現場の職業のための専門知識や技術に関わる教育研究活動のみならず、経済学や法学といった社会科学系の知識、比較文化や哲学といった人文科学系の知識やそれらの考え方を応用する力も必要である。また、子どもに関わりを持つ専門的職業人は、子どもは1つの人格を有していることからして、高度に専門性を有すると同時に充実した人間性を涵養していることが、必須と言える。こうして子ども学は、子どもを、成長する人格を有した人として捉え、かつ、その社会構造や時代という文化環境に生きる存在として把握し、子どもを養育していく上で教育学・保育学・福祉学を中心に置きながら、複合的学際的な領域を教育研究活動の守備範囲として、21世紀型子ども学を構築し、発展させることを目指すものである。

子ども学を構成する領域として、医学、心理学、教育学、福祉学、社会学などが考えられる。これらの領域の本学教員がテーマを決めてプロジェクト研究を行うことで組織的総合的研究を実施する。研究テーマとしては「現代社会における子どもの実像」、「子育て及びその支援に関する地域連携（行政・家庭・大学）のあり方」など、これらを実践現場との関わりの中で研究されるべきと考えている。また、これらの研究成果を学士課程教育に如何に生かしていくかを実践的に研究する。

4) 教育研究上の到達目標

乳幼児から児童期の子どもの心身の成長・発達を連続したプロセスとしてとらえ、これに、家庭・コミュニティ環境を含めた教育、保育、福祉などの環境要因の意図が作用すると考え、このプロセスを総合的に研究する。また、学校、家庭、行政、企業、NPO等における子育て支援や教育福祉協働を効果のあるものとする連携方策の立案、その実行のためのリーダーシップとコミュニケーション力のあり方などについて実践的な研究を推進する。そして、乳幼児・児童の一人ひとりの心とからだの発達と発達支援について深く理解するとともに、子どもに関わる問題状況を発見・分析、あるいは予見して、適切なケア・指導を計画・実践できる水準の課題解決能力・応用力を育成することに係る研究を推進する。

また、専門職員として社会で活躍するためには、新卒の教員・保育士であってもベテラン教員・保育士と同水準の活動が要求されるという現実を鑑みると、ベテラン教員と新卒教員とを比較分析し、その差を埋めるべき方策について研究し、もって、その養成課程のカリキュラムの充実を図るものとする。

5) 短期大学との違い

子どもを取り巻く環境は極めて大きな変化が生じており、子どもの教育、福祉へのニーズは、さらに複合化し、高度化している。このような急激な変化に対応した新たな知識・技術の修得には、2年間では困難な状況となっており、4年間の研究・実践の視点を入れてプログラムすることによって、より複雑化・多様化している知識や技術の修得が実現できると考える。また、4年間の学士課程教育とすることで、2年間の課程では十分に教育

できなかった教養教育の充実を図り、特に3、4年次にも教養科目を配置して総合的な教養教育の実現を図ることとしている。また、専門教育に関しても、時間的に余裕ができることで、専門教育科目において広くあるいは深く学習させることができ、とくに、教育実習等に関しては時間的に充実して実施できるので、短大の場合とは倍増して専門分野での知識と技術の修得が可能となる。こうして乳幼児期から児童期の子どもの発達、教育、児童福祉をトータルに考えることのできる子ども教育・福祉のスペシャリストを育成しようとしている。また、卒業論文の作成を課すことにより、研究の方法、すなわち、問題の設定、その問題の解決のためのデータを収集・処理、そして結果をもとに問題点を考察するという一連の作業を実行することで専門領域の学修をおおいに深めることができるという点も4年制教育課程に期待できるものである。

6) 既設短期大学の改組

びわこ学院大学教育福祉学部子ども学科は、滋賀文化短期大学人間福祉学科人間福祉専攻（入学定員50人）及び児童福祉専攻（入学定員80人）を基に、子育てニーズの複雑化・多様化に対応できる子ども学を専門領域として、教育・研究する新設学部であることから、その開学に伴い、滋賀文化短期大学の人間福祉専攻及び児童福祉専攻は、学生募集を停止する。また、高齢社会の生活ニーズの多様化に対応するため、介護福祉専攻（入学定員80人）及び生活文化学科（入学定員50人）を基礎として、新たな学科（入学定員100人）の設置の届出を行う。その設置に伴い、介護福祉専攻及び生活文化学科の学生募集を停止し、人間福祉学科及び生活文化学科は在学生の卒業をもって廃止する。さらに、びわこ学院大学開学と同時に滋賀文化短期大学は、びわこ学院大学短期大学部に名称変更する。

(2) 人材養成の目標と進路

1) 目標

教育福祉学部子ども学科では、人間を全人格的に理解し、人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を持ち、広い視野と豊かな教養を有するとともに、子どもの心身の成長・発達に対し、一人ひとりの学習や生活を支援しうる教育、保育、福祉について専門的力量を有し、さらに問題を予見・発見して的確な処置のできる視座をもつ人材の養成を目指す。特に、教育現場で生じている、いじめ・不登校・引きこもりなど、様々な問題状況に対して、適切に学級運営することや保護者との間で有効なコミュニケーションを図る等、積極的に対応することのできる人材の養成、また、教師としての教育への情熱と倫理観を持ち、教育現場での困難に立ち向かう心身ともにたくましい人材の養成を目指す。こうした人材は、問題状況には多くの場合、予兆事象が先行することが知られているので、それらを敏感に察知して対応できる資質をもつ人材でもある。また、発達障害のある幼児・児童の状況についても専門知識を踏まえて、一人ひとりに効果的な支援計画が立案でき、それを実行できる技術を持つて的確に相談援助できる人材の養成を目指す。

さらに滋賀県は、環境立県をうたっており、地球環境と人類の調和的発展に向けて、地域コミュニティの中で、環境保全・エコライフを実践できる生き方を指導・支援できる人

材の養成、また、東近江市・県中部地域はポルトガル語を話すニューカマーが多く居住していることもあり、グローバル化が喧伝される昨今、多文化共生のためのコミュニケーション力を有し、外国の子どもたちにも、適切に学習支援できる人材の養成を目指すものである。

より具体的に示すならば、以上のような素養・教養を備えた専門的職業人としての幼稚園教諭、小学校教諭、養護教諭、保育士の養成を目指す。

2) 卒業後の進路

卒業後の進路として、幼稚園及び小学校の教員や保育所で保育士としての活躍、また児童館、児童相談所、児童養護施設や子育て支援センター、その他の児童福祉施設などで、子育てサポーターや不登校対応コーディネーター等子どもに関わる専門職としての活躍が考えられる。さらに、子どもに関係する教育・福祉関連企業・NPO、及び公務員や一般企業、子どもを取り巻く諸問題のライター、子どもに関係するビジネスに携わる人材など、多岐にわたる分野での活躍が考えられる。また、より専門的研究活動を目指して大学院への進学も考えられる。

3) 人材ニーズと就職の見通し

文部科学省『子どもを取り巻く環境の変化を踏まえた今後の幼児教育の在り方について（答申）』（平成17年）において、幼児教育の今後の方向性として、乳幼児から児童期までの教育と福祉の視点の重要性が示されている。また、同答申において、幼児教育と小学校教育との連携・接続の強化・改善や、幼小連携推進校の推奨、上級免許状（一種免許状）の取得促進などが、幼児教育の充実のための具体的方策として挙げられており、四年制大学での人材の養成が期待されている。

平成19年8月における滋賀県内の認定こども園は幼保連携型の公立園1か所であるが、平成20年度以降の申請見込み件数は34件となっている。北陸・近畿圏などの近隣10県を含む状況では、平成20年度以降の見込み件数を含み446園となっており、幼保一元化に対応しうる教育者・保育者の需要が高まるものと予測できる。（資料-3）

平成20年2月に厚生労働省が発表した「新待機児童ゼロ作戦 ～希望するすべての人が安心して子どもを預けて働くことができる社会を目指して～」によると、平成29年までに整備等を進めることで、保育所の受け入れ児童数（0～5歳児）を100万人増の300万人に、学童保育（放課後児童クラブ）も145万人増の213万人に増やす10年間の数値目標を掲げており、全国的に専門職員の需要増加が見込まれる。

滋賀県では、次世代育成支援行動計画の推進に向けて、子育て支援センターや放課後児童クラブ等の平成21年度までの数値目標を設定しており、完成年度以降も施設数の増加に伴い専門職員の需要増加が見込まれる。（資料-4）

文部科学省の「幼児教育振興アクションプログラム」において、質の高いきめ細かな幼児教育の提供のために、幼稚園教諭一種免許状を所有する現職幼稚園教員数を現行（約2万1千人）の2～3割増、1学級30人以下とすることが検討されている。

滋賀県における公立小学校の教職員採用見込者数は、平成 21 年度、平成 22 年度、平成 23 年度でそれぞれ、134 人、128 人、129 人であり、全国規模では、12,385 人、12,127 人、12,451 人となっている。(資料-5)

しかし、滋賀県においては、平成 20 年度には 265 人採用しており、予定数を 120 人上回る合格者を出している。これは、いわゆる団塊の世代を中心とする退職者数の急増や、小学校 3 年での 35 人学級の開始など県独自の施策である少人数学級の拡大による小学校教員の不足によるものであり、今後の小学校教員の採用数は増加傾向にある。(資料-6)

現在の養護教員は、児童生徒一人あたりの対応時間の増加により、一人ひとりに十分な対応を図ることが困難な状況にあり、また、多岐にわたった健康問題に対し、関係機関等との連携を含めた対応を図る必要がある。このため、養護教員の複数配置校の拡充が求められている。

また、全国的に保育所利用の需要が高まっているなか、滋賀県では、待機児童の待機率 0.00%を目指しており、保育所の創設や増築等の整備を推進している(平成 19 年 4 月においては、保育所数 242 施設、定員 24,978 人、待機児童 241 人となっている)。

このような理由から、教育と福祉の視点をもった子育て、子育て支援のスペシャリストの養成を目的とする本学部の創設は、教育者・保育者の質的・量的な供給不足を解消するとともに、乳幼児から児童期の充実した教育、子育て支援に資することになる。

2. 学部、学科等の特色

(1) 学部(教育福祉学部)の特色

資料-7. 1の図の下方部分で、「ヒト」が成長・発達していく過程において、教育と福祉という営みが作用する様子を示している。「個人」というのは、生物学的に規定された個人の側面を示しており、身近な「家庭」という環境と、さらに広い「地域」という環境とのかかわりの中で成長・発展を遂げるが、それは、個人への教育という働きかけと福祉という働きかけに依存している。ここでいう「教育」とは、「ヒトから人間へと、個性を引き出し発展させるとともに個人を社会化させる営み」であり、「福祉」とは、「個人の自立を支援し、人間としての生を社会的にサポートする営み」であると考えており、こうした二つの営みが、個別的な関連性を持って、個人的・家庭的・地域的な事情の下に、有効的に展開されるところに両者の統合事態が生ずる。ここに言う教育と福祉の効果的な統合事態を追究する学問を教育福祉学と考え、その教育研究組織を教育福祉学部とする。この名称を用いるもうひとつの理由は、本学の前身とも言うべき滋賀文化短期大学において、人間福祉学科(人間福祉専攻・介護福祉専攻、近年になって児童福祉専攻を増設)における教育研究資産を継承し、将来的には教育学科及び福祉学科を増設するなど充実した教育福祉学の教育研究機関とするためである。

具体的な事例で示すと、近年、社会生活上に不満を抱えたものによる無差別な殺傷事件が頻発しているが、これを単に秩序維持や社会福祉上の課題とするばかりでなく、社会教育あるいは自己開発教育など教育の視点からこの問題にアプローチする、すなわち、教育福祉学

として研究する必要性があると考え。このような領域を教育研究する機関として教育福祉学部の開設を計画した。

研究活動においては、乳幼児・児童の保育・教育、心理・発達に関する研究、子育ての心理的・教育的・社会的支援体制に関する研究、児童福祉など社会的・制度的支援体制に関する研究など、教員の個人研究のほかに、プロジェクト研究を実施して機関研究を行う。プロジェクト研究のテーマとしては、「現代社会における子どもの実像」、「子育て及びその支援に関する地域連携（行政・家庭・大学）のあり方」などである。プロジェクト研究の実践的研究に関する領域については、「子育て研究センター」がオーガナイズする。また、この子育て研究センターは、将来的には教育と福祉に関する研究の地域貢献の窓口として機能する予定である。

本学部では、広義の教育分野と福祉分野の融合を図り、福祉の視点を持って教育に関する専門的知識と技術を併せ持つ人材、また、教育の視点を持って福祉に関する専門的知識と技術を併せ持つ人材を養成する。特に教育と保育を総合的に把握し、併せて発達障害や学習障害などの特別なニーズのある幼児・児童への対応能力を備え、子育て支援分野において専門的知識と技術を備えた人材を養成する。

また、本学部においては、メンター実習制度の導入を計画している。これは正課外の教育プログラムで、関心と意欲のある学生が地元の幼稚園、小学校、保育所に勤務する教員や専門職員をメンターとし、そのメンターのサポーターとして、それぞれの現場でさまざまな教育活動に参加し、メンターから実践的指導・技術を修得することを目指す制度である。このプログラムは、1年次秋期という比較的早期から教育・保育の現場の実態に触れ、現職教員から直接に実践的指導を受けることにより、卒業後、即戦的に対処できる能力を修得させることを目指している。

(2) 学科（子ども学科）の特色

ヒトが成長・発達していく過程において、成長エネルギーが旺盛で目覚ましい発達を遂げる時期が誕生して10数年間であることは論を待たない。それゆえに、この間に教育と福祉にかかわる社会機能が制度として確立している。子ども期のそのような状況を資料—7. 1の図の上半部で示している。個々の子どもが成長・発達していく過程において、その子の個人的資質・家庭環境・その家庭を取り巻く地域環境という3つの要因がそれぞれに関連しながら、一方で、それぞれとその子の成長・発達とが相互に影響しあっていることを、図では双方向の矢印で示している。そして、この図では示されていないが、マスコミなどの社会情勢が子どもの発達に大きく影響することになる。こうした状況にある子ども期に焦点を当てて教育福祉学現象を教育研究する組織として子ども学科を設置する。

一方、子どもを取り巻く環境は激変しており、その影響で近年の子どもは以前の子どもとは様変わりしている、などといわれて、子どもに焦点を当てた研究教育組織が比較的数量多く立ち上げられている。そこでは多くは多面的に研究されて、子どものいろいろな特徴のある側面が明らかにされてきている。しかし、子どもそのものにだけ焦点を当てるのではなく、その子の特質とその子が所属する社会集団の機能とを勘案し、その子の特徴が充実しかつ所

属する社会もまた充実発展するように問題を限定して研究することもきわめて重要である。たとえば、学校をめぐるのは、6%に達するといわれる軽度発達障害児への発達支援の必要性が指摘されて久しい。それはそれで必要なことであるが、特別支援が強調されすぎてクラスの授業が成立しなくなるなど、深刻な問題が生じることがある。福祉が強調されて教育機能が崩壊しかけている事態であるが、これは教育と福祉を統合して研究することの必要性を示す事例である。学校教育の危機が叫ばれている昨今にあつて、子ども期に焦点を当てて教育福祉学的研究を推進することはとても意義深いことと考える。つまり、資料—7. 1の上半分で示しているように、子どもは、教育と福祉という制度的側面に支えられながら、家族・地域環境の下で個性を十分に開発させることができることを検証することこそが、子ども学を設置する所以である。

以上は教育福祉学部と子ども学科を教育研究の視点から説明したものであるが、これを教育課程の視点からまとめたものが資料—7. 2である。学生は入学直後から教養教育科目や初年次教育科目を履修する一方で、教育福祉学など子ども学科のコアとなる科目を履修しながら履修コース選択について考える。すなわち、教育に軸足を置いて子どもを対象にして教育福祉学を学修する（子ども教育コース）か、福祉に軸足を置いて子どもを対象にして教育福祉学を学修する（子ども福祉コース）。コースに所属して卒論研究を進める中で、互いに他コース開講科目を履修（14単位以上26単位以内必修）することで、学生は個性的な教育福祉学を構築することになる。それぞれのコースで開講される科目を履修することによって、子ども教育コースの学生は主として幼稚園教員免許、小学校教員免許などを取得することができ、子ども福祉コースの学生は主として保育士や社会福祉主事任用などの資格を取得することができる。なお、子ども学科に子ども教育コースと、子ども福祉コースを置く理由は、子どもを対象にした教育福祉学の卒論研究を指導する上で有効にするために、また、免許・資格の取得のための科目履修を分かりやすく且つ容易にするためである。

中央教育審議会答申に示された「我が国の高等教育の将来像」（平成17年1月）における「個性・特色の明確化」を踏まえ、本学子ども学科は、「子ども教育・福祉にかかわる専門的職業人養成」をその特色とするとともに、このことを通して地域社会（滋賀県及び東近江市）との連携・協力・協働を推進し、地域貢献を図るものである。

教育及び福祉は極めて実践的な行為であり、講義による学習と教育現場との有機的関連をもたせた学習を取り入れることとし、子ども教育と子ども福祉の基礎理論・技能を身につけながら、子どもの学習支援及び子育て支援の技術を修得して、実践力を培っていく。

学生は、人間学的、社会学的、心理学的など多面的な視点から子どもを観察することの意義を学び、子どもと遊び、子どもとふれあうなかで自らの課題を設定し、課題解決をしながら「子ども学」を学修する。また、実際にどのような行為が子育て支援につながるのかを課題として、具体的な場面を想定しながら、子育て支援に関わるよりよいコミュニケーション関係の創り方を身に付けていく。さらに、実践的指導力を高めるには実際に多くの教育体験が必要となることから、子どもと遊ぶ技術を修得するとともに、子どもたちが自発的、自立的な活動ができるように支援するための指導力を培う。（資料—7. 1, 資料—7. 2）

(3) 地域社会との連携・協力・協働

学内に「子育て研究センター」を設置し、① 子育て相談・発達相談、② 教育、保育者の研修や相談、③ 子育て支援活動、④ 子どもに関する研究とその情報発信を通して、地域に開かれた子育て・子育て支援の場を提供するとともに、その特徴を活かしてより実践的な子どもに関する教育研究を行うこととする。

また、地域の子ども事業への学生の積極的な参画を促し、学生が実際に多くの子ども達との触れ合うことができる活動を体験することで、在学中により多くの現場の知識・技能を吸収することを可能とする。このような活動により、早い段階から地域の子ども達との触れ合いや、地域コミュニティにおける子育ての現場に関わる機会を多くもつことで、より現場感覚を身に付けることができる。(資料－8, 資料－8. 1)

3. 大学、学部、学科等の名称、学位の名称及び収容定員

琵琶湖は、日本で最大の面積を誇り、世界有数の古代湖であり、本学はその南東部に位置する。また、本大学は地域とともに成長し、地域に根ざした人材養成を目指す高等教育機関である。そこで、大学名として、地域の風土・文化及び自然環境の象徴として“びわこ”を使用し、「びわこ学院大学」と称する。

情報化・国際化・少子高齢化した現代社会において、これまでの教育と福祉という別々の枠組みからでは捉えることのできなかつた課題・問題について、双方を統合した教育福祉の視座を持ち、それを組織的・体系的に探求・教育することを目的とすることから、学部の名称は「教育福祉学部」とする。

教育福祉学部には、子どもを対象とした教育研究を行う子どもに関わる学科を置く。すなわち、子育て・子育て支援について、教育学・保育学・福祉学を軸とした、複合学際的な領域を教育研究の活動範囲として、子どもの生命・発達・成育に関わる 21 世紀型子ども学を構築し、発展させることを目的とすることから、本学科の名称を「子ども学科」とする。将来的には、教育福祉学部に教育学科や福祉学科を設置し、教育福祉学の教育研究の組織化・体系化を図る考えである。

学位の専門分野名は、乳幼児から児童期までの子育て・子育て支援について、多角的・総合的に学習・研究し、子ども学の確立・発展に寄与することから、「学士（子ども学）」とする。

また、教育福祉学部子ども学科の入学定員は 80 名、編入学定員（3 年次）は 10 名、収容定員は 340 名とする。

なお、大学名、学部名、学科名、学位名とその国際表記は次のとおりとする。

大学名：びわこ学院大学（Biwako-Gakuin University）

学部名：教育福祉学部（Faculty of Education and Welfare）

学科名：子ども学科（Department of Child Studies）

学位名：学士（子ども学）（Bachelor of Child Studies）

4. 教育課程の編成の考え方及び特色

(1) 子ども学科の教育課程の編成の考え方

人材養成の目標で示したように、広い視野と豊かな教養を有するとともに専門知識・技術を効果的に身につけさせるために、教育課程は、① 教養教育科目、② 専門教育科目の2つの科目群によって構成される。

1) 教養教育科目

教養とは、深い学識を有していることであるが、それだけに留まらず、それらの学識を文化創造や問題解決の活動に適用できるまでの理解力を培っていることであると考えられる。

21世紀の社会に生きる市民教養として求められる人間性及び社会性を涵養するとともに、学士課程教育を効果的に行うための学習基盤の育成のために、次の科目群を設けて、いくつかの必修科目を設置する。

教養教育科目は、① 社会の理解、② 自然の理解、③ 人間・文化の理解、④ ことば・情報、⑤ 大学入門、⑥ 健康の6つのテーマの科目群から構成する。そして、本学の教育目標を実現するため、必修科目として「人権教育」、「滋賀の環境」、「基礎英語Ⅰ」、「基礎英語Ⅱ」、「情報処理演習Ⅰ」、「情報処理演習Ⅱ」、「スタディ・スキルズ」の7科目11単位を課している。

なお、①から③の科目の中には、専門教育を受けてから履修することを期待して3年次及び4年次に開講している科目があり、これはより高度な教養教育の充実を目指すものである。

2) 専門教育科目

乳児・幼児・児童の各発達段階における子どもの教育と福祉をトータルに支援・ケアするための知識と技術の修得を可能とするために、教育と福祉に係る専門科目を多数配置する。特に、教育、保育、子育て支援との交流・体験による実践、応用的な学習の機会を豊富に取り入れる。

専門教育科目群は、① 学科コア科目、② 子ども教育科目、③ 子ども福祉科目、④ 発展科目の4つの科目群から構成し、子ども教育科目及び子ども福祉科目では、各々、基幹科目と展開科目に分けて構成している。学生は1年次秋期から各自の興味・関心にしたがって子ども教育科目を中心に履修するコース、子ども福祉科目を中心に履修するコースのいずれかに所属して学修を進める。

学科コア科目はすべて必修科目で、「教育福祉」及び「子ども」を深く理解し、子どもの発達、教育福祉学にかかる基礎知識を修得するために必要となる科目群を配置している。子ども教育基幹科目には、子ども教育の基礎理論を修得するために必要となる科目群を配置し、子ども福祉基幹科目には、子ども福祉の基礎理論を修得するために必要となる科目群を配置しており、それぞれのコースに所属する学生の必修科目となっている。子ども教育展開科目には、幼児・児童の教育及び健康の支援の知識を修得するために必要となる科目群を配置し、子ども福祉展開科目には、乳幼児保育及び子育て支援の知識と技術を修得

するために必要となる科目群を配置しており、選択科目として構成している。

発展科目は、実践に係る科目で、特に本学部の人材養成の目標に掲げる4つの免許・資格の取得において必要となる科目群を主として配置しており、①小学校・幼稚園教育に係る教科教育法、演習、実習指導、実習などの科目、②養護教育に係る技術演習、実習指導、実習の科目、③保育応用に係る実習指導、実習の科目などにより構成している。

(資料-9)

(2) 教育課程の特色

1) 教養教育

教養とは、単に深い学識を身につけているだけでなく、それらの学識をもとに文化創造的な活動のできるほどの理解力やその知識をもっていることと考え、本学では、「社会」、「自然」、「人間・文化」というオーソドックスな3領域、さらに、「ことば・情報」という領域を加えて4領域に分けて科目を開講するとともに、専門教育が中心となる3、4年次配当でも教養科目を配置する。教養教育科目の中で「社会の理解」及び「自然の理解」において、本学部の特色として「人権教育」と「滋賀の環境」を配置し、人間性・社会性涵養の基盤とする。また、「ことば・情報」の中で、「手話・要約筆記演習」又は「点字・ガイドヘルプ演習」のどちらかを選択必修させることによって視聴覚障害者へのケアスキルの修得を本学部の特色とする。なお、より高度な教養教育の充実を目指して、3、4年次配当として「社会学」、「生命と科学」、「宗教学」、「哲学と人間」を開講する。

2) 専門教育

近年の各学士課程の教育課程は、「必修科目」は最小限とし、「選択科目」を大多数として、学生の多様な学習ニーズに応えるとする編成方針が多数を占めている。しかしながら、一定の教育目標・人材養成の達成のためには、コアとなる科目群の必修化は重要な事柄といえる。しかし、「必修科目」の増加は、学生にとっては負担であり、その科目に合格しないと次の実習科目等を履修できないことや卒業自体が不可となるリスクも高まることから、学生への十分な履修指導による学習意欲の向上、丁寧な授業実践と学習支援の充実を図ることで、それらのリスクを克服するものとする。

そのような中で、本学部の教育課程の特色は、専門教育科目の中の「学科コア科目」及び「子ども教育基幹科目」又は「子ども福祉基幹科目」において、必修科目の指定が多いことである。

学生は、1年次秋期から子ども教育コース、子ども福祉コースのいずれかに所属して、前者は「教育」科目を中心に、後者は「福祉」科目を中心に学修する。学科コア科目は、両コースの学生が履修しなければならない。

① 学科コア科目

子どもの期を主対象として、教育福祉学を学修する上で基礎となる科目及び卒論研究に関する科目9科目18単位を学生全員に「必修科目」として配置している。配置

する科目は「教育福祉学」「子ども学総論」「子ども教育学概論」「子ども教育学概論（養護）」（「子ども教育学概論」と「子ども教育学概論（養護）」はいずれか1科目選択必修）「子ども福祉学概論」「発達心理学」「教育心理学」「教育心理学（養護）」（「教育心理学」と「教育心理学（養護）」はいずれか1科目選択必修）「人間福祉概論」「子ども学総合演習」「子ども学総合演習（養護）」（「子ども総合演習」と「子ども総合演習（養護）」はいずれか1科目選択必修）及び「子ども学卒業研究」であり、これらの科目のうち「子ども学総合演習」「子ども学総合演習（養護）」と「子ども学卒業研究」を除き、1年次に履修し、その学習成果を「子ども教育科目」、「子ども福祉科目」、また「発展科目」へとつなげていく。

なお、「教育福祉学」は、教育を「個人の個性を引き出し発展させると共に社会化する営み」とし、福祉を「個人の自立を支援し、人間としての生を社会的にサポートする営み」と考え、この両者を発達の時期や場面で適切な統合を考察する学問と位置づけている。

② 子ども教育科目及び子ども福祉科目

学生に基礎領域を自覚させて教育福祉学を学修させるため、学習指導上緩やかな競争事態を作るため、取得する免許や資格にかかわる科目を重点的に配置することでコースと取得する免許や資格との関係を明確にするため、以上3つの理由により、子ども教育コース、子ども福祉コースという2つのコースを設定する。学生は学科コア科目（一部）や初年次教育にかかわる科目の履修を経て、1年次秋学期からいずれかのコースの所属して、子ども期を対象として教育福祉学を学修することとなる。

いずれのコースの科目群も、基幹科目群と展開科目群によって構成されている。基幹科目群には、それぞれのコースで基礎的な科目が配置されており、当該コースの学生にはすべての科目が必修となる。展開科目は教育福祉学の学修上から参考となる科目や免許・資格取得にかかわる科目が配置されており、それぞれのコースの学生は各自のコースの展開科目群から12単位以上を選択履修しなければならない。

子ども教育基幹科目群には、「教職概論」「教職概論（養護）」（「教職概論」と「教職概論（養護）」はいずれか1科目選択履修）、「子どもの心理」、「障害児教育学」、「教育課程論」、「教育課程論（養護）」（「教育課程論」と「教育課程論（養護）」はいずれか1科目選択履修）、「地域・家庭連携論」、「幼児理解論」、「教育相談論」、「教育相談論（養護）」（「教育相談論」と「教育相談論（養護）」はいずれか1科目選択履修）の計10科目（20単位）が1年次秋学期から2年次秋学期に配置されている。子ども福祉基幹科目群には、「保育原理総論」、「養護原理総論」、「現代社会と福祉Ⅰ」、「地域福祉論」、「障害児保育学」の計5科目（14単位）が、同様に、1年次秋学期から2年次秋学期に配置されている。

各コースの学生は各自のコースの展開科目を履修するとともに他コースの科目（基幹科目の履修も可能）から計14単位以上を選択履修しなければならない。これは、各自のコースの軸足を置きつつ、他コースの科目を履修することで、学生が各自特色のある教育福祉学を学修するという教育目標の達成を目指したシステムである。

③ 専門教育の体系性

子ども教育コース又は子ども福祉コースのそれぞれの学生は、他コースの「子ども福祉科目」又は「子ども教育科目」から14単位以上を履修することとして、「教育」と「福祉」の2分野でトータルに強い人材養成のための専門教育の体系性を確保している。また、2、3、4年次では、より高度な専門教育科目を提供するとともに、対話・ディスカッション型の演習を設ける。

実習・実習指導科目は、学生一人ひとりが講義や対話によって得た知識を内面化するプロセスとし、より豊かな実践的知識の形成の機会とする。

さらに、3、4年次において、「子ども学総合演習」及び「子ども学卒業研究」をそれぞれ必修として、学士課程教育の学修成果を、学生一人ひとりが卒業論文として取りまとめる。(資料-10)

3) 環びわ湖大学コンソーシアムの活用

滋賀県内の13大学・短期大学(放送大学を含む)で構成する環びわ湖大学コンソーシアムに参画し、連携単位互換制度(2007年度74科目開講)の活用により、教養教育及び専門教育における学生の幅広い学習ニーズへの対応を図る。

5. 教員組織の編成の考え方及び特色

(1) 教員配置の考え方

教員組織は、学士課程にふさわしい研究業績と豊かな教育実績を有する教員を主軸に、教授10人、准教授6人、講師5人の計21人の専任教員で構成する。

全体の配置としては、教養教育分野は教授2人、准教授1人、講師1人の計4人、教育専門分野は教授5人、准教授2人、講師4人の計11人、福祉専門分野は教授3人、准教授3人の計6人を配置している。また、学位の保有状況は、博士6人、修士13人、学士2人となっている。

教育・保育・福祉現場での諸課題に対応しうる実践力・応用力を育成・指導するために、現場経験のある実務能力を有する教員として教育分野で専任3人、非常勤2人、福祉分野では専任1人、非常勤1人を配置している。

また、専任教員の授業担当時間は「授業担当時間内規」において週6コマ(1コマ90分)が基準となっており、教育主体の教員組織の性格を有している。また、演習及び実習等においては、非常勤講師又は助手が必要に応じて補助に付く運用体制となっている。

(2) 専任教員の年齢構成と定年規程の扱い

専任教員の編成にあたっては、30代・40代の教員9人(4割)、50代・60代の教員10人(5割)、70代の教員2人(1割)と、年齢構成のバランスに配慮している。

本学の教員の定年は、定年規程において満68歳に達した学年末と規定されているが、大学設置に際して就任する教員については、附則において、5か年を超えない範囲での延長を可としている。これにより、大学創設期において、教育理念を共にした、経験豊富な人材を

登用できるものとなっている。(資料-11)

なお、平成 25 年度には、教授 4 名 (50 歳代 2 名、60 歳代 1 名、70 歳代 1 名)、講師 1 名 (50 歳代)、計 5 名を新たに採用することにより、定年退職による欠員 5 名を補充する予定である。このことにより 60 歳以上の教員は 6 名 (31.6%) となる。

6. 教育方法、履修指導方法及び卒業要件

(1) 教育・履修方法

1) 少人数及び個別の学習ニーズへの対応

演習・実習等 20 名程度の少人数の授業を主とし、学生一人ひとりの個別状況についてメール等を活用し、きめ細かく学生の自己実現と進路選択の支援に努め、「オフィス・アワー」(週 1 回) の活用を含めて学生と教員との適切で充実した関係性を保持する。

具体的には、本学部は入学定員が 80 人という小規模であることから、1 年次においては「スタディ・スキルズ」などの必修 7 科目の担当教員及び少人数で開講される選択教養教育科目の担当教員が、学生一人ひとりの学習状況へのきめ細かな助言・支援態勢をとることとする。2 年次においては、「キャリア・デザイン I」及び「キャリア・デザイン II」を担当する 4 人の教員が主軸となって、学生への進路選択・履修支援を担うこととなる。

3 年次及び 4 年次においては、「子ども学総合演習」、「子ども学卒業研究」を担当する 12 人の教員が 2 か年にわたり、5~10 人の小規模な演習の中で学生への個別的指導にあたる。

2) 学生の主体的学習を引き出す参画型授業

「子ども教育展開科目」、「子ども福祉展開科目」及び「発展科目」の科目群において「実際に体験し、経験の中から自ら主体的に学び取り、修得する」ことを重視して、演習実習・体験学習方式の授業を多く採用する。

「学科コア科目」、「子ども教育科目」及び「子ども福祉科目」の科目群の講義においても、教員からの一方的授業にならないように、ミニ質疑・グループ討議・ディベートなども織り込んで、参画型の授業を行う。また、学生の事前学習・事後学習の自立的な学習を促すための具体的な教育指導を重視する。

3) 実習現場先の指導教員・専門職員による教育・指導の重視

教育・保育・福祉の現場における多様な実習・体験学習の場を、より実質的・効果的なものとする。その効果的な実現のために、本学の OG・OB の卒業生及び地域の教育・福祉ネットワークの活用と支援により、各実習現場の指導教員・専門職員を“メンター役”に委嘱して、継続的な人間関係の中で体験・実習ができるように取り組む。学生側も、メンター役の実習先の指導教員・専門職員への“サポーター役”としての諸活動を行い、双方向型のコミュニケーションを深める。

4) セメスター制度と履修登録制限

半期完結型の4年8セメスター制度の導入により、学生の集中的な学修と効果的な履修を実現する。1セメスターの標準的な履修登録単位数を講義科目で12科目24単位として学期ごとの学習の質の保持を行う。

1年次第1セメスターの履修登録は標準20単位でスタートし、その学期の成績評価により、次のセメスターの登録上限を18単位から24単位の間とする。その半期ごとの成績評価にあたっては、GPA (Grand Point Average) を導入し、その評定平均値の点数により、登録上限の運用を行う。(資料-12)

(2) 卒業要件

本学部の教育課程において、必修科目及び選択科目の履修要件を満たすことを卒業要件とし、卒業に必要な単位数は124単位とする。その内訳は、教養教育科目から34単位以上を、専門教育科目から90単位以上を修得するものとする。

教養教育科目では、「社会の理解」より6単位(必修2単位を含む)以上を、「自然の理解」より6単位(必修2単位を含む)以上を、「人間・文化の理解」より4単位以上を、「ことば・情報」より外国語科目(必修の2科目4単位を含む)の8単位以上と、「手話・要約筆記」(1単位)、「点字・ガイドヘルプ」(1単位)から1単位以上と、情報科目(必修2科目2単位を含む)の4単位以上を、「大学入門」より2単位(必修1単位を含む)以上を、さらに「健康」より3単位以上をそれぞれ修得するものとする。

また、専門教育科目では、「学科コア科目」より必修18単位(選択必修6単位を含む)を、『子ども教育コース』の選択者は子ども教育基幹科目の必修14単位と、子ども教育展開科目から12単位以上と、子ども福祉科目から14単位以上を修得するものとし、『子ども福祉コース』の選択者は子ども福祉基幹科目の必修14単位と、子ども福祉展開科目から12単位以上と、子ども教育科目から14単位以上を修得するものとし、それぞれ専門教育科目全体で90単位以上を修得するものとする。

(3) 履修指導

新入生は、入学後半年間の進路ガイダンス情報をもとに、1年次秋期開始前に希望履修コースの届出を行う。コース選択は、「子ども教育コース」と「子ども福祉コース」のいずれかを選択することによって実行させる。

子ども教育コースでは、「福祉」に関わる基礎的素養を培いながら、子どもを対象とした教育福祉学を構築する「教育」の側面を重点的に学修するので、各自の希望により、広く子どもを対象とした教育福祉学全般を履修したり、たとえば、教育学、心理学など特定の基礎科学領域を深めて、履修することができる。

子ども福祉コースは、子どもを対象とした教育福祉学を構築する「福祉」の側面を重点的に学修するもので、履修学生の希望に従って広く子どもを対象とした教育福祉学全般を履修したり、たとえば、福祉学、保育、児童福祉などの領域を深めて履修して子どもを対象とした教育福祉学を学修するコースである。

両コースにおいては、必修科目及び選択科目として、教員免許科目、保育士資格科目が含まれており、子ども教育コースでは主として小学校、幼稚園教諭、養護教諭免許が取得でき、子ども福祉コースでは保育士、社会福祉主事任用資格が取得できる。なお、幼稚園の教員免許と保育士資格の両方を取得することがそれほど困難ではないように科目配置している。以下に、それらの履修モデルを例示する。(資料-13)

① モデルⅠ： 幼稚園教員免許取得

幼児期の成長・発達プロセスと教育の果たす役割について、福祉面からの幅広い学習を含め、専門知識と実践応用力を学ぶ。

② モデルⅡ： 小学校教員免許取得

児童期の成長・発達プロセスと教育の果たす役割について、福祉面からの幅広い学習を含め、専門知識と実践応用力を学ぶ。

③ モデルⅢ： 養護教員免許取得

幼稚園・小学校・中学校及び高等学校の保健室における、こころとからだの両面からの養護・介護活動及び健康指導について、専門知識と実践応用力を学ぶ。

④ モデルⅣ： 保育士資格取得

乳児及び幼児期の保育について、教育・福祉の両面からの幅広い学習を含め、専門知識と実践応用力を学ぶ。

⑤ モデルⅤ： 複数の免許資格取得

学生の進路選択や履修状況においては、「幼稚園教員と保育士資格」「幼稚園教員と小学校教員」「小学校教員と養護教員」などの複数の資格・免許を取得することも可能である。

7. 施設、設備等の整備計画

(1) 校地・運動場の整備計画

本学は、滋賀県東近江市布施町に位置し、東近江市南部のニュータウンに隣接して、緑の木々に囲まれた静かで教育・研究にふさわしい恵まれた教育環境にある。また、本学の近隣には、体育館、プール、弓道場、スポーツジムの備えた運動公園があり、さらに平成22年4月には、陸上競技場(4.5ヘクタール)と多目的グラウンド(4ヘクタール)を加えた総合運動公園が完成の予定である。

校地は20,651㎡を有し、運動場は6,741㎡、体育館は879㎡、テニスコートは2面あり、大学と短期大学部で共用する。大学と短期大学部の総学生数は540名になるので十分活用できる広さである。また、学生の休憩等の利用場所として、ピロティがあり、さらに前庭や中庭及び松林にベンチを整備し、学生の憩いの場となっている。

(2) 校舎等施設の整備計画

校舎全体は、6,907㎡で大学と短期大学部が共用で利用することとし、効率的な相互利用を図ることにより、4年制大学としての教育内容に十分に対応できる。

4年制大学の設置に伴い、研究・学生指導の充実を目的として、教員研究室(1人1室)、

子ども教育実習室・行動観察室、小児保健実習室、理科室及び造形室を整備、改修する。短期大学より転用する主な施設は、ピエタス館棟の子ども教育実習室(96㎡)・行動観察室(24㎡)、小児保健実習室(96㎡)、音楽室(144㎡)、ピアノレッスン室(24㎡)、ピアノ練習室(10室70㎡)、セミナー室(48㎡)、本館棟の理科室(113.4㎡)、造形室(94.5㎡)、CALL教室(121.13㎡)、教員研究室(9室)及び新館棟の教員研究室等(12室)であり、転用面積は、1,424.38㎡である。

また、共用する施設としては、事務室、講義室、コンピュータ室、図書館、保健室、学生ホール等で共用面積は、5,297.7㎡である。

(資料-14)

なお、実技系科目で使用する主な教具等の教室ごとの設備・内容は、以下のとおりである。

- ①小児保健実習室：実習台 9 台、サイド流し台 3 台、沐浴人形 2 体、乳幼児用ベッド 1 台、おむつ交換台 2 台など。
- ②理科室：実験台 7 台、サイド実験台 2 台、サイド流し台 2 台、生物顕微鏡 13 台、セテューキャビネット 2 台、製氷機キューブアイス 1 台、低温フリーザー 1 台、双眼実態顕微鏡 7 台、天体望遠鏡反射式 1 台など。
- ③音楽室：電子ピアノ 40 台、木琴 2 台、ドラム 1 セットなど。
- ④ピアノレッスン室：アップライトピアノ（椅子、インシュレーター含む） 10 台など。
- ⑤子ども教育実習室：折りたたみテーブル 2 台、子供用椅子 1 脚、エバークリーンブロック 1 セット、積み木 1 セット、滑り台 1 台、オムツ交換台 1 台など。
- ⑥行動観察室：観察カメラ装置 1 式、編集装置 1 式など。
- ⑦造形室：作業台 10 台、サイド流し台 2 台、木工用具 7 セット、版画プレス機 1 台、ビジュアルプレゼンター 1 台、データプロジェクター 1 台、電動式スクリーン 1 台など。
- ⑧CALL 教室：学習用ブースデスク 22 台、コンピュータチェア 45 脚、コンピュータ 45 台他 CALL システム 1 式、E-Learning システム 1 式など。

(3) 図書等の資料及び図書館の整備計画

本学の図書館は平成 13 年に新築したもので、2 階建て延べ 1,098.49㎡を有し、収容可能冊数は 70,000 冊である。現有の蔵書数は 47,367 冊、閲覧席数は 156 席あり、DVD やビデオの閲覧用のモニター 22 台、文献検索性用パソコン 5 台を整備し、閲覧者が自由に利用できるシステムとなっており、これらの業務は、2 人の専任司書によって行っている。したがって大学と短期大学部が共用で利用する。子ども学科の教育研究は、教育学、保育学、福祉学等の領域であり、基礎的な図書等はすでにかんりのものを整備しており、子ども学科で利用可能な図書は 23,298 冊あるが、さらに各授業科目に必要な図書等を整備することとしており、教育・保育分野 394 冊、心理学分野 415 冊、社会福祉分野 311 冊、保健分野 376 冊の専門図書と学術雑誌 12 種、視聴覚資料 30 点を整備する。また、電子ジャーナルは、心理学分野 2 誌、教育分野 3 誌を整備する。

8. 入学者選抜の概要

(1) 入学者受入れの基本方針

本学部においては教育や保育の視点からだけでなく、福祉の視点からも子どもの成長や子育てについてサポートができる人材の育成を目指している。そのためには、専門知識とともに多様な学問領域を理解するため、基礎・基本の学力が必要となる。また、学力だけではなく、学ぶ意欲、コミュニケーション能力、論理的な思考能力など、個性豊かで多彩な能力を持つ学生の受け入れを図る。具体的には、「現在の子どもについて、いろいろと専門的に研究したいと思う人」、「子どもへの深い愛情を持ち、幼児・児童教育及び保育への強い情熱を有するとともに、人間にかかわる幅広い分野に関心を持った人」、「保護者や地域コミュニティに積極的にかかわり、学校・家庭・行政・NPOなどの教育・福祉に係る連携・協働のもとに、次世代の子ども育成と支援活動に参画したい人」、「人格や発達の多様性を理解し、一人ひとりの固有の成長の可能性を信じることのできる人」、「子どもを取り巻く諸問題を真剣に受け止め、教育、保育、福祉の現場で自ら問題解決に取り組もうとする人」などを幅広く受け入れる方針である。

(2) 募集人員と選抜区分

1) 入学者

平成 21 年度

入学定員	一般選抜	大学入試 センター試験	特 別 選 抜		
			推薦入試	社会人入試	AO入試
80 名	35 名	10 名	35 名	若干名	—

※社会人入試の「若干名」は推薦入試の募集人員に含む。

平成 22 年度以降

入学定員	一般選抜	大学入試 センター試験	特 別 選 抜		
			推薦入試	社会人入試	AO入試
80 名	35 名	10 名	30 名	若干名	5 名

※社会人入試の「若干名」は推薦入試の募集人員に含む。

2) 3 年次編入学者

3 年次編入学定員	推薦入試
10 人	10 人

(3) 入学者の選抜方法

入学者選抜の基本方針を踏まえた上で、独自の学力検査による一般選抜の実施に加え、大学入試センター試験の利用、推薦入試、社会人入試などの特別選抜も取り入れることで、学力検査に偏重しない選抜方法を実施する。

なお、入学者選抜の実施に当たっては、教員予定者で構成する入試委員会を設置し、大学設置基準第 2 条の 2 及び大学入学者選抜実施要項の規定に従い、その準備から実施、合否判

定に至るまで、公正かつ妥当な方法により行うものとする。

① 一般選抜

本学部において必要な基礎学力を判定するため、学力検査を実施する。

② 大学入試センター試験

一般選抜とは違う科目で受験可能な大学入試センター試験を利用する。

③ 特別選抜（推薦入試）

学科試験を免除し、小論文、面接及び書類審査の内容を総合的に判定して行う。

④ 特別選抜（社会人入試）

学科試験を免除し、小論文、面接及び書類審査の内容を総合的に判定して行う。社会人の定義としては、大学の入学資格を有する者で2年間以上職業に従事するなどの社会経験を有する者、及び入学年度の4月1日において2年以上の年数経過の見込みのある満20歳以上の者とする。

⑤ 特別選抜（AO入試）

書類審査・複数回の面談及び課題レポート等により、出願者の幼児・児童の教育や保育に対する理解、障害に関する理解、将来の職業に対する考え方、大学での学習意欲等に配慮して判定する。

(4) 編入学者の選抜方法

i) 編入学資格

① 大学を卒業した者、または、編入学の年の3月に卒業見込みの者

② 大学に2年以上在籍し、60単位以上を修得した者、または、編入学の年の3月に修得見込みの者

③ 短期大学を卒業した者、または、編入学年の3月に卒業見込みの者

④ 文部科学大臣の定める基準を満たす専修学校専門課程（専門学校）を修了した者、または、編入学の年の3月に修了見込みの者

⑤ 前の各号に掲げるものと同等以上の学力があると本学が認める者

ii) 選抜試験等

小論文および面接を実施し、総合的に判定する。

iii) その他

① 既修得単位の認定について：科目対応表（申請書資料—37）に従って本学での修得科目・単位として認定する。

② 免許・資格の取得について：既修得科目・単位の状況により、卒業までに取得できる免許・資格が一樣でないことから、共通理解を得るために、必ず事前相談を不可欠とする。

(5) 学生確保の見通し

滋賀県の平成19年における県内の1歳ごとの年齢別人口構成は、19歳16,956人から0歳13,143人まで減少がみられるが、18歳人口を100としたときの0歳指数は82と依然として高水準である。また、合計特殊出生率1.41と普通出生率9.9‰（パーミル）は、それぞれ

全国 15 位、2 位のトップクラスにあり、滋賀県の 18 歳人口の推移、少子化のトレンドは、全国的にみると、ゆるやかなものとなっている。(資料-15)

滋賀県内の高等学校の大学等への進学状況については、平成 19 年度において 55.5%と全国 10 位の高水準にあり、地元高校生の高等教育へのニーズは高い。(資料-16)

平成 19 年度の大学進学状況を見ると、滋賀県内の高校生 6,811 人のうち、県内大学への進学者は 1,270 人であり、歩留まり率は 18.6%で、全国 34 位の低い状況にある。また、県外への進学(流出)者 5,541 人に対して県外からの進学(流入)者が 6,523 人となっている。滋賀県内における大学の新增設は、県内残留率の向上に資するとともに、他の都道府県からの流入拡大の可能性も高いといえる。(資料-17)

「子ども」を冠する学部(9 学部)の入試志願者は 3,228 人、入学者は 921 人で、倍率は 3.5 倍である。「教育福祉」を冠する学部(2 学部)では、2,846 人、591 人で、4.8 倍である。教育系学部(81 学部)では、136,926 人、25,966 人で、5.3 倍、社会福祉系学部(48 学部)では、35,632 人、10,894 人で、3.3 倍となっている。倍率について国公立別では、国立：4.1 倍、公立：5.1 倍、私立：6.3 倍となっており、子ども・教育福祉系の私立大学への学生ニーズは十分にある。(資料-18、資料-19)

教育学部(学芸学部を含む)の志願者数は、平成 10 年度から平成 19 年度にかけて、全体としては 143,109 から 144,035 人で 926 人の増加であるのに対し、私立のみでは 46,171 人から 82,437 人で 36,266 人の増加で、志願者は 1.8 倍となっており、私立大学が大きく増加している。(資料-20)

平成 17 年度から平成 19 年度にかけての教育学部(学芸学部を含む)の志願者数は、国公立では減少傾向にあるのに対し、私立では平成 17 年度から平成 18 年度では 3%の増加、平成 18 年度から平成 19 年度では 8%増加している。志願倍率においても国公立に比べて、私立は 1.9 倍から 1.8 倍となっている。(資料-21)

近畿及び近隣実績地域における、子ども・保育系学部・学科の一般入試志願者の推移では、平成 14 年度から平成 19 年度にかけて 2,884 人から 6,358 人と 2.2 倍に増加している。また、平成 19 年度の倍率は 5.9 倍であった。その他地域においても、7,466 人から 15,912 人で 2.1 倍に増加しており、平成 19 年度の倍率は 6.0 倍であり同様の傾向にある。(資料-22)

滋賀県内においては、幼稚園・小学校・養護教諭一種免許状を取得可能な大学は、幼稚園・小学校教諭は滋賀大学、養護教諭は滋賀県立大学のみであり、教育分野の学生ニーズに対応した高等教育機関が少ない。(資料-23)

このようなことから、教育福祉学部子ども学科を滋賀県内に設置し、入学定員を十分に満たすことができる。

9. 資格取得を目的とする場合

(1) 主な取得可能な免許及び資格

本学の教育福祉学部子ども学科で取得可能な免許及び資格は次のとおりである。

幼稚園教諭一種免許状

小学校教諭一種免許状
養護教諭一種免許状
保育士
社会福祉主事任用資格

(2) 実習の具体的計画

教育職員免許法に定める「教育実習」、児童福祉法施行規則に定める「保育実習」ほか、関連法令に基づく各種の実習を含め、理論や技術の検証と習熟、実習先での子どもの理解、子ども一人ひとりの個性を実現する指導、学習理解度の把握など学習理解度がより具体的に内在化することを目標に、専門職としてより実践的な指導方法を修得するものとする。

(資料-24)

1) 実習の種類と期間

① 教員免許に係る教育実習

教育実習(幼稚園)、教育実習(小学校)、養護実習、看護臨床実習を開講し、教育実習(幼稚園)、教育実習(小学校)および養護実習は、4週間で4単位相当分160時間を確保する。看護臨床実習は、2週間で80時間を確保する。

② 保育士資格に係る保育実習

保育実習Ⅰ(施設)、保育実習Ⅰ(保育所)、保育実習Ⅱ(施設)・Ⅲ(保育所)を開講し、それぞれ2週間(10日間)で80時間を確保する。

2) 実習先との契約内容の共通事項

① 健康・安全面に関する留意事項

毎年度当初において学生全員の定期健康診断の実施、実習の直前における検便検査の実施、麻疹(はしか)の感染予防のための抗体検査や予防接種の実施など健康な身体の保持に配慮し、実習先における不測の事態を防止する。

② 個人情報保護に関する取り決め

実習依頼時に本学から提出する学生の個人書類の適正な管理について文書に併記し要請する。また、実習先から、「個人情報の保護に関する誓約書」の手交を求められた場合は対応する。

③ 実習中の事故ケガ等への対応(保険)

実習中に、事故等により第三者の身体や財産に損害を与えた場合に備え、損害賠償保険に加入する。(保険料は大学負担)

3) 教育実習の基本計画

① 教育実習の指導体制

学部長の統括のもとに教職と教科に関する科目の担当教員、教務部長及び事務担当者からなる「教職課程委員会」を構成し、教員養成体制の運営向上に努める。教職に関する専門科目担当教員及び教科に関する専門科目担当教員が教育実習指導計画に基づいて教育実習の指導にあたる。教職課程委員会とすべての実習校の指導教員等との協議の場を毎年設け、本学の教員養成の目標の周知を図るとともに、実習内容のばらつきを軽減させる。

② 教育実習の内容・方法

実習校ごとに、実習生全員、個人別等の形態により、観察、参加、研究授業、教材及び指導法の研究、指導案の作成等を行う。

実習校においては、教科の授業及び特別活動の指導のほか、教育課程外の教育活動、学級運営及び学校経営並びに教職員としてのサービスのあり方等についても実習を通して指導する。また、直接指導に当たる指導教員が、指導案の作成、授業の実習、実習記録、報告書の作成等について指導する。

大学においては、実習校の協力を得て、教育実習の具体的実施計画を策定し、その実施にあたっては大学担当教員が実習校と密接に連携し、実習期間中において実習校を訪問して指導を行うとともに、随時学生個人からの相談にメール等を活用して対応する等、実習状況の把握に努める。

4) 教育実習（幼稚園）の実施計画

① 実習先の確保の状況

教育実習（幼稚園）の実習先は別紙のとおりである。（資料－25）

② 実習先との契約内容

i) 実習時期…3年次9月～10月の間の4週間（実質20日間、160時間）

ii) 受入人数…1か園当たり1名～2名

iii) 実習内容…前半2週間は「見学実習」、「参加実習」という形態で、子どもの生活や教諭の役割、業務について客観的に学び、後半2週間は「部分実習」、「責任実習」を行い、指導計画を立案し、担任教員の指導助言を受けて幼稚園教員としての責務を体感学習する。

③ 受講資格の制限

3年次在生学生の中で、次に掲げる要件を満たすものに限って受講させるものとし、その審査は教職課程委員会が行う。

i) 2年次までに、「学科コア科目」（18単位（選択必修6単位を含む））のうち「子ども学総合演習」、「子ども学総合演習（養護）」（「子ども学総合演習」と「子ども学総合演習（養護）」はいずれか1科目選択必修）及び「子ども学卒業研究」を除く14単位（選択必修4単位を含む）を含め、「教職に関する科目」（10単位以上）、「教

科に関する科目」(4単位以上)、「法と社会(日本国憲法)」(2単位)、「運動の科学」(2単位)、「英会話Ⅰ」・「中国語会話Ⅰ」・「ポルトガル語会話Ⅰ」のいずれかから2単位以上、「情報処理演習Ⅰ」・「情報処理演習Ⅱ」の2単位を履修済みであること。

また、3年次において「子ども学総合演習」を選択履修していること。

- ii) 教育実習指導の出席、受講態度に問題がなく、将来教職に就く希望、意欲を有するものであること。
- iii) 定められた期日までに実習費を納入していること。

④ 具体的な内容と方法

本学部では、質の高い実践力を持った教員を養成することを主目的とするため、集中的に同一園において4週間の実習を行う。実習期間中の実習時間は週5日間、1日8時間の実施を原則とする。実習園による教諭の指導を受けながら学内で学んだ幼児教育・保育の知識・理論や子ども理解をより確実なものとし、幼稚園教諭として適切な態度と技術について学ぶ。前半の2週間は「観察・参加実習」というスタイルで子どもの生活や発達の姿、幼稚園教諭の仕事、指導援助について理解を深め、後半の本実習に向けての自己課題を明確にする。後半の2週間は、前半に明確にした自己課題をもとに、「部分実習・責任実習」というスタイルで指導計画を立案し、環境設定、教材準備、保護者との連絡、保育事務処理など、担任の立場で担当教諭の指導の下に責任を持って保育指導を行う。

⑤ 実習水準確保の方策

適切な実習水準を確保していけるように特に次の5つの態度や能力について重点的な指導を行う。

i) 目的意識・学習意欲

「目的意識・学習意欲を持つ」ということは当たり前のことであるが、今日の学生の状況を鑑みたときに必ずしも充分持ち合わせていないことも留意しておく必要があると考える。そのような学生も含めてすべての実習生が目的意識を持って実習に臨むことができるように、1、2年次において地域における子ども会・子育てサークルなどにボランティアとして参加する機会を十分に持つ。

ii) 一般的態度(言葉遣い、生活習慣、生活態度等)

社会人としてふさわしい、また子どもの模範となるような態度、言葉遣い、マナーを身につけることができるように、授業とは別にマナー講座を特別に設け指導する。

iii) コミュニケーション、対人関係能力

保育者には様々な性格の子どもや保護者と適切に関わる力が求められる。演習科目においてグループワークの機会を多く持つとともに、特に対人関係の苦手な学生に対しては、1年次から学外活動などで積極的にボランティア活動を行わせる等の指導を行い、良好なコミュニケーション能力を修得させる。

iv) 教材研究・保育技術

実習において適切な教育指導が行えるように「保育指導法総論」において指導案の作成・教材研究の方法について集中的に学ぶ。特に音楽・ピアノについて現場で求められる一定レベルの力が身につくように必要に応じて入学前講座、特別ステップアップ講座を設ける。

v) 文章力

どのような実習記録（振り返り・反省）を書くかによって、実習のあり方は大きく異なってくる。適切な記録が書けるように実習指導はもちろんのこと、特に力の弱い学生に対しては1年次より国語力を向上させるためのステップアップ講座を設け指導を行う。

⑥ 事前及び事後指導の内容

3年次春期に幼稚園実習に向けての事前指導を行う。中でも教育実習を行う意義や目的、内容、方法、留意事項について理論的に学び保育観察の方法や実習日誌の記録方法、指導計画の作成方法、教材研究等基礎的な保育技能・技法を身につける。また、事前に必要な手続き、準備、課題について深く理解し各自が主体的に研究課題を見出し、実習計画を立てる力を養う。事後指導は実習の振り返りを行い、実習で学んだことを互いに確認しあい、教職への意識を高める。内容は以下のとおりである。

- i) 幼稚園教育実習の意義と目的
- ii) 幼稚園教育実習の実際
- iii) 幼稚園教諭の仕事と実習の取り組み方
- iv) 指導計画の作成
- v) 事前オリエンテーションの進め方
- vi) 実習記録の書き方
- vii) 実習計画の作成
- viii) 教材研究
- ix) グループ・個別反省会
- x) 実習報告会
- xi) 今後の課題の明確化

⑦ 実習先との連携体制

実習先との連携は、現場の状況を理解するとともに学生が効果的な実習を行うために欠かすことができない。本学では次のような体制を整え実習先との連携を図っていく。

- i) 本学実習センターに幼稚園教育実習の担当者を配置し、実習先との連絡・情報のやりとりを正確かつ迅速に行う。
- ii) 実習指導者懇談会の実施（年1回実施し、現場の実習指導担当者と本学教職員が一堂に会し、学生の実習状況を踏まえて、よりよい教育実習のあり方などについて意見交換する。）

⑧ 教員及び助手の配置並びに巡回指導計画

幼稚園教育実習指導には専任教員 1 名と非常勤教員 1 名を配置し、その指導に当たる。また、巡回指導は学科専任教員で分担し、原則として実習期間中に 1 回実施し、学生の実習状況を確認するとともに適切な助言等を行う。

⑨ 実習施設における指導者の配置計画

実習施設における実習生への指導は園長あるいは副園長、及びクラス担任に依頼し、本学の教育実習担当教員との綿密な連携のもとに進めていく。

⑩ 成績評価体制及び単位認定方法

実習の成績評価については、実習施設の教育実習評価票に基づき、実習記録、出勤状況、事前事後の取り組みを踏まえて総合的に評価する。この評価についての協議は教育実習担当者を中心に教職課程委員会で行う。実習評価票の項目は「実習態度・実習意欲」、「指導・援助・保育技術」、「記録・考察等」の 3 つの柱から 20 の細目についてそれぞれ 5 段階で記載する。(資料-26)

5) 教育実習（小学校）の実施計画

① 実習先の確保の状況

教育実習（小学校）の実習先は別紙のとおりである。(資料-27)

② 実習先との契約内容

i) 実習時期…3 年次 9 月～10 月の間の 4 週間（実質 20 日間、160 時間）

ii) 受入人数…1 校当たり 1 名～2 名

iii) 実習内容…前半 2 週間は「見学実習」「参加実習」という形態で、子どもの生活や学習、教諭の役割、業務について客観的に学び、後半 2 週間は「基本実習」「発展実習」を行い、指導計画を立案し、担任教員の指導助言を受けて小学校教員としての責務を体感学習する。

③ 受講資格の制限

3 年次在学学生の中で、次に掲げる要件を満たすものに限って受講させるものとし、その審査は教職課程委員会が行う。

i) 2 年次までに、「学科コア科目」（18 単位（選択必修 6 単位を含む）のうち「子ども学総合演習」、「子ども学総合演習（養護）」（「子ども学総合演習」と「子ども学総合演習（養護）」はいずれか 1 科目選択必修）及び「子ども学卒業研究」を除く 14 単位（選択必修 4 単位を含む）を含め、「教職に関する科目」（10 単位以上）、「教科に関する科目」（4 単位以上）、「法と社会（日本国憲法）」（2 単位）、「運動の科学」（2 単位）、「英会話 I」・「中国語会話 I」・「ポルトガル語会話 I」のいずれかから 2 単位以上、「情報処理演習 I」・「情報処理演習 II」の 2 単位を履修済みであること。

また、3年次において「子ども学総合演習」を選択履修していること。

- ii) 教育実習指導の出席、受講態度に問題がなく、将来教職に就く希望、意欲を有するものであること。
- iii) 定められた期日までに実習費を納入していること。

④ 具体的な内容と方法

本学部では、質の高い実践力を持った教員を養成することを主目的とするため集中的に同一校において4週間の実習を行う。実習期間中の実習時間は週5日間、1日8時間の実施を原則とする。実習校による教諭の指導を受けながら学内で学んだ児童教育の知識・理論や子ども理解をより確実なものとし、小学校教諭として適切な態度と技術について学ぶ。前半の2週間は「観察・参加実習」というスタイルで子どもの生活や発達の姿、小学校教諭の仕事、指導援助について理解を深め、後半の本実習に向けての自己課題を明確にする。後半の2週間は、前半に明確にした自己課題をもとに、「基本実習・発展実習」というスタイルで指導計画を立案し、教材準備、保護者との連絡、事務処理など、担任の立場で担当教諭の指導の下に責任を持って教育指導を行う。

⑤ 実習水準確保の方策

本学科においては、適切な実習水準を確保していけるように特に次の4つの態度や能力について重点的な指導を行う。

i) 目的意識・学習意欲

「目的意識・学習意欲を持つ」ということは当たり前のことであるが、今日の学生の状況を鑑みたときに必ずしも充分持ち合わせていないことも留意しておく必要があると考える。そのような学生も含めてすべての実習生が目的意識を持って実習に臨むことができるように、1、2年次において地域における子ども会・子育てサークルなどにボランティアとして参加する機会を十分に持つ。

ii) 一般的態度（言葉遣い、生活習慣、生活態度等）

社会人としてふさわしい、また子どもの模範となるような態度、言葉遣い、マナーを身につけることができるように、授業とは別にマナー講座を特別に設け指導する。

iii) コミュニケーション、対人関係能力

教員には様々な性格の子どもや保護者と適切に関わる力が求められる。演習科目においてグループワークの機会を多く持つとともに、特に対人関係の苦手な学生に対しては、1年次から学外活動などで積極的にボランティア活動を行わせる等の指導を行い、良好なコミュニケーション能力を修得させる。

iv) 文章力

どのような実習記録（振り返り・反省）を書くかによって、実習のあり方は大きく異なってくる。適切な記録が書けるように実習指導はもちろんのこと、特に力の

弱い学生に対しては1年次より国語力を向上させるためのステップアップ講座を設け指導を行う。

⑥ 事前及び事後指導の内容

3年次春期に小学校実習に向けての事前指導を行う。中でも教育実習を行う意義や目的、内容、方法、留意事項について理論的に学び観察の方法や実習日誌の記録方法、指導計画の作成方法、教材研究等基礎的な技能・技法を身につける。また、事前に必要な手続き、準備、課題について深く理解し、各自が主体的に研究課題を見出し、実習計画を立てる力を養う。事後指導は実習の振り返りを行い、実習で学んだことを互いに確認しあい、教職への意識を高める。内容は以下のとおりである。

- i) 小学校教育実習の意義と目的
- ii) 小学校実習の実際
- iii) 小学校教諭の仕事と実習の取り組み方
- iv) 指導計画の作成
- v) 事前オリエンテーションの進め方
- vi) 実習記録の書き方
- vii) 実習計画の作成
- viii) 教材研究
- ix) グループ・個別反省会
- x) 実習報告会
- xi) 今後の課題の明確化

⑦ 実習先との連携体制

実習先との連携は、現場の状況を理解するとともに学生が効果的な実習を行うために欠かすことができない。本学では次のような体制を整え実習先との連携を図っていく。

- i) 本学実習センターに小学校教育実習の担当者を配置し、実習先との連絡・情報のやりとりを正確かつ迅速に行う。
- ii) 実習指導者懇談会の実施（年1回実施し、現場の実習指導担当者と本学教職員が一堂に会し、学生の実習状況を踏まえて、よりよい教育実習のあり方などについて意見交換する。）

⑧ 教員及び助手の配置並びに巡回指導計画

小学校教育実習指導には専任の教員4名を配置してその指導に当たる。また、巡回指導は学科専任教員で分担し、原則として実習期間中に1回実施し、学生の実習状況を確認するとともに適切な助言等を行う。

⑨ 実習施設における指導者の配置計画

実習施設における実習生への指導は校長あるいは教頭、及びクラス担任に依頼し、

本学の教育実習担当教員との綿密な連携のもとに進めていく。

⑩ 成績評価体制及び単位認定方法

実習の成績評価については、実習施設の教育実習評価票に基づき、実習記録、出勤状況、事前事後の取り組みを踏まえて総合的に評価する。この評価についての協議は教育実習担当者を中心に教職課程委員会で行う。実習評価票の項目は「実習態度・実習意欲」、「指導・援助・保育技術」、「記録・考察等」の3つの柱から20の細目についてそれぞれ5段階で記載する。(資料-28)

6) 養護実習の実施計画

① 実習先の確保の状況

養護実習の実習先は別紙のとおりである。(資料-29)

② 実習先との契約内容

i) 実習時期…4年次9月～10月の間の4週間(実質20日間、160時間)

ii) 受入人数…1校当たり1名～2名

iii) 実習内容…学校保健に関わる活動の実際を体験することを通して、児童生徒の健康課題の解決に関わる養護教諭の職務と役割、保健室のあり方を理解し、教師、そして健康に関わる専門職としての自覚や態度を身に付ける。

③ 受講資格の制限

4年次在学生の中で、次に掲げる要件を満たすものに限って受講させるものとし、その審査は教職課程委員会が行う。

i) 3年次までに、「学科コア科目」(18単位(選択必修6単位を含む))のうち「子ども学総合演習(養護)」を選択履修(修得)し、「子ども学卒業研究」を除く16単位(選択必修6単位を含む)を含め、「教職に関する科目」(10単位以上)、養護に関する科目(20単位以上)、「法と社会(日本国憲法)」(2単位)、「運動の科学」(2単位)、「英会話Ⅰ」・「中国語会話Ⅰ」・「ポルトガル語会話Ⅰ」のいずれかから2単位以上、「情報処理演習Ⅰ」・「情報処理演習Ⅱ」の2単位を履修済みであること。

ii) 教育実習指導の出席、受講態度に問題がなく、将来教職に就く希望、意欲を有するものであること。

iii) 定められた期日までに実習費を納入していること。

④ 具体的な内容と方法

本学部では、質の高い実践力を持った教員を養成することを主目的とするために、集中的に4週間の実習を行う。実習期間中の実習時間は、週5日間、1日8時間の実施を原則とする。教育という場に一定期間身を置くことにより、それまでに学んできたことを試み、修得した知識、技術、方法の確認や実践の能力を養う。実習内容としては、

保健室での活動を中心に、養護教諭の活動計画の立案、健康相談活動、応急処置、校内巡視、環境の衛生安全管理、給食指導、学級活動、保健委員会の指導、学校保健組織の運営、保健だよりの作成、学校保健事務、などに携わる。実習を通して、①児童生徒の学校生活と教育課題、心身の発達課題と健康課題を知り、学校教育における学校保健の役割とその内容を理解する、②学校での保健教育の計画を知り、保健指導・保健学習を実践する、③養護教諭の専門性を学び、保健室運営を通して、児童生徒の発達や心理、学校生活の実態を把握し、“心の居場所”としての保健室機能を学ぶ、④学校における健康に関わる専門職としての自覚や態度を身に付けさせる。また、実習を自己の教師像を形成していく貴重な過程と捉え、健全な子ども観・教師観・教育観を養えるよう指導する。

⑤ 実習水準の確保の方策

養護実習の指導は、教育福祉学部の教員スタッフ（教授、准教授、講師、助手）及び実習校側の実習指導者が協力しながら、次の4つの態度や能力について重点的な指導を行う。

i) 目的意識・学習意欲

「目的意識・学習意欲を持つ」ということは当たり前のことであるが、今日の学生の状況を鑑みたときに必ずしも充分持ち合わせていないことも留意しておく必要があると考える。そのような学生も含めてすべての実習生が目的意識を持って実習に臨むことができるように、1、2年次において地域における子ども会・子育てサークルなどにボランティアとして参加する機会を充分にもつ。

ii) 一般的態度（言葉遣い、生活習慣、生活態度等）

社会人としてふさわしい、また子どもの模範となるような態度、言葉遣い、マナーを身につけることができるように、授業とは別にマナー講座を特別に設け指導する。

iii) コミュニケーション、対人関係能力

教員には様々な性格の子どもや保護者と適切に関わる力が求められる。演習科目においてグループワークの機会を多く持つとともに、特に対人関係の苦手な学生に対しては、1年次から学外活動などで積極的にボランティア活動を行わせる等の指導を行い、良好なコミュニケーション能力を修得させる。

iv) 文章力

どのような実習記録（振り返り・反省）を書くかによって、実習のあり方は大きく異なってくる。適切な記録が書けるように実習指導はもちろんのこと、特に力の弱い学生に対しては1年次より国語力を向上させるためのステップアップ講座を設け指導を行う。

⑥ 事前及び事後指導の内容

4年次春期に養護実習に向けての事前指導を行う。中でも実習を行う意義や目的、内

容、方法、留意事項について理論的に学び、観察の方法や実習日誌の記録方法、指導計画の作成方法、教材研究等基礎的な技能・技法を身につける。また、事前に必要な手続き、準備、課題について深く理解し各自が主体的に研究課題を見出し、実習計画を立てる力を養う。事後指導は実習の振り返りを行い、実習で学んだことを互いに確認しあい、教職への意識を高める。内容は以下のとおりである。

- i) 養護実習の意義と目的
- ii) 養護実習の実際
- iii) 養護教諭の仕事と実習の取り組み方
- iv) 指導計画の作成
- v) 事前オリエンテーションの進め方
- vi) 実習記録の書き方
- vii) 実習計画の作成
- viii) 教材研究
- ix) グループ・個別反省会
- x) 実習報告会
- xi) 今後の課題の明確化

⑦ 実習先との連携体制

実習先との連携は、現場の状況を理解するとともに学生が効果的な実習を行うために欠かすことができない。本学では次のような体制を整え実習先との連携を図っていく。

- i) 本学実習センターに養護実習の担当者を配置し、実習先との連絡・情報のやりとりを正確かつ迅速に行う。
- ii) 実習指導者懇談会の実施（年1回実施し、現場の実習指導担当者と本学教職員が一同に会し、学生の実習状況を踏まえて、よりよい養護実習のあり方などについて意見交換する。）

⑧ 教員及び助手の配置並びに巡回指導計画

養護実習指導には専任教員3名を配置しその指導に当たる。また、巡回指導は学科専任教員で分担し、原則として実習期間中に1回実施し、学生の実習状況を確認するとともに適切な助言等を行う。

⑨ 実習施設における指導者の配置計画

実習施設における実習生への指導は実習担当職員に依頼し、本学の養護実習担当教員との綿密な連携のもとに進めていく。

⑩ 成績評価体制及び単位認定方法

実習の成績評価については、実習施設の教育実習評価票に基づき、実習記録、出勤状況、事前事後の取り組みを踏まえて総合的に評価する。この評価についての協議は教

育実習担当者を中心に教職課程委員会で行う。(資料-30)

7) 看護臨床実習の基本計画

① 看護臨床実習の指導体制

学部長の統括のもと、養護に関する専門科目担当教員、教務部長及び事務担当者からなる看護臨床実習委員会を構成し、養護教員養成体制の運営向上に努める。また、養護に関する専門科目担当教員が看護臨床実習の指導にあたる。

看護臨床実習委員会とすべての実習施設の担当者との協議の場を毎年設け、本学の養護教員養成の目標の周知を図るとともに、実習内容のばらつきを軽減させる。

② 看護臨床実習の内容・方法

小児医療機関等における看護の実際について体験的に学ぶ。また、“養護教員のための看護臨床実習”として実施することで、単なる体験にとどまることなく、養護教員のあり方について自ら考える場とする。

8) 看護臨床実習の実施計画

① 実習先の確保の状況

看護臨床実習の実習先は別紙のとおりである。(資料-31)

② 実習先との契約内容

i) 実習時期…3年次3月上旬の2週間(実質10日間、80時間以上)

ii) 受入人数…1機関当たり4名～5名

iii) 実習内容…看護学等の養護に関する科目で学んだ知識や技術を実際の医療現場で実践、体験することにより、養護教諭としての資質向上や専門性を深め、同時に、医療機関と学校との連携を理解する。

③ 受講資格の制限

3年次在学学生の中で、次に掲げる要件を満たすものに限って受講させるものとし、その審査は教職課程委員会が行う。

i) 3年次までに、「学科コア科目」(18単位(選択必修6単位を含む))のうち「子ども学総合演習(養護)」を選択履修し、「子ども学卒業研究」を除く14単位(選択必修4単位を含む)を含め、「教職に関する科目」(10単位以上)、教科に関する科目(6単位以上)、「法と社会(日本国憲法)」(2単位)、「運動の科学」(2単位)、「英会話Ⅰ」・「中国語会話Ⅰ」・「ポルトガル語会話Ⅰ」のいずれかから2単位以上、「情報処理演習Ⅰ」・「情報処理演習Ⅱ」の2単位を履修済みであること。

ii) 看護技術演習の出席、受講態度に問題がなく単位取得の見込みがあり、将来教職に就く希望、意欲を有するものであること。

iii) 定められた期日までに実習費を納入していること。

④ 具体的な内容与方法

本学部では、質の高い実践力を持った教員を養成することを主目的とするため集中的に同一機関において2週間の実習を行う。実習期間中の実習時間は週5日間、1日8時間の実施を原則とする。看護という場に一定期間身を置くことにより、それまでに学んできたことを試み、修得した知識、技術、方法の確認や実践の能力を養う。実習内容としては、医療機関において医療の実際について、診療・看護の過程とその内容に関する見学を主とした実習を行い、健康障害を持つ人の心身の状態を理解すること、健康問題及びそれに対する医学的アプローチの理解、看護の役割と活動の理解、病院という医療機関の場とそれらとの連携を理解することから、養護教諭としての基礎的知識と態度が身につくよう指導する。5名程度のグループで、小児科、小児外科、内科、外科、整形外科、精神科、神経科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、歯科、口腔外科等の主に外来を2週間でローテーションする。実習を通して、臨床の場における看護の位置づけについて理解し、健康障害が子どもにどのような影響を与え、それに対して養護教諭としてどのような援助ができるのか考える機会とする。

⑤ 実習水準の確保の方策

実習を依頼する機関との相互理解・相互協力関係を深めるとともに、実習の事前・事後指導を徹底するため、「実習の手引」を作成し、指針として活用する。また、実習中は本学教員が実習先を訪問して実習に関する連絡調整をするとともに、実習状況を視察し、必要に応じて指導を行う。さらに、実習中は、実習生に対する電話、メール等による個別の相談支援が行き届くようにする。

⑥ 事前及び事後指導の内容

3年次秋期に看護臨床実習に向けての事前指導を行う。中でも実習を行う意義や目的、内容、方法、留意事項について理論的に学び、観察の方法や実習日誌の記録方法、指導計画の作成方法、教材研究等基礎的な技能・技法を身につける。また、事前に必要な手続き、準備、課題について深く理解し各自が主体的に研究課題を見出し、実習計画を立てる力を養う。事後指導は実習の振り返りを行い、実習で学んだことを互いに確認しあい、教職への意識を高める。内容は以下のとおりである。

- i) 看護臨床実習の意義と目的
- ii) 看護臨床実習の実際
- iii) 看護臨床実習の仕事と実習の取り組み方
- iv) 看護技術の確認
- v) 実習記録の書き方
- vi) 実習計画の作成
- vii) 教材研究
- viii) グループ・個別反省会

- ix) 実習報告会
- x) 今後の課題の明確化

⑦ 実習先との連携体制

実習先との連携は、現場の状況を理解するとともに学生が効果的な実習を行うために欠かすことができない。本学では次のような体制を整え実習先との連携を図っていく。

- i) 本学実習センターに看護臨床実習の担当者を配置し、実習先との連絡・情報のやりとりを正確かつ迅速に行う。
- ii) 実習指導者懇談会の実施（年1回実施し、現場の実習指導担当者と本学教職員が一同に会し、学生の実習状況を踏まえて、よりよい看護臨床実習のあり方などについて意見交換する。）

⑧ 教員及び助手の配置並びに巡回指導計画

看護臨床実習指導には専任の教員2名を配置しその指導に当たる。また、巡回指導は学科専任教員で分担し、原則実習期間中に1回実施し、学生の実習状況を確認するとともに適切な助言等を行う。

⑨ 実習施設における指導者の配置計画

実習施設における実習生への指導は実習担当職員に依頼し、本学の看護臨床実習担当教員との綿密な連携のもとに進めていく。

⑩ 成績評価体制及び単位認定方法

実習の成績評価については、実習施設の看護臨床実習評価票に基づき、実習記録、出勤状況、事前事後の取り組みを踏まえて総合的に評価する。この評価についての協議は看護臨床実習担当者を中心に教職課程委員会で行う。（資料-32）

9) 保育実習の基本計画

① 保育実習の指導体制

学部長の統括のもと、保育に関する専門科目担当教員、教務部長及び事務担当者からなる保育課程委員会を構成し、保育士養成体制の運営向上に努める。また、保育に関する専門科目担当教員が保育実習の指導にあたる。

保育課程委員会とすべての実習施設の担当者との協議の場を毎年設け、本学の保育士養成の目標の周知を図るとともに、実習内容のばらつきを軽減させる。

② 保育実習の内容

- i) 児童福祉施設、保育所等における保育の実際について体験的に学ぶ。
- ii) 実際に保育に参加し、乳幼児の保育指導の方法・技術を学び、学習指導案を作成し体験的に学習する。

- iii) 施設の役割や機能・保育士の職務等について学び、子どもをとりまく家庭や地域環境を理解するとともに、実際に行われている対人援助技術や支援の方法にもふれ、福祉ニーズについて知る。
- iv) 乳幼児をとりまく現代の状況への理解と、保育所のあり方・役割を熟知するとともに、実践の場で活かせる保育士としての力量を獲得する。
- v) 家庭と地域の生活実態に触れ、子どもや家庭の福祉ニーズについての理解力、判断力を養うとともに、子育て支援、家庭支援の方法、技術について体験的に学ぶ。

10) 保育実習の実施計画

① 実習先の確保の状況

保育実習の実習先は別紙のとおりである。(資料-33)

② 実習先との契約内容

i) 実習時期

- ・ 保育実習 I (施設) …2 年次 12 月上旬の 2 週間 (実質 10 日間、80 時間)
- ・ 保育実習 I (保育所) …3 年次 6 月中旬の 2 週間 (実質 10 日間、80 時間)
- ・ 保育実習 II・III (施設または保育所どちらかで選択必修) …4 年次 8 月の 2 週間 (実質 10 日間、80 時間)

ii) 受入人数…1 か所当たり 1 名～3 名程度

iii) 実習内容…施設・保育所における指導員、保育士の仕事に携わりながら児童や利用者との関わりや援助について理解する。

③ 受講資格の制限

保育実習は次に掲げる要件を満たすものに限って受講させるものとし、その審査は保育課程委員会が行う。

- i) 各実習段階までに開講されている保育士資格に関わる必修科目の単位を修得していること。
- ii) 保育実習指導の出席、受講態度に問題がなく、将来保育士に就く希望、意欲を有するものであること。
- iii) 定められた期日までに実習費を納入していること。

④ 具体的な内容と方法

i) 保育実習 I (施設)

児童福祉施設(入所型)生活に参加し、子どもや障害者への理解を深めるとともにそこでの機能、役割、職務を理解し、保育士としての責務を認識する。

- ・ 実習施設の機能と役割について理解する。
- ・ 施設の一日の流れを理解し、参加する。

- ・子どもや障害者への観察や関わりを通して保育対象者や保護者のニーズを理解する。
- ・生活や援助などの一部分を担当し、養護技術を修得する。
- ・安全及び疾病予防への配慮について理解する。

ii) 保育実習Ⅰ（保育所）

保育所の生活に参加し、乳幼児への理解を深めるとともに、保育所の機能とそこでの保育士の職務について学ぶ。

- ・実習施設について理解する。
- ・保育所の一日の流れを理解し、参加する。
- ・子どもの観察や関わりを通して乳幼児の発達を理解する。
- ・保育計画・指導計画を理解する。
- ・生活やあそびなどの一部分を担当し、保育技術を修得する。
- ・職員間の役割分担とチームワークについて理解する。
- ・記録や保護者とのコミュニケーションなどを通して、家庭、地域社会を理解する。
- ・子どもの最善の利益を具体化する方法について学ぶ。
- ・保育士としての職業倫理を具体的に学ぶ。
- ・安全及び疾病予防への配慮について理解する。

iii) 保育実習Ⅱ（選択必修・保育所）

保育所の保育を実際に実践し、保育士として必要な資質・能力・技術を修得する。また、家庭と地域社会の生活実態にふれて、子ども家庭福祉ニーズに対する理解力、判断力を養うとともに、子育てを応援するために必要な能力を養う保育全般に参加し、保育技術を修得する。保育実習Ⅰ（保育所）に加えて以下の事柄を学習する。

- ・子どもの個人差について理解し、対応方法を理解する。特に発達の遅れや生活環境にともなう子どものニーズを理解し、その対応について学ぶ。
- ・指導計画を立案し、実際に実践する。
- ・子どもの家族とのコミュニケーションの方法を、具体的に修得する。
- ・地域社会に対する理解を深め、連携の方法について具体的に学ぶ。
- ・子どもの最善の利益を具体化する方法について学ぶ。
- ・保育士としての職業倫理を具体的に学ぶ。
- ・保育士に求められる資質・能力・技術に照らし合わせて、自己の課題を明確にする。

iv) 保育実習Ⅲ（選択必修・保育所以外の社会福祉施設）

社会福祉施設の養護を実際に実践し、保育士として必要な資質・能力・技術を修得する。保育実習Ⅰ（施設）に加えて、以下の事柄を学習する。

- ・養護全般に参加し、養護技術を修得する。
- ・子どもの個人差について理解し、対応方法を理解する。特に発達の遅れや生活環境にともなう子どものニーズを理解し、その対応について学ぶ。

- ・援助計画を立案し、実際に実践する。
- ・子どもの家族とのコミュニケーションの方法を、具体的に修得する。
- ・地域社会に対する理解を深め、連携の方法について具体的に学ぶ。
- ・養護の一日の流れを理解し、参加する。
- ・子どもの最善の利益を具体化する方法について学ぶ。
- ・保育士としての職業倫理を具体的に学ぶ。
- ・児童福祉施設等の保育士に求められる資質・能力・技術に照ら合わせて、自己の課題を明確にする。

⑤ 実習水準確保の方策

本学科においては、適切な実習水準を確保するよう、特に次の 5 つの態度や能力について重点的な指導を行う。

i) 目的意識・学習意欲

「目的意識・学習意欲を持つ」ということは当然であるが、今日の学生の状況を鑑みたときに必ずしも充分持ち合わせていないことも留意しておく必要があると考える。そのような学生も含めてすべての実習生が目的意識を持って実習に臨むことができるように、1、2年次において地域における子ども会・子育てサークルなどにボランティアとして参加する機会を充分にもつ。

ii) 一般的態度（言葉遣い、生活習慣、生活態度等）

社会人としてふさわしい、また子どもの模範となるような態度、言葉遣い、マナーを身につけることができるように、授業とは別にマナー講座を特別に設け指導する。

iii) コミュニケーション、対人関係能力

保育者には様々な性格の子どもや保護者と適切に関わる力が求められる。演習科目においてグループワークの機会を多く持つとともに、特に対人関係の苦手な学生に対しては、1年次から学外活動などで積極的にボランティア活動を行わせる等の指導を行い、良好なコミュニケーション能力が形成されるように努める。

iv) 教材研究・保育技術

実習において適切な教育指導が行えるように「保育指導法 総論」において指導案の作成・教材研究の方法について集中的に学ぶ。特に音楽・ピアノについて現場で求められる一定レベルの力が身につくように必要に応じて入学前講座、特別ステップアップ講座を設ける。

v) 文章力

どのような実習記録（振り返り・反省）を書くかによって、実習のあり方は大きく異なってくる。適切な記録が書けるように実習指導はもちろんのこと、特に力の弱い学生に対しては1年次より国語力を向上させるためのステップアップ講座を設け指導を行う。

⑥ 事前及び事後指導の内容

事前事後学習は、学内において全体講義や保育現場の保育士による特別講演、グループ別演習、個別指導を行い、各実習段階に応じておおよそ15回程度の事前・事後学習を設定する。内容は以下のとおりである。

- i) 保育実習の意義・目的・内容の理解
- ii) 保育実習の心構えの理解、特に個人のプライバシー保護と守秘義務、子どもや障害者の人権尊重についての理解
- iii) 特別講演や視聴覚教材を使った実習施設の理解
- iv) 実習課題の明確化
- v) 実習記録の意義・方法の理解
- vi) 個別反省会、事後の学習課題の明確化
- vii) 実習報告会

⑦ 実習先との連携体制

実習先との連携は、現場の状況を理解するとともに学生が効果的な実習を行うために欠かすことができない。本学では次のような体制を整え実習先との連携を図っていく。

- i) 本学実習センターに保育実習の担当者を配置し、実習先との連絡・情報のやりとりを正確かつ迅速に行う。
- ii) 実習指導者懇談会の実施（年1回実施し、現場の実習指導担当者と本学教職員と一同に会し、学生の実習状況を踏まえて、よりよい保育実習のあり方などについて意見交換する。）

⑧ 教員及び助手の配置並びに巡回指導計画

保育実習指導には専任の教員3名と非常勤教員1名を配置しその指導に当たる。また、巡回指導は学科専任教員で分担し、原則実習期間中に1回実施し、学生の実習状況を確認するとともに適切な助言等を行う。

⑨ 実習施設における指導者の配置計画

実習施設における実習生への指導は園長、所長、施設長あるいは実習担当職員に依頼し、本学の保育実習担当教員との綿密な連携のもとに進めていく。

⑩ 成績評価体制及び単位認定方法

実習の成績評価については、実習施設の保育実習評価票に基づき、実習記録、出勤状況、事前事後の取り組みを踏まえて総合的に評価する。この評価についての協議は保育実習担当者を中心に保育課程委員会で行う。実習評価票の項目は「施設」については「一般的態度」、「実習態度」、「研究意欲」、「保育援助」、「観察・記録」の5つの柱から、また「保育所」については「実習態度・実習意欲」、「指導・援助・保育技術」、「記録・考察等」の3つの柱から20の細目について、それぞれ5段階で記載する。（資料-34）

11) 介護等体験の基本実施計画

① 実習先の確保の状況

介護等体験実習の実習先は別紙のとおりである。(資料-35)

② 実習先との契約内容

- i) 実習時期…3年次の指定された7日間
- ii) 受入人数…1施設当たり1名～3名程度
- iii) 実習内容…実習日誌等の実習記録を作成し、実習終了後に実習記録及び介護等体験ノートを提出する。

③ 受講資格の制限

3年次在学学生の中で、次に掲げる要件を満たすものに限って受講させるものとし、その審査は教職課程委員会が行う。

- i) 2年次までに、「学科コア科目」(18単位(選択必修6単位を含む))のうち「子ども学総合演習」、「子ども学総合演習(養護)」(「子ども学総合演習」と「子ども学総合演習(養護)」はいずれか1科目選択必修)及び「子ども学卒業研究」を除く14単位(選択必修4単位を含む)を含め、「教職に関する科目」(10単位以上)、教科に関する科目(4単位以上)、「法と社会(日本国憲法)」(2単位)、「運動の科学」(2単位)、「英会話Ⅰ」・「中国語会話Ⅰ」・「ポルトガル語会話Ⅰ」のいずれかから2単位以上、「情報処理演習Ⅰ」・「情報処理演習Ⅱ」の2単位を履修済みであること。また、3年次において「子ども学総合演習」を選択履修していること。
- ii) 教育実習指導の出席、受講態度に問題がなく、将来教職に就く希望、意欲を有するものであること。
- iii) 定められた期日までに実習費を納入していること。

④ 具体的な内容と方法

- i) 3年次の7月から翌年3月末までに、特別支援教育諸学校で2日間、社会福祉施設で5日間の計7日間の介護等体験を行う。
- ii) 3年次の4月から6月にかけて、事前ガイダンスを行うとともに、体験終了後1か月以内に「介護等体験ノート」を提出する。

10. 海外体験研修の具体的計画

海外研修としては、中華人民共和国の中国海洋大学(山東省青島市)を研修受け入れ先として、語学研修及び教育現場、福祉施設などの見学を中心に中国の教育及び福祉のあり方を通じて現地の人々とふれあい、異文化を肌で感じ、国際的観点から異文化理解、多文化共生、平和と民族共存などについて教養を深める。実施時期は、春期に2週間程度を予定しており、受け入れ人数は20名程度とする。なお、本研修は、学生の費用負担も必要であることから希

望者のみの自由参加とし、単位修得には結びつけないものとする。

なお、自然災害、戦争・内乱、政情不安、国際テロ、SARS などの現地情勢の不安が発生した場合、学長の発議により海外研修実施検討委員会を設置し、海外学習者の生命の危機が予測され、または海外学習の成果が期待できないと判断された場合は中止する。(資料-36)

11. 編入学定員を設定する場合の具体的計画

教育福祉学部子ども学科は、3 年次への編入学希望者に対して広く門戸を開放する。高い意欲を持った編入学希望者の本学部への編入学については、小論文と面接による試験により判定し、10 人までの編入学を認める。

(1) 既修得単位の認定方法

編入学前に修得した単位の認定については、他大学・短期大学等で修得した範囲内で、60 単位を上限として、授業科目の内容を精査した上で、本学において修得した単位として個別認定する。ただし、免許状及び各種資格取得に必要な法令上の科目については、関連法令に基づき卒業要件とは別に適切に個別認定を行う。(資料-37)

(2) 履修指導方法

3 年次編入学の受け入れにおける履修モデルについて、学生の学修歴や学習ニーズを想定して、次の 3 つのケースを掲げる。(資料-38)

- ① 幼稚園教員志望の編入生 (編入学モデルⅠ)
- ② 小学校教員志望の編入生 (編入学モデルⅡ)
- ③ 養護教員志望の編入生 (編入学モデルⅢ)

(3) 教育上の配慮

編入学希望者に対して、教育研究・学生生活、卒業後の進路等を事前に十分に説明することで、本学での新しい学びに希望をもってもらい、編入学後の専門教育及び免許・資格関連科目の履修への準備を促す。事前に、オープンキャンパス等への参加を促し、本学の文化や雰囲気を感じ、触れてもらうことで、入学後に感じるギャップの軽減を図る。また、多様な編入学生に対応できる履修指導担当者を置き、個々の編入学生の能力・適性・教育歴などの状況に応じて、卒業までの適切な履修指導を行う。

12. 管理運営

本学の建学の精神と教育理念を具現化し、教育研究活動を推進するためには、学長のリーダーシップが発揮できる学内の運営体制を確立することが重要である。

学長は教学組織の最高責任者であり、教授会は、本学の教学面における最高意思決定機関である。教授会の審議事項は、びわこ学院大学学則(案)の第 63 条第 5 項に規定しており、

(1) 学部、学科の設置、廃止に関する事項、(2) 教員の人事に関する事項、(3) 教育研究の基本方針に関する事項、(4) 教育課程の編成に関する事項、(5) 学則その他学内規程に関する事項、(6) 学生の試験に関する事項、(7) 学生の入学、退学、転学、休学、留学、復学、除籍、卒業及び賞罰に関する事項、(8) 学内予算に関する事項、(9) その他学事運営に関する事項で、本学の教育研究上の重要事項を審議する。教授会は学長が招集し、また議長となり、構成員は、学長、学部長、学科長及び専任教員で、必要に応じて職員も加わることであり、構成員は、学長、学部長、学科長及び専任教員で、必要に応じて職員も加わることとしている。また、教授会は、毎月1回定例的に開催することとしており、毎月第2水曜日に定例開催する予定である。さらに、必要に応じて臨時に開催することとしており、審議事項に応じた弾力的な開催を考えている。

なお、教授会には、必要に応じて委員会等を置くことができるとしており、企画、人事、入試、教務、学生等の各委員会を設置し、運営する予定である。また、学長の下に設置する自己点検・評価の実施に関する委員会及び教育方法の改善に関する委員会との連携を図り、教育研究の充実向上に努める。

13. 自己点検・評価

滋賀文化短期大学においては、1998年以來「自己点検・評価委員会」を組織し、自己点検・評価に取り組んできたところであり、本大学においても短期大学で蓄積した自己点検・評価のシステムをさらに充実・発展させて実施する。

学長の下に、学部長、学生部長、教務部長、図書館長、総務部長、ALO等で構成する「自己点検・評価委員会」を設置し、全学の協力により点検・評価を実施して、「自己点検・評価報告書」として取りまとめる。評価項目としては、次の12項目について自己点検を実施するとともに、その結果を分析・評価することにより課題を明確化し、改善に取り組んで行く。

①建学の精神・基本理念及び使命・目的、②教育研究組織、③教育課程、④学生、⑤教員、⑥職員、⑦管理運営、⑧財務、⑨教育研究環境、⑩社会連携、⑪社会的責務、⑫特記事項
また、認証評価については、完成年度以降、自己点検・評価を踏まえて、認証機関に付託して実施する。

14. 情報の提供

社会に開かれ、地域とともに生きる本大学は、透明性の高い学校運営を行うとともに、教育研究及び組織運営の諸活動について、積極的に情報の提供を行い、高等教育機関としての説明責任を果たすものとする。

建学の精神、教育目標、カリキュラム、教育システム、教員氏名、学生数、取得可能資格等の基本情報は、「大学案内」等で明示するとともに、Webサイトにおいても公開する。また、講義シラバス、教員プロフィール、各種アンケート結果等の情報についても、Webサイトにおいて公開していく。財務等の情報については、資金収支計算書・消費収支計算書・貸借対照表の大科目及び監査報告書をWebサイトに掲載する。また、教育研究活動等に関する

情報は、『びわこ学院大学研究紀要』を刊行し公表するとともに、関連学会での口頭発表や学会誌への投稿などを通じて公表する。さらに、『大学広報誌』を発刊するとともに、公開講座、オープンキャンパス等を開催して地域社会に提供する。

なお、図書館に関する情報は、「図書館だより」を発行して広く住民の利用を促していく。

15. 教員の資質の維持向上の方策

教育と研究は、大学を支える基本であり、常に教育力及び研究力の向上が求められ、教授方法の改善と学術研究の進歩、教育研究の質を向上させる必要がある。このため、本学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究（FD）に取り組む。

(1) FD 委員会の設置

学長を委員長として、学部長、専任教員の代表及び事務局長からなる「FD 委員会」を設置する。FD 委員会は、FD 活動の展開と具体的実施例を提案し、中期計画の概略を示し、現在、取り組む具体的課題を提示する。委員会では、教員の教授方法等の改善のための支援として、①FD に関する講演会・研修会の実施、②相互授業参観による授業研究会の開催、③授業評価に係る企画・運営等を通じて、教育・研究の質の維持・向上とともに、授業の改善支援を図る。

①については、授業改善に関する講演会の他、シラバスの充実や教材作成の工夫及び学生参画型授業方法等実践的研修を行う。②については、1年に1～2回、研究授業を実施し、教員全員による当該授業の研究会を行って、教員の教育能力の向上を図る。併せて、学科の教育目標とカリキュラム上に位置づけられた当該科目の内容について共通理解を図る。

(2) 授業評価の実施

学期毎に、全授業科目について、授業の目標、計画性、内容、授業方法、理解のしやすさなどの項目で学生にアンケート方式による調査を実施する。調査結果は、授業担当教員にフィードバックするとともに、「学生の授業評価への所見」及び「改善に向けた今後の方針」等について報告を求め、FD 委員会において、今後の授業方法等の改善に向けて取り組む。

設置の趣旨等を記載した書類 資料もくじ

- 資料 1 : 滋賀県内の学校・保育所の児童・乳幼児数および教職員数
- 資料 2 : しが子どもの世紀推進事業
- 資料 3 : 認定こども園の認定件数及び今後の申請見込件数
- 資料 4 : 次世代育成支援行動計画「子どもの世紀しがプラン」
- 資料 5 : 平成 19 年度以降の教職員採用見込者数（公立小学校）
- 資料 6 : 公立学校教員（小・養）の受験者・採用者・合格者の推移
- 資料 7.1 : 教育福祉学部子ども学科の理念イメージ図
- 資料 7.2 : 教育福祉学部子ども学科の教育課程イメージ図
- 資料 8 : 子育て研究センターの基本プラン
- 資料 8.1 : 子育て研究センター規程案
- 資料 9 : 教育課程の構成と卒業要件単位数
- 資料 10 : 卒業要件と履修方法
- 資料 11 : びわこ学院大学定年規程
- 資料 12 : びわこ学院大学教育福祉学部 GPA 制度及び CAP 制度
- 資料 13 : 履修モデル（幼稚園教員コース、小学校教員コース、養護教員コース、保育士コース、幼稚園教員・保育士コース、幼稚園・小学校教員コース、小学校・養護教員コース）
- 資料 14 : 子ども学科時間割表及び教室使用状況
- 資料 15 : 滋賀県の年齢別人口（0 歳～19 歳）
- 資料 16 : 滋賀県内の高等学校（全日制・定時制）卒業者の進学状況
- 資料 17 : 滋賀県内高等学校卒業生の進学先都道府県および県内大学への流入状況
- 資料 18 : 「子ども」「教育福祉」を冠する四年制大学の設置状況
- 資料 19 : 「子ども」「教育」「社会福祉」系学部別の志願・入学状況（昼間部）
- 資料 20 : 教育学部（含学芸学部）の志願者数の推移
- 資料 21 : 教育学部（含学芸学部）の志願状況
- 資料 22 : 子ども・保育系学部（学科）の一般入試志願者数の推移
- 資料 23 : 滋賀県内の大学・短期大学と教育（幼・小・養）・保育・社会福祉系の設置状況
- 資料 24 : 学外実習
- 資料 25 : 教育実習（幼稚園）の受け入れ先一覧
- 資料 26 : 教育実習評価票（幼稚園）
- 資料 27 : 教育実習（小学校）の受け入れ先一覧
- 資料 28 : 教育実習評価票（小学校）
- 資料 29 : 教育実習（養護教諭）の受け入れ先一覧
- 資料 30 : 学校保健実習評価票
- 資料 31 : 看護臨床実習（養護教諭）の受け入れ先一覧
- 資料 32 : 看護臨床実習評価票
- 資料 33 : 保育実習Ⅰ（保育所、福祉施設）、保育実習Ⅱ（保育所）、保育実習Ⅲ（福祉施設）
- 資料 34 : 保育実習評価票（保育所、福祉施設）
- 資料 35 : 介護等体験実習先
- 資料 36 : 異文化体験（海外研修）実施計画書
- 資料 37 : 編入学科目読替表
- 資料 38 : 編入学生履修モデル（幼稚園教員志望）（小学校教員志望）（養護教員志望）

資料-1 滋賀県内の学校・保育所の児童・乳幼児数および教職員数

学校種別		学校数 (校)			学級数 (学級)	児童・乳幼児数 (人)			本務教員・保育士数(人)			職員 数(人)
		本校	分校	計		男	女	計	男	女	計	
小学校	国立	1	-	1	18	348	345	693	17	9	26	-
	公立	231	4	235	3,392	43,947	41,655	85,602	1,840	3,129	4,969	936
	私立	1	-	1	7	99	71	170	6	5	11	1
	計	233	4	237	3,417	44,394	42,071	86,465	1,863	3,143	5,006	937
幼稚園	国立	1	-	1	5	79	78	157	1	6	7	-
	公立	158	5	163	736	8,414	8,180	16,594	30	1,270	1,300	131
	私立	25	-	25	124	1,609	1,527	3,136	17	209	226	34
	計	184	5	189	865	10,102	9,785	19,887	48	1,485	1,533	165
保育所	公立	129	-	129	-	-	-	12,082	-	-	2004	471
	私立	113	-	113	-	-	-	12,400	-	-	1,983	501
	計	242	-	242	-	-	-	24,482	-	-	3,987	972

出所) 滋賀県平成 19 年度のデータ より作成。

しが子どもの世紀推進事業



家庭・学校・地域・企業が一体となって
子どもの育ちを支える環境づくり

滋賀県では、「家庭教育力の向上」と「子どもの体験活動の機会と場の充実」に向け、社会全体で子どもの育ちを支える環境づくりを進めるため「しが子どもの世紀推進事業」を展開しています。

1 「早寝・早起き・朝ごはん」県民運動 早起きが一日を決めます ▶

滋賀県では、「家庭教育力の向上」と「子どもの体験活動の機会と場の充実」に向け、社会全体で子どもの育ちを支える環境づくりを進めるため「しが子どもの世紀推進事業」を展開しています。



- [「早寝・早起き・朝ごはん」県民運動](#)
- [ふれあいラジオ体操](#)
- [おうみ通学合宿](#)

2 家庭教育力の向上 家庭教育は、すべての教育の原点！ ▶

家庭は子どもの心のよりどころとして、また基本的な生活習慣やしつけを身につけるとともに思いやりの心、社会のマナー、コミュニケーション能力等を育む大切な役割を担っています。

- [子育てサポーター等実践交流会
\(子育て・家庭教育支援セミナー\)](#)
- [子育てサポーターリーダー養成講座](#)
- [親子プレステの推進者・支援者用手引書](#)
- [PTA子育て学習講習会](#)
- [家庭教育学習資料](#)
- [子育てティーンズサポーター養成講座](#)
- [滋賀県家庭教育協力企業協定制度](#)
- [企業内家庭教育学習講座\(フォーラム\)](#)
- [家庭教育啓発ポスター](#)

3 子どもの体験活動の機会と場の充実 地域が、育ちの場・学びの場・活動の場 ▶

滋子どもたちには自然体験や生活体験などの実体験が不足しており、地域の大人には、子どもたちの体験活動を支援することが求められています。この活動は大人同士の学びの場ともなり地域の教育力の向上につながります。



- [地域教育協議会](#)
- [地域教育協議会委員等ブロック研修会](#)
- [おうみ通学合宿](#)
- [ふれあいラジオ体操](#)
- [体験活動支援センター](#)

4 地域の力を学校へ 地域の人々が学校で活躍できるしくみづくりを「学校支援ディレクター」が推進！ ▶

地域の多様な人々が、学校で活躍できるように両者の橋渡しを行い、授業のコーディネートをする役割を担うのが「学校支援ディレクター」です。美術や伝統芸能、科学実験など優れた専門技術や知識を持つ県内の人材を小学校に派遣し、主に総合学習の授業に生かせるよう事業を展開しています。

- [「地域の力を学校へ」推進事業
\(学校支援ディレクター\)](#)
- [学校と地域を結ぶコーディネート担当者](#)

資料-3

認定こども園の認定件数及び今後の申請見込件数

滋賀県+近隣実績地域

(件)

都道府県	認定 件数 (A)	申請見込件数													合計 (A+B +C)
		19年度中						20年度以降						申請 見込 件数 合計 (B+C)	
		小計 (B)	類型					小計 (C)	類型						
幼 保 連 携 型	幼 稚 園 型		保 育 所 型	地 方 裁 量 型	不 明	幼 保 連 携 型	幼 稚 園 型		保 育 所 型	地 方 裁 量 型	不 明				
滋賀県	1	9	5		4			25	18	6	1			34	35
石川県	5	0						2		2				2	7
福井県	0	4	1		1	2		10	5	2	2		1	14	14
岐阜県	0	9	2	2		5		27	7	10	3	1	6	36	36
愛知県	3	3	3					6	2	1	3			9	12
三重県	0	0						4	2	2				4	4
京都府	0	9	2		3	4		23		11	4	6	2	32	32
大阪府	1	34	10	19	4		1	98	24	21	47		6	132	133
兵庫県	12	42	15	6	4	15	2	69	7	14	36	11	1	111	123
奈良県	0	9	3		6			24	4	7	12		1	33	33
和歌山県	0	5	4	1				12	1		11			17	17
計	22	124	45	28	22	26	3	300	70	76	119	18	17	424	446

その他地域

(件)

北海道	7	35	6	8	5	15	1	142	35	53	21	10	23	177	184
青森県	1	12	11	1				12	2	3	5		2	24	25
岩手県	1	16	8	6	2			20	6	10	2		2	36	37
宮城県	1	6	3			3		9	6	1		2		15	16
秋田県	9	7	3	1	1	1	1	26	13	3	6	4		33	42
山形県	3	3	1	1		1		25	10	8	5	1	1	28	31
福島県	1	23	5	14	1	2	1	51	16	18	5	6	6	74	75
茨城県	2	18	9	1	1	6	1	48	21	10	11	5	1	66	68
栃木県	5	15	6	5	3		1	48	14	23	7	2	2	63	68
群馬県	4	21	9	9	1		2	43	17	16	2	5	3	64	68
埼玉県	0	7	3	4				39	7	7	7	13	5	46	46
千葉県	1	34	16	12	5	1		36	13	19	4			70	71
東京都	3	44	3	29	4	7	1	200	16	87	16	45	36	244	247
神奈川県	4	13	6	7				57	13	26			18	70	74
新潟県	0	6	3	2		1		20	3	10	3		4	26	26
富山県	1	0						11		5	5		1	11	12
山梨県	0	7	3	2		2		9		6		3		16	16
長野県	2	5	2	2			1	29	1	4	7		17	34	36
静岡県	0	10	2		2	6		46	13	11	6	11	5	56	56
鳥取県	0	3	1		1	1		5	1	2	1	1		8	8
島根県	0	6	2	2	1	1		9	4		3		2	15	15
岡山県	0	1	1					0						1	1
広島県	5	12	5	4		2	1	49	18	7	9	12	3	61	66
山口県	1	1		1				1		1				2	3
徳島県	1	3	1		1		1	10	4		2		4	13	14
香川県	0	2		1	1			19	1	13	3	2		21	21
愛媛県	0	8	6	1		1		16	2	6	1	3	4	24	24
高知県	3	2	1			1		5	3	2				7	10
福岡県	6	1				1		1	1					2	8
佐賀県	4	12	6	4		2		17	3	10	2	2		29	33
長崎県	1	27	6	11	2	4	4	63	10	21	25	6	1	90	91
熊本県	0	15	2	8	4	1		30	10	7	11		2	45	45
大分県	1	9	1	7	1			8	3	5				17	18
宮崎県	2	8	2	4		1	1	14	3	2	3	4	2	22	24
鹿児島県	3	26	7	2	3	14		42	12	11	10	5	4	68	71
沖縄県	0	0						0						0	0
計	72	418	140	149	39	74	16	1,160	281	407	182	142	148	1,578	1,650

※「申請時期未定」の件数も含む

出所) 文部科学省・厚生労働省 幼保連携推進室

「認定こども園の認定件数及び申請見込件数(平成19年4月1日現在)」より作成。

3 数値目標一覧

数 値 目 標 項 目		現況 15 年度	目標 21 年度	備 考
1	通常保育児童数	定員 23,883 人 [平成 16 年度]	26,514 人	
2	※延長保育実施保育所数	123 か所	197 か所	
3	夜間保育実施保育所数	2 か所	5 か所	
4	※休日保育実施保育所数	10 か所	25 か所	
5	※乳幼児健康支援一時預かり実施か所数 (病後児保育・施設型)	5 か所	18 か所	
6	※一時保育(特定保育を含む)実施 保育所数	54 か所	114 か所	
7	※子育て短期支援事業(ジョトｽﾀｲ) 実施市町数	1 市町	10 市町	
8	※子育て短期支援事業(ﾄﾗｲﾄﾞｽﾀｲ) 実施市町数	1 市町	5 市町	
9	※放課後児童クラブ数	147 か所	206 か所	
10	※ファミリー・サポート・センター数	4 か所	16 か所	
11	※地域子育て支援センター数	38 か所	55 か所	
12	つどいの広場実施か所数	1 か所	37 か所	
13	※児童館・児童センター数	50 か所	58 か所	
14	※市町児童虐待防止ネットワーク 組織数	27 市町 [平成 16 年度]	33 市町	すべての市町
15	※養育里親登録数	68 組	97 組	中学校区に 1 組

数 値 目 標 項 目		現況 15 年度	目標 21 年度	備 考
16	サービス評価(自己評価)実施 保育所数	105 か所	237 か所	すべての保育所
17	障害児童クラブ数	13 か所	30 か所 [平成 19 年度]	新淡海障害者プラン
18	※育児休業制度を設けている事業所 の割合	72.9 %	100 % [平成 22 年度]	しがベンチマーク
19	男女別の育児休業取得率	男性 1.12 % 女性 72.6 %	男性 10 % 女性 80 % [平成 26 年度]	子ども・子育て応援プラン
20	周産期の死亡児数(出産千人に対する 妊娠満2週以後の死産と生後7日未 満の新生児死亡を合わせた数)	5.1 人	3.9 人 [平成 22 年度]	しがベンチマーク
21	※スクールカウンセラー配置校数 (公立中学校)	68 校	100 校 [平成 17 年度]	すべての公立中学校
22	※鉄道駅等エレベーター・エスカレー ター整備か所数	66 か所	102 か所 [平成 22 年度]	しがベンチマーク
23	ノンステップバス導入台数	65 台	100 台 [平成 22 年度]	しがベンチマーク
24	都市計画区域内人口一人あたりの 都市公園面積	7.7 m ²	9.5 m ² [平成 22 年度]	しがベンチマーク
25	人口1万人当たりの犯罪発生件数	206 件	160 件 [平成 22 年]	しがベンチマーク

(注) ・ 1～13の事業については、市町のニーズ調査による数値目標を踏まえ、県の数値目標を設定しました。
 ・ しがベンチマークは、滋賀県がめざそうとする基本的な政策の方向を明らかにし、その実現目標や水準を示すものです。
 ・ ※印の項目は、「淡海エンゼルプラン後期重点計画」での重点推進目標です。
 ・ 市町村合併により、平成16年度末に市町数は33市町となります。

平成19年度以降の教職員採用見込者数(公立小学校)

滋賀県+近隣実績地域

(人)

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
滋 賀	128	148	145	134	128	129
石 川	94	85	85	85	85	100
福 井	46	53	53	54	87	80
岐 阜	211	220	180	260	180	250
愛 知	869	860	950	930	900	910
三 重	158	147	151	189	151	112
京 都	409	390	400	400	400	400
大 阪	1,733	1,650	1,400	1,220	1,220	1,220
兵 庫	558	730	730	730	680	680
奈 良	100	130	170	190	199	109
和歌山	54	90	125	130	140	150
計	4,360	4,503	4,389	4,322	4,170	4,140

その他地域

(人)

北海道	499	212	347	396	440	372
青 森	37	60	60	60	55	45
岩 手	47	42	56	51	45	42
宮 城	174	227	229	232	239	253
秋 田	23	15	10	10	10	5
山 形	34	25	40	50	60	80
福 島	99	70	55	55	55	80
茨 城	108	120	150	150	200	200
栃 木	114	115	120	120	130	140
群 馬	85	120	120	120	160	160
埼 玉	695	690	690	690	690	690
千 葉	827	660	720	710	710	670
東 京	1,578	1,666	1,737	1,607	1,340	1,630
神奈川	1,307	1,350	1,400	1,370	1,370	1,400
新 潟	147	172	199	204	191	177
富 山	64	80	79	65	89	80
山 梨	59	50	50	50	60	60
長 野	154	170	174	189	195	204
静 岡	285	307	310	320	320	320
鳥 取	60	20	20	20	20	40
島 根	25	30	30	30	25	25
岡 山	204	170	170	170	170	170
広 島	300	300	300	300	300	300
山 口	90	80	80	80	80	90
徳 島	22	24	24	24	24	24
香 川	25	48	50	50	50	50
愛 媛	31	70	70	80	70	70
高 知	12	20	48	48	52	52
福 岡	361	350	340	340	340	410
佐 賀	52	60	50	55	50	45
長 崎	56	40	35	35	30	30
熊 本	77	98	108	123	138	153
大 分	40	39	39	39	39	39
宮 崎	54	30	30	30	30	30
鹿児島	120	100	85	75	70	65
沖 縄	116	115	115	115	110	110
計	7,981	7,745	8,140	8,063	7,957	8,311

出所) 文部科学省 初等中等教育局 財務課

「平成19年度以降の教職員採用見込者数調【校長・教諭等(小学校)】」より作成。

公立学校教員(小・養)の受験者・採用者・合格者の推移

	年度	全国			滋賀県		
		受験者 人	採用者 人	倍率 倍	受験者 人	合格者 人	倍率 倍
小学校教員	16	50,446	10,483	4.8			
	17	51,973	11,522	4.5	410	150	2.7
	18	51,763	12,430	4.2	463	130	3.6
	19	53,398	11,588	4.6	525	177	3.0
	20				556	265	2.1
養護教員	16	7,740	749	10.3			
	17	8,086	744	10.9	63	10	6.3
	18	8,196	835	9.8	78	10	7.8
	19	8,362	840	10.0	70	8	8.8
	20				83	5	16.7

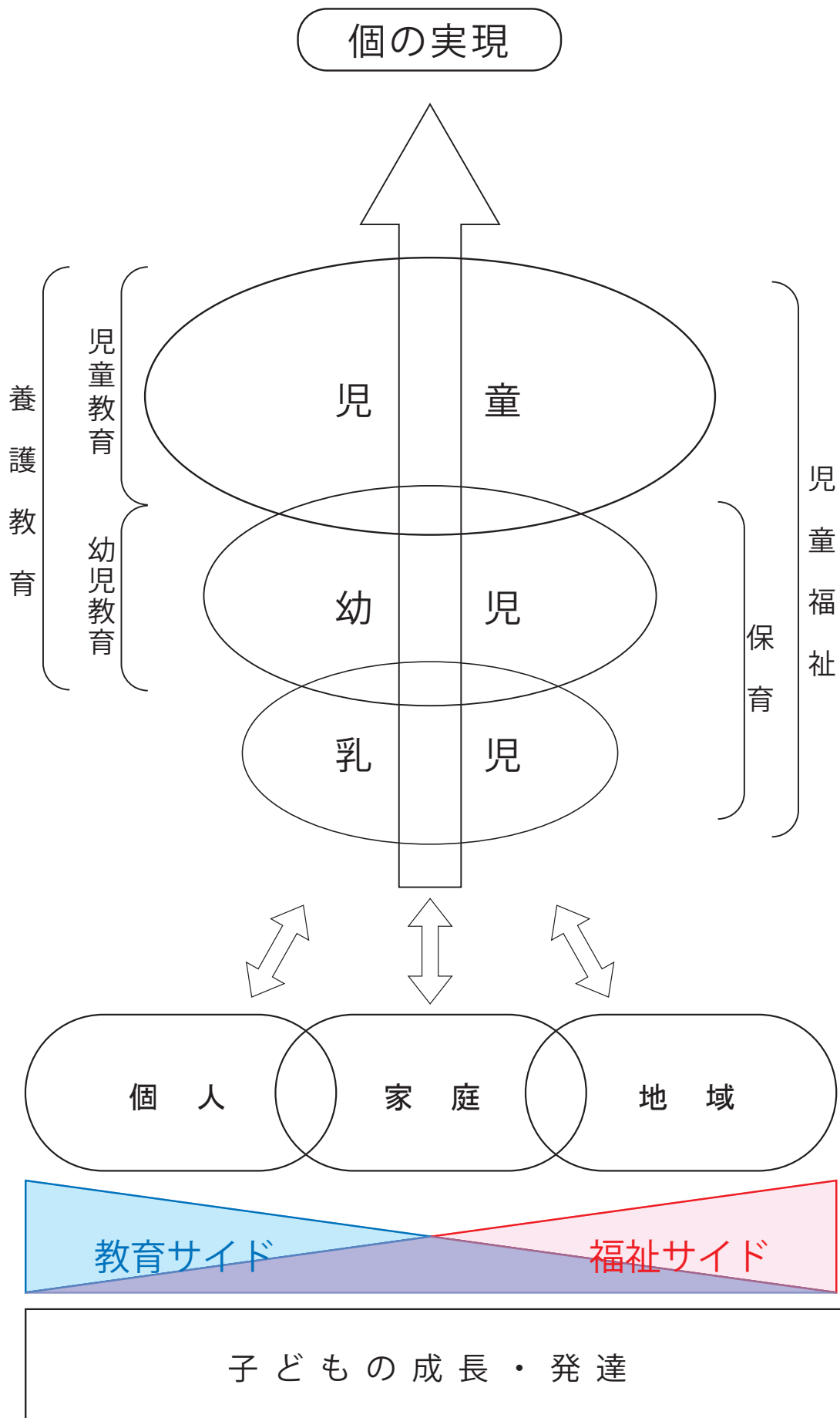
出所) 文部科学省及び滋賀県データより作成。

■分析のポイント

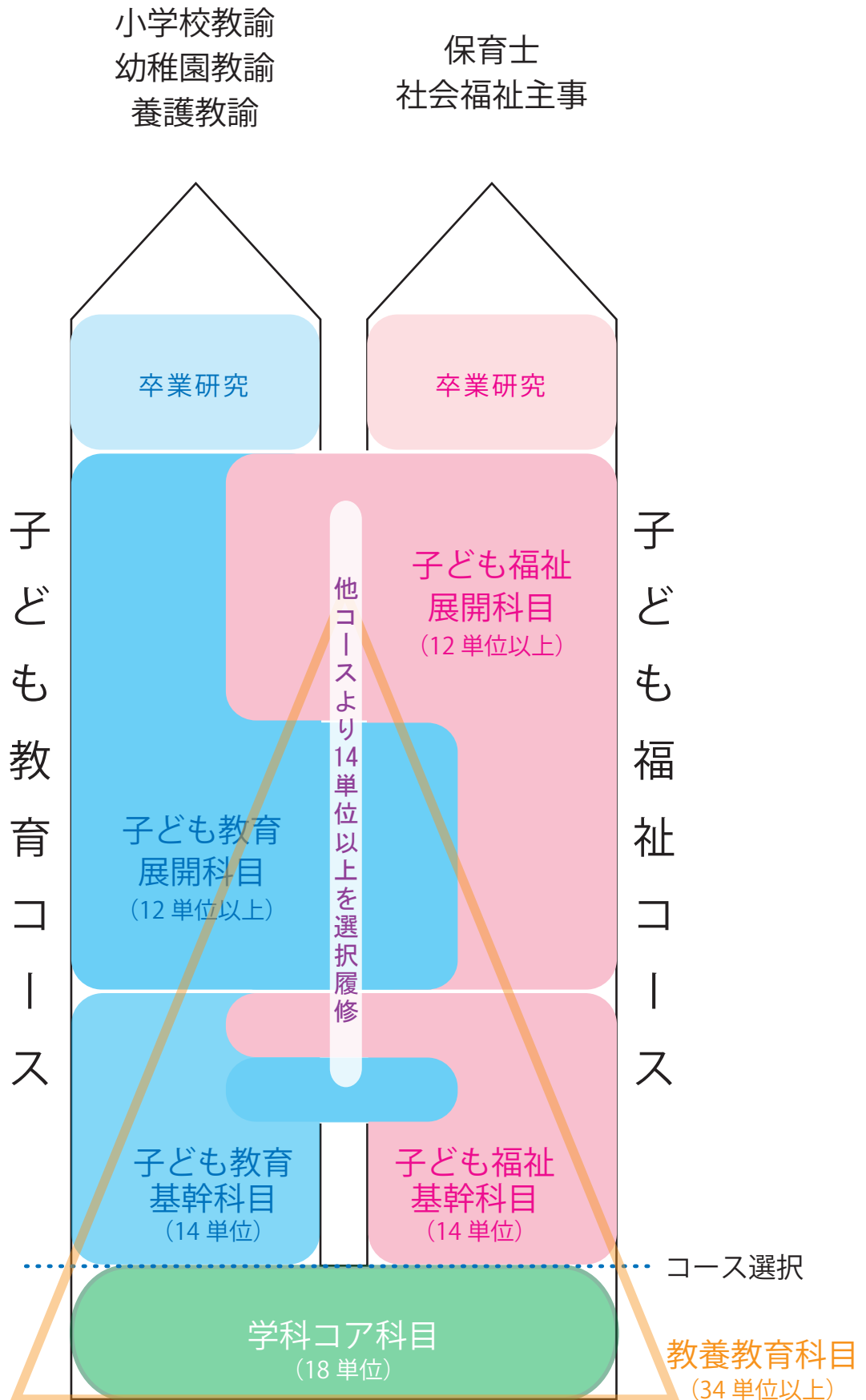
☆滋賀県内の小学校教員についての平成20年度の受験者数556人、合格者数265人で倍率2.1倍の低い状況となっている。平成16年度～平成20年度において、滋賀県は全国平均に比べて低い状況となっている。

☆養護教員は平成17年度から平成20年度の合格者は10人、10人、8人、5人と減少傾向にある。特に、平成20年度は受験倍率16.7倍となり、厳しい合格状況となっている。

教育福祉学部子ども学科の理念イメージ図



教育福祉学部子ども学科の教育課程イメージ図



子育て研究センターの基本プラン

● 設立の趣旨

近年、核家族の増加、女性の社会進出に伴う共働き夫婦の増加など家庭環境の変化や、近隣とのつながりの希薄化など、子どもを取り巻く環境は大きく変化してきている。今や子育ての問題は、社会全体で取り組まなければならない大きな課題のひとつとなっており、子育てのための社会的環境の整備が求められている。

新たな教育、保育や子育て支援のあり方も模索され始めており、子育ては時代とともに進歩しているものの、子育てについての研究を積極的に推進し、その成果を子育ての実践や教育者、保育者の養成に生かす必要がある。

「子育て研究センター」は、これらの現代的課題に対応して、子育てに関する教育研究を中心に、子どもの教育、福祉に係る相談、支援、情報発信など子育てに関する地域の支援センター的役割を担うとともに、子ども学の実践研究の場として機能するものである。

「子育て研究センター」により、「研究」「実践」「教育」の3つの輪ががっちりとかみ合う、教育の理想的な形が完成し、同時に地域社会に貢献する大学としての機能も果たすことにもなる。子どもの成長発達への望ましい援助のあり方、親や家庭のニーズ、子育て支援の現状を実践的に研究し、あるいは子どもや親とふれあい関わりながら調査し、常に現状課題に応じた「子育て」「子育て」のあり方を実践的に研究する。

● 主な事業内容

① 子育て相談・発達相談

近年著しく増えている児童虐待の件数からみても、子育てに悩む親が多いことは明らかであり、本学の子ども教育、保育、福祉を専門とする教員が相談員となり、保護者が安心して子育てできるように、子育ての悩みを相談できる活動を行う。

② 教育、保育者の研修や相談

ただ子どもを教育、保育するだけではなく、子育ての悩みをかかえている親へのカウンセリングやより良い保育環境を作るため、地域へ積極的に働きかけができる教育、保育者が求められており、そのようなニーズにこたえる教育、保育者の養成支援として、地域で保育の仕事に携わる保育者を対象としたスキルアップ講座やメンタルヘルス講座を行う。また、保育者の様々な悩みについての相談援助も行う。

③ 子育て支援活動

地域の子育て中の親と子どもたちで、子どもの教育、保育、福祉の実践研究を行うことにより、保護者の子育てに対する支援を行うとともに、学生の保育を学ぶ実践の場とする。

④ 子どもに関する研究とその情報発信

子どもの教育、保育、福祉に関する研究を行い、それを地域の保育者や保護者に情報発信する。研究センターの研究成果は、印刷物にするほか、シンポジウムや公開講座を通して、地域社会に還元していく。

資料-8.1

びわこ学院大学子育て研究センター規程（案）

（目的）

第1条 子育てに関する教育研究を推進するために、びわこ学院大学子育て研究センター（以下「センター」という）を置く。

（事業）

第2条 センターは、次に掲げる事業を行う。

- （1）子育て相談・発達相談
- （2）教育、保育者の研修や相談
- （3）子育て支援活動
- （4）子どもに関する研究とその情報発信

（構成員）

第3条 センターに、次に掲げる職員を置く。

- （1）センター長
 - （2）センターの専任教員 1名
 - （3）センターの研究員 若干名
- 2 センター長の任期は、2年とし、教授会で専任教員の中から選出される。
- 3 センターの研究員の任期は、2年とし、学長が委嘱する。

（企画運営委員会）

第4条 センターに、センターの企画運営に関する事項を審議するため、企画運営委員会を置く。

2 企画運営委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- （1）センター長
- （2）センターの専任教員 1名
- （3）センターの研究員 若干名

（委員以外の者の出席）

第5条 企画運営委員会は必要と認めた者の出席を求め、意見を聴取することができる。

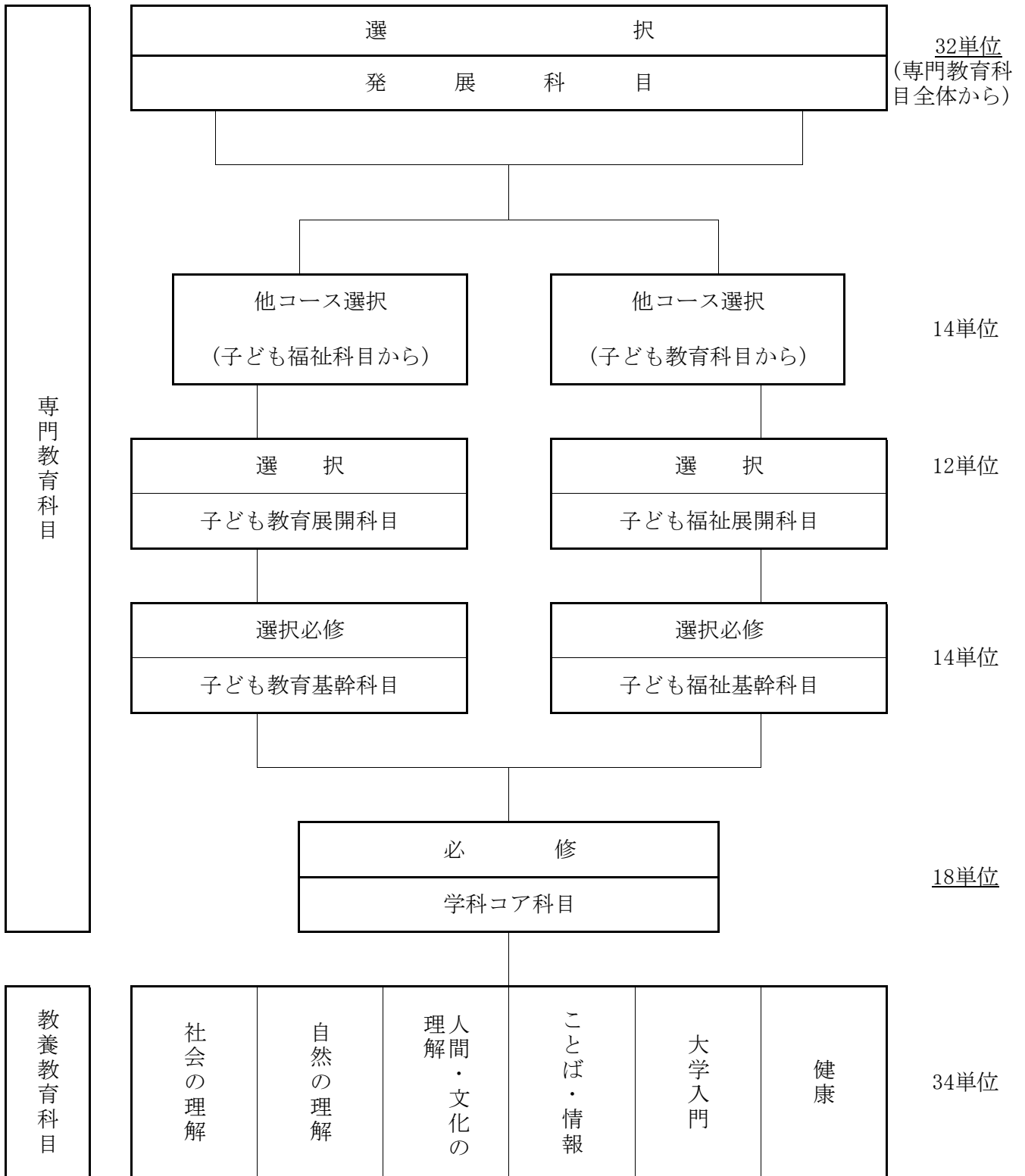
（その他）

第6条 この規程に定めるもののほか、センターに関し必要な事項は、別に定める。

附則

1 この規程は、平成21年4月1日から施行する。

教育課程の構成と卒業要件単位数



合計124単位
<卒業単位数>

卒業要件と履修方法

	必修科目		選択科目			計
	科目数	単位数	科目数	区分内選択 最低単位数		
教養教育科目						
社会の理解	1	2	5	4		
自然の理解	1	2	5	4		
人間・文化の理解	0	0	6	4		
ことば・情報						
語学	2	4	6	4		
手話・点字	0	0	2	1		
情報	2	2	2	2		
大学入門	1	1	2	1		
健康	0	0	3	3		
小計	7	11	31	23		0
専門教育科目						
学科コア科目	6	12	6	6		
子ども教育科目				コース必修 単位数	コース最低 単位数	他コース最 低単位数
基幹科目	0	0	10	14	-	} 14
展開科目	0	0	29	-	12	
子ども福祉科目						
基幹科目	0	0	5	14	-	} 14
展開科目	0	0	28	-	12	
発展科目	0	0	27			
小計	6	12	105	14	12	14
全体選択						32
合計	13	23	136	69		32

卒業に必要な総単位数	124
------------	-----

- 注
1. 教養教育科目34単位(必修11単位)及び専門教育科目90単位(必修18単位)以上を修得すること。
 2. 専門教育科目の選択科目における「コース別履修方法」については次のとおりである。
 - ①子ども教育コースは、子ども教育科目の中の基幹科目は「コース必修科目」となる。展開科目から12単位以上、他コースである子ども福祉科目から14単位以上を修得すること。
 - ②子ども福祉コースも、同様の方法となる。

びわこ学院大学定年規程

(目 的)

第1条 この規程は、びわこ学院大学の教職員の定年に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(定年等)

第2条 教職員の定年（以下「定年令」という。）は、次のとおりとする。ただし、専任以外の教職員はこの限りではない。

- (1) 専任の教育職員にあつては、68歳とする。（任期制の教育職員を除く。）
- (2) 実習助手職員にあつては、60歳とする。
- (3) 事務職員にあつては、60歳とする。

(退職時期)

第3条 定年令に達した教職員の退職時期は、定年令に達した日の属する学年末とする。

(特 例)

第4条 学長については、第2条の規定に係わらず、その都度理事会において決定する。

(改 廃)

第5条 この規程の改廃は、理事会の議決を経て行うものとする。

附 則

- 1 この規程は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 大学開設時において第2条に定める定年令に達している専任教育職員及び事務職員にあつては、採用の日から5か年を超えない範囲で定年を延長することができる。

資料-12

びわこ学院大学教育福祉学部 GPA 制度及び CAP 制度

■ GPA 制度

学生の成績評価をより明確にすることにより、授業に対する学生の意識を高め、学期ごとに学生の学修及び学修指導に役立てることを目的とする。

○成績評価の判定基準と GPA の算出方法

[判定基準]

判定	評価	評点	GP	内 容
合格	A	100～90	4	特に優秀な成績
	B	89～80	3	すぐれた成績
	C	79～70	2	その科目の要求を満たす成績
	D	69～60	1	合格と認められる最低の成績
不合格	E	59 点以下	0	合格と認められる最低の成績に達していない
	G	—	0	(放棄) 履修取消期間内に申し出がなく、自ら放棄した場合
対象外	T	—	—	(認定) 編入が留学などにより他大学等で修得した科目を本学の単位として認定したことを表す

■ CAP 制

単位制度を実質化（1 単位当たり必要な 45 時間の学修時間を確保）し、学修すべき授業科目を精選することで、十分な学修時間を確保し、授業内容を深く身に付け、各学期にわたって適切に授業科目を履修することを目的とする。

○履修上限単位数

1 年次春期の履修登録上限単位数（基準値）を 20 単位とし、以後、当該学期の直前の学期の GPA によって上限単位数を定める。

[直前学期の GPA と上限単位数]

学部	教育福祉学部	※ 所定の履修科目の単位を優れた成績をもって修得した学生については、上限単位数を超えての履修登録を認める。成績の状況が十分でない学生については、逆に、上限単位数を制限する。	
基準値	20	休学や病気欠席等のやむを得ない事由により、その学期のすべての授業科目を履修できなかった場合、次学期の上限単位数は GPA と関係なく基準値とする。	
直前の 学期の GPA	3.0 以上		24
	2.5 以上 3.0 未満		22
	1.5 以上 2.5 未満		20
	1.5 未満	18	

○ 次に掲げる科目は、CAP制に含まないものとする。

1. 教養教育科目中の大学入門科目の「スタディ・スキルズ」、「キャリアデザインⅠ」及び「キャリアデザインⅡ」
2. 専門教育科目中の学科コア科目のうち「子ども学総合演習」及び「子ども学卒業研究」
3. 専門教育科目中の発展科目のうち学外実習に関する科目
（「教育実習指導（小学校）」、「教育実習（小学校）」、「上級教育実習（小学校）」、「教育実習指導（幼稚園）」、「教育実習（幼稚園）」、「上級教育実習（幼稚園）」、「看護臨床実習」、「養護実習指導」、「養護実習」、「保育実習指導」、「保育実習Ⅰ（施設）」、「保育実習Ⅰ（保育所）」、「保育実習Ⅱ」、「保育実習Ⅲ」
4. 集中講義による授業科目

資料-13 履修モデルⅣ(保育士)

科目名	1年次				2年次				3年次				4年次				
	春期		秋期		春期		秋期		春期		秋期		春期		秋期		
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
教養教育科目	社会の理解	人権教育	2							法と社会 (日本国憲法) 社会調査論	2						
	自然の理解					滋賀の環境	2	自然科学入門	2		医学概論 (公衆衛生学・予防医学を含む)	2					
	人間・文化の理解											哲学と人間	2	宗教学	2		
	ことば・情報	基礎英語 I	2	基礎英語 II	2		英会話 I	2	英会話 II	2							
		手話・要約筆記演習	1														
		情報処理演習 I 情報処理論	1 2	情報処理演習 II	1												
	大学入門	スタディ・スキルズ	1		キャリアデザイン I	1											
	健康	体育実技 I	1							運動の科学	2						
専門教育科目	学科コア科目	教育福祉学	2	子ども学総論	2			子ども学総合演習	1	子ども学総合演習	1	子ども学卒業研究	1	子ども学卒業研究	1		
		子ども教育学概論	2	教育心理学	2												
		発達心理学	2	人間福祉概論	2												
		子ども福祉学概論	2														
	子ども教育基幹科目									幼児理解論	2		障害児教育学	2			
	子ども教育展開科目	子どもと音楽 I	1	子どもと音楽 I	1	子どもと音楽 II	1	子どもと音楽 II	1	精神保健学	2						
		子どもと図画工作 I	1	子どもと図画工作 I	1	子どもと運動	1	子どもと運動	1								
子ども福祉基幹科目		現代社会と福祉 I	2	保育原理総論	4	障害児保育学	2										
子ども福祉展開科目	養護原理総論	2	地域福祉論	4													
	子どもの保健	4	子どもと人間関係	1	子どもと人間関係	1	子どもの食事	1	子どもの食事	1							
			子どもと健康	1	子どもと健康	1	保育指導法総論	1	保育指導法総論	1							
			乳児保育演習 I	1	子どもと環境	1	障害児保育演習	1	家族援助論	2							
			子どもの保健実習	1	子どもと表現	1	子どもと環境	1	保育計画論	2							
			養護内容演習	1	子どもと言葉	1	子どもと言葉	1									
		障害児・者福祉論	4	社会福祉援助技術演習 I	2	子どもと言葉	1										
				乳児保育演習 II	1	言語療法演習	1										
				社会福祉援助技術演習 II	2	社会福祉援助技術演習 II	2										
発展科目					保育実習指導	1	保育実習指導	1				保育実習 II	2				
					保育実習 I(施設)	2	保育実習 I(保育所)	2									
							保育実践演習	1									

18

19

20

19

19

17

7

5

資料-13 履修モデルⅡ(小学校教員)

科目名	1年次				2年次				3年次				4年次				
	春期		秋期		春期		秋期		春期		秋期		春期		秋期		
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
教養教育科目	社会の理解	人権教育	2			法と社会 (日本国憲法)	2					家族社会学	2				
	自然の理解					滋質の環境	2					自然科学入門	2	生命と科学	2		
	人間・文化の理解	基礎心理学	2		国際文化論	2											
	ことば・情報	基礎英語Ⅰ	2	基礎英語Ⅱ	2						中国語会話Ⅰ	2	中国語会話Ⅱ	2			
		手話・要約筆記演習	1														
		情報処理演習Ⅰ	1	情報処理演習Ⅱ	1												
	情報処理論	2															
大学入門	スタディ・スキルズ	1		キャリアデザインⅠ	1												
健康					運動の科学	2					体育実技Ⅱ	1					
専門教育科目	学科コア科目	教育福祉学	2	子ども学総論	2			子ども学総合演習	1	子ども学総合演習	1	子ども学卒業研究	1	子ども学卒業研究	1		
		子ども教育概論	2	教育心理学	2												
		発達心理学	2	人間福祉概論	2												
		子ども福祉概論	2														
	子ども教育科目	子ども教育基幹科目		教職概論	2		障害児教育学	2	地域・家庭連携論	2	教育課程論	2	教育相談論	2			
		子ども教育展開科目		子どもと音楽Ⅰ	1	子どもと音楽Ⅰ	1	道徳教育指導論	2	生徒・進路指導論	2	教育方法学	2	子どもと読み書き	2	子どもと数	2
	子ども福祉科目	子ども福祉基幹科目		養護原理総論	2	地域福祉論	4	保育原理総論	4								
		子ども福祉展開科目				障害児・者福祉論	4								音楽療法演習1	1	
	発展科目						教科教育法 国語	2	教科教育法 理科	2	教科教育法 図画工作	2	教職実践演習	1	教職実践演習	1	
							教科教育法 社会	2	教科教育法 生活	2							
						教科教育法 算数	2	教科教育法 音楽	2								
						教科教育法 体育	2	教科教育法 家庭 総合的学習の研究 (介護等体験を含む) 教育実習指導 (小学校) 教育実習(小学校)	2 2 1 4								
		19	19	17	20	20	15	9	5								

資料-13 履修モデルⅠ(幼稚園教員)

科目名	1年次				2年次				3年次				4年次				
	春期		秋期		春期		秋期		春期		秋期		春期		秋期		
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
教養教育科目	社会の理解	人権教育	2			法と社会 (日本国憲法)	2			社会調査論	2						
	自然の理解				自然科学入門	2	滋賀の環境	2		物理学入門	2						
	人間・文化の理解				国際文化論	2						哲学と人間	2				
	ことば・情報	基礎英語Ⅰ	2	基礎英語Ⅱ	2	中国語会話Ⅱ	2										
		中国語会話Ⅰ	2														
		手話・要約筆記演習	1														
	情報処理演習Ⅰ	1	情報処理演習Ⅱ	1						情報倫理論	2						
大学入門	スタディ・スキルズ	1		キャリアデザインⅠ	1												
健康	体育実技Ⅰ	1											運動の科学	2			
専門教育科目	学科コア科目	教育福祉学	2	子ども学総論	2			子ども学総合演習	1	子ども学総合演習	1	子ども学卒業研究	1	子ども学卒業研究	1		
		子ども教育学概論	2	教育心理学	2												
		発達心理学	2	人間福祉概論	2												
		子ども福祉学概論	2														
	子ども教育科目	子ども教育基幹科目		教職概論	2		障害児教育学	2	地域・家庭連携論	2	教育相談論	2					
				幼児理解論	2						教育課程論	2					
	子ども教育展開科目			子どもと音楽Ⅰ	1	子どもと音楽Ⅰ	1	子どもと音楽Ⅱ	1	子どもと音楽Ⅱ	1	子どもと図画工作Ⅱ	1	子どもと図画工作Ⅱ	1	教育情報学	2
				子どもと図画工作Ⅰ	1	子どもと図画工作Ⅰ	1	子どもと運動	1	子どもと運動	1	教育方法学	2	子どもと読み書き	2		
	子ども福祉科目	子ども福祉基幹科目				保育原理総論	4	養護原理総論	2								
						現代社会と福祉Ⅰ	2										
子ども福祉展開科目					子どもと人間関係	1	子どもと人間関係	1	子どもの健全育成論Ⅰ	2							
					子どもと健康	1	子どもと健康	1	障害児保育演習	1							
発展科目				養護内容演習	1	子どもと環境	1	子どもと環境	1								
						子どもと言葉	1	子どもと言葉	1								
						子どもと表現	1	子どもと表現	1								
								保育指導法総論	1	保育指導法総論	1			教職実践演習	1	教職実践演習	1
								保育実践演習	1								
								教育実習指導 (幼稚園)	1								
								教育実習(幼稚園)	4								
		16		19		16		21		18		17		11		6	

資料-13 履修モデルⅢ(養護教員)

科目名	1年次				2年次				3年次				4年次				
	春期		秋期		春期		秋期		春期		秋期		春期		秋期		
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
教養教育科目	社会の理解	人権教育	2			法と社会 (日本国憲法) 社会調査論	2 2										
	自然の理解							医学概論 (公衆衛生学・予防医学を含む)	2	微生物学	2			滋養の環境		2	
	人間・文化の理解											哲学と人間	2	宗教学		2	
	ことば・情報	基礎英語 I	2	基礎英語 II 英会話 I	2 2	英会話 II	2										
		点字・ガイドヘルプ演習	1														
		情報処理演習 I	1	情報処理演習 II	1	情報処理論	2										
	大学入門	スタディ・スキルズ	1		キャリアデザイン I	1											
健康	体育実技 I	1			運動の科学	2											
専門教育科目	学科コア科目	教育福祉学	2	子ども学総論	2			子ども学総合演習(養護)	1	子ども学総合演習(養護)	1	子ども学卒業研究	1	子ども学卒業研究	1	子ども学卒業研究	1
		子ども教育学概論(養護)	2	教育心理学(養護)	2								人間福祉概論	2			
		発達心理学	2														
		子ども福祉学概論	2														
	子ども教育基幹科目			教職概論(養護)	2		障害児教育学	2	地域・家庭連携論	2	教育課程論(養護)	2					
				幼児理解論	2						教育相談論(養護)	2					
	子ども教育展開科目					教育行政学(養護)	2	道徳教育指導論(養護)	2	生徒・進路指導論(養護)	2	学校保健論	2			教育方法学(養護)	2
						基礎看護学	4	特別活動論(養護)	2	養護概説	2	健康相談論	2				
								衛生学	2			免疫・薬理学	2				
								解剖生理学	2			救急医学論	2				
子ども福祉基幹科目			養護原理総論	2	保育原理総論	4	現代社会と福祉 I	2							障害児保育学	2	
子ども福祉展開科目			食育論(食品学を含む)	2	障害児・者福祉論	4							言語療法演習	1			
発展科目								看護技術演習	1	看護技術演習	1	教職実践演習	1	教職実践演習	1		
										看護臨床実習	2	養護実習指導	1				
										養護実習	4						

16

19

19

20

10

18

10

12

資料-13 履修モデルV(小学校・養護教員)

科目名	1年次				2年次				3年次				4年次				
	春期		秋期		春期		秋期		春期		秋期		春期		秋期		
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
教養教育科目	社会の理解	人権教育	2		社会科学入門	2							法と社会 (日本国憲法)	2			
	自然の理解				医学概論 (公衆衛生学・予防医学を含む)	2							微生物学	2			
	人間・文化の理解	基礎心理学	2										基礎心理学	2			
	ことば・情報	基礎英語 I	2	基礎英語 II	2	中国語会話 II	2										
		中国語会話 I	2														
		手話・要約筆記演習	1														
	情報処理論	2	情報処理演習 II	1													
情報処理演習 I	1																
大学入門	スタディ・スキルズ	1		キャリアデザイン I	1												
健康			運動の科学	2									体育実技 II	1			
専門教育科目	学科コア科目	教育福祉学	2	子ども学総論	2			子ども学総合演習	1	子ども学総合演習	1	子ども学卒業研究	1	子ども学卒業研究	1	子ども学卒業研究	1
		子ども教育学概論	2	教育心理学	2								人間福祉概論	2			
		発達心理学	2														
		子ども福祉学概論	2														
	子ども教育基幹科目	教職概論	2	幼児理解論	2		障害児教育学	2			教育課程論	2	地域・家庭連携論	2	教育相談論	2	
		子どもの心理	2				子どもの心理	2									
	子ども教育展開科目	子どもと音楽 I	1	子どもと音楽 I	1	子どもと音楽 I	1	道徳教育指導論	2	生徒・進路指導論	2	解剖生理学	2	子どもと数	2	教育方法学	2
		子どもと図画工作 I	1	子どもと図画工作 I	1	子どもと図画工作 I	1	特別活動論	2			精神保健学	2	教育行政学	2		
		子どもと読み書き	2	子どもと読み書き	2	子どもと読み書き	2	衛生学	2			学校保健論	2	養護概説	2		
	基礎看護学	4	基礎看護学	4	基礎看護学	4					健康相談論	2					
免疫・薬理学	2									免疫・薬理学	2						
救急医学論	2									救急医学論	2						
子ども福祉基幹科目		養護原理総論	2	保育原理総論	4							現代社会と福祉 I	2	障害児保育学	2		
子ども福祉展開科目				子どもと健康	1	子どもと健康	1							食育論 (食品学を含む)	2		
発展科目						教科教育法 国語	2	教科教育法 理科	2	教科教育法 国語	2	教科教育法 図画工作	2	教職実践演習	1	教職実践演習	1
						教科教育法 社会	2	教科教育法 生活	2	教科教育法 社会	2						
						教科教育法 算数	2	教科教育法 音楽	2	教科教育法 算数	2						
						教科教育法 体育	2	教科教育法 家庭	2	教科教育法 体育	2						
								総合的学習の研究 (介護等体験を含む)	2								
								教育実習指導 (小学校)	1								
								教育実習(小学校)	4								
								看護技術演習	1	看護技術演習	1	看護臨床実習	2	養護実習指導	1		
										看護臨床実習	1	看護実習	4				

19

19

20

19

19

20

20

18

資料-13 履修モデルV(幼稚園教員・保育士)

科目名		1年次		2年次				3年次				4年次						
		春期		秋期		春期		秋期		春期		秋期		春期		秋期		
		科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
教養教育科目	社会の理解	人権教育	2			社会科学入門	2	法と社会(日本国憲法)	2									
	自然の理解											滋賀の環境	2	自然科学入門	2	生命と科学	2	
	人間・文化の理解	基礎心理学	2											哲学と人間	2			
	ことば・情報		基礎英語 I	2	基礎英語 II	2	英会話 II	2										
			英会話 I	2														
			手話・要約筆記演習	1														
			情報処理論	2	情報処理演習 II	1												
			情報処理演習 I	1														
大学入門	スタディ・スキルズ	1				キャリアデザイン I	1											
健康	体育実技 I	1										運動の科学	2					
専門教育科目	学科コア科目	教育福祉学	2	子ども学総論	2			人間福祉概論	2	子ども学総合演習	1	子ども学総合演習	1	子ども学卒業研究	1	子ども学卒業研究	1	
		子ども教育学概論	2	教育心理学	2													
		発達心理学	2															
		子ども福祉学概論	2															
	子ども教育科目	子ども教育基幹科目							幼児理解論	2			教育課程論	2	教職概論	2		
													教育相談論	2	地域・家庭連携論	2		
		子ども教育展開科目			子どもと読み書き	2	子どもと音楽 II	1	子どもと音楽 II	1	子どもと音楽 II	1	教育方法学	2	教育行政学	2		
					子どもと音楽 I	1	子どもと音楽 I	1	子どもと運動	1	子どもと運動	1	精神保健学	2				
					子どもと図画工作 I	1	子どもと図画工作 I	1										
	子ども福祉科目	子ども福祉基幹科目			現代社会と福祉 I	2	保育原理総論	4	障害児保育学	2					地域福祉論	4		
				養護原理総論	2													
子ども福祉展開科目				子どもの保健	4	子どもと健康	1	子どもと健康	1	保育指導法総論	1	保育指導法総論	1			障害児・者福祉論	4	
						子どもと人間関係	1	子どもと人間関係	1	子どもと環境	1	子どもと環境	1	家族援助論	2			
				乳児保育演習 I	1	子どもと環境	1	子どもと環境	1	子どもの食事	1	子どもの食事	1					
				養護内容演習	1	子どもと言葉	1	子どもと言葉	1	子どもと言葉	1	保育計画論	2					
				子どもの保健実習	1	子どもと表現	1	子どもと表現	1	子どもと表現	1							
						社会福祉援助技術演習 I	2	障害児保育演習	1									
						社会福祉援助技術演習 II	1	社会福祉援助技術演習 II	2									
発展科目										教育実習指導(幼稚園)	1			教職実践演習	1	教職実践演習	1	
										教育実習(幼稚園)	4							
										保育実践演習	1			保育実習 II	2			
						保育実習指導	2	保育実習指導	1									
						保育実習 I(施設)	2	保育実習 I(保育所)	2									
		20		19		18		20		20		19		18		8		

資料-13 履修モデルV(幼稚園・小学校教員)

科目名	1年次				2年次				3年次				4年次					
	春期		秋期		春期		秋期		春期		秋期		春期		秋期			
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数		
教養教育科目	社会の理解	人権教育	2		社会科学入門	2	法と社会 (日本国憲法)	2										
	自然の理解				自然科学入門	2				滋養の環境	2			物理学入門	2			
	人間・文化の理解				国際文化論	2				生活科学入門	2							
	ことば・情報	基礎英語 I	2	基礎英語 II	2	ポルトガル語会話 II	2											
		手話・要約筆記演習	1	ポルトガル語会話 I	2													
		情報処理演習 I	1	情報処理演習 II	1										情報倫理論	2		
	大学入門	スタディ・スキルズ	1			キャリアデザイン I	1											
健康													体育実技 II	1	運動の科学	2		
専門教育科目	学科コア科目	教育福祉学	2	子ども学総論	2			子ども学総合演習	1	子ども学総合演習	1	子ども学卒業研究	1	子ども学卒業研究	1	子ども学卒業研究	1	
		子ども教育学概論	2	教育心理学	2							地域・家庭連携論	2	人間福祉概論	2			
		発達心理学	2															
		子ども福祉学概論	2															
	子ども教育科目	子ども教育基幹科目		教職概論	2			障害児教育学	2		教育課程論	2	教育相談論	2				
		子ども教育展開科目		幼児理解論	2													
	子ども福祉科目	子ども福祉基幹科目		子どもの心理	2													
				子どもと音楽 I	1	子どもと音楽 I	1	子どもと音楽 II	1	子どもと音楽 II	1	教育方法学	2	教育行政学	2			
		子ども福祉展開科目	子どもと図画工作 I	1	子どもと図画工作 I	1	子どもと運動	1	子どもと運動	1	教育情報学	2	生徒・進路指導論	2				
				子どもと読み書き	2	子どもと読み書き	2	道徳教育指導論	2	道徳教育指導論	2							
	子どもと教	2	子どもと教	2	特別活動論	2	特別活動論	2										
発展科目	子ども福祉基幹科目		養護原理総論	2	保育原理総論	4										障害児保育学	2	
	子ども福祉展開科目				子どもと健康	1	子どもと健康	1	保育指導法総論	1	保育指導法総論	1						
			子どもと人間関係	1	子どもと人間関係	1	子どもと環境	1	子どもと環境	1								
					子どもと言葉	1	子どもと言葉	1	子どもと表現	1	子どもと表現	1						
					子どもと表現	1	子どもと表現	1	障害児保育演習	1	障害児保育演習	1						
								教科教育法 国語	2	教科教育法 理科	2	教科教育法 図画工作	2	教職実践演習	1	教職実践演習	1	
								教科教育法 社会	2	教科教育法 生活 総合的学習の研究 (介護等体験を含む)	2	教科教育法 算数	2	教科教育法 音楽	2			
										教科教育法 体育	2	教科教育法 家庭 教育実習指導 (小学校)	1	教科教育法 家庭 教育実習 (小学校)	2			
										教育実習指導 (幼稚園)	1							
										教育実習(幼稚園)	4							
										保育実践演習	1							

15

19

21

19

20

20

16

12

計 142

資料-13 履修モデルV(幼稚園教員・小学校教員・保育士)

科目名	1年次				2年次				3年次				4年次					
	春期		秋期		春期		秋期		春期		秋期		春期		秋期			
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数		
教養教育科目	社会の理解	人権教育	2		社会科学入門	2	法と社会 (日本国憲法)	2										
	自然の理解				自然科学入門	2				滋賀の環境	2			生命と科学	2			
	人間・文化の理解				基礎心理学	2						哲学と人間	2					
	ことば・情報	基礎英語Ⅰ	2	基礎英語Ⅱ 英会話Ⅰ	2 2	英会話Ⅱ	2											
		手話・要約筆記演習	1															
		情報処理論 情報処理演習Ⅰ	2 1	情報処理演習Ⅱ	1													
	大学入門	スタディ・スキルズ	1		キャリアデザインⅠ	1												
健康	体育実技Ⅰ	1								運動の科学	2							
学科コア科目	教育福祉学 子ども教育学概論 発達心理学 子ども福祉学概論	2 2 2 2	子ども学総論 教育心理学 人間福祉概論	2 2 2					子ども学総合演習	1	子ども学総合演習	1	子ども学卒業研究	1	子ども学卒業研究	1		
	子ども教育基幹科目		教職概論 子どもの心理	2 2		幼児理解論	2	地域・家庭連携論	2	教育課程論 教育相談論	2 2		障害児教育学	2				
子ども教育展開科目			子どもと音楽Ⅰ 子どもと図画工作Ⅰ	1 1	子どもと読み書き 子どもと音楽Ⅰ 子どもと図画工作Ⅰ	2 1 1	子どもと音楽Ⅱ 子どもと運動 道徳教育指導論 特別活動論	1 1 2 2	子どもと音楽Ⅱ 子どもと運動 生徒・進路指導論	1 1 2	教育方法学 教育情報学 精神保健学	2 2 2	教育行政学	2				
	子ども福祉基幹科目		現代社会と福祉Ⅰ 養護原理総論 子どもの保健	2 2 4	保育原理総論 地域福祉論	4 4	障害児保育学	2										
子ども福祉展開科目			子どもと健康 子どもと人間関係 乳児保育演習Ⅰ 養護内容演習 子どもと表現 障害児・者福祉論	1 1 1 1 1 4	子どもと健康 子どもと人間関係 乳児保育演習Ⅰ 子どもと言葉 子どもと表現 社会福祉援助技術演習Ⅰ 乳児保育演習Ⅱ	1 1 1 1 1 4 1	子どもと健康 子どもと環境 子どもと食事 子どもと言葉 子どもと表現 障害児保育演習 社会福祉援助技術演習Ⅱ	1 1 1 1 1 2 1	保育指導法総論 子どもと環境 子どもの食事 子どもと言葉 子どもと表現 障害児保育演習 社会福祉援助技術演習Ⅱ	1 1 1 1 1 1 2	保育指導法総論 家族援助論 子どもの食事 保育計画論	1 2 1 2						
	発展科目												教育実習指導 (幼稚園) 上級教育実習 (幼稚園)	1 2				
							教科教育法 国語 教科教育法 社会 教科教育法 算数 教科教育法 体育	2 2 2 2	教科教育法 理科 教科教育法 生活 教科教育法 音楽 教科教育法 家庭 総合的学習の研究 (介護等体験を含む) 教育実習指導 (小学校) 教育実習(小学校)	2 2 2 2 2 1 4	教科教育法 図画工作	2	教職実践演習	1	教職実践演習	1		
							保育実習指導 保育実習Ⅰ (施設)	2 2	保育実践演習 保育実習指導 保育実習Ⅰ (保育所)	1 1 2		保育実習Ⅱ	2					
		18		25		30		30		34		23		11		6		

資料-13 履修モデルV(幼稚園教員・保育士・養護教員)

科目名	1年次				2年次				3年次				4年次				
	春期		秋期		春期		秋期		春期		秋期		春期		秋期		
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
教養教育科目	社会の理解	人権教育	2							法と社会(日本国憲法)	2	経済学	2				
	自然の理解				医学概論(公衆衛生学・予防医学を含む)	2							微生物学	2			
	人間・文化の理解	基礎心理学	2									哲学と人間	2				
	ことば・情報	基礎英語 I	2	基礎英語 II	2	英会話 II	2										
		手話・要約筆記演習	1	英会話 I	2												
		情報処理演習 I	1	情報処理演習 II	1	情報処理論	2										
	大学入門	スタディ・スキルズ	1		キャリアデザイン I	1											
健康	体育実技 I	1												運動の科学	2		
専門教育科目	学科コア科目	教育福祉学	2	子ども学総論	2			子ども学総合演習	1	子ども学総合演習	1	子ども学卒業研究	1	子ども学卒業研究	1		
		子ども教育学概論	2	教育心理学	2												
		発達心理学	2	人間福祉概論	2												
		子ども福祉学概論	2														
	子ども教育基幹科目			教職概論	2		幼児理解論	2		教育課程論	2	地域・家庭連携論	2	障害児教育学	2		
							子どもの心理	2		教育相談論	2						
	子ども教育展開科目			子どもと音楽 I	1	子どもと読み書き	2	子どもと音楽 II	1	子どもと音楽 II	1	精神保健学	2	教育行政学	2	教育方法学	2
				子どもと図画工作 I	1	子どもと音楽 I	1	子どもと運動	1	子どもと運動	1	学校保健論	2			免疫・薬理学	2
						子どもと図画工作 I	1	衛生学	2	養護概説	2	健康相談論	2			解剖生理学	2
	子ども福祉基幹科目			現代社会と福祉 I	2	保育原理総論	4									障害児保育学	2
			養護原理総論	2													
子ども福祉展開科目				子どもの保健	4	子どもと健康	1	食育論(食品学を含む)	2	保育指導法総論	1	保育指導法総論	1			家族援助論	2
						子どもと人間関係	1	子どもと健康	1	子どもと環境	1	子どもの食事	1				
					乳児保育演習 I	1	子どもと人間関係	1	子どもの食事	1	保育計画論	2					
				養護内容演習	1	子どもと環境	1	子どもと言葉	1								
				子どもの保健実習	1	子どもと言葉	1	子どもと表現	1								
						子どもと表現	1	障害児保育演習	1								
						社会福祉援助技術演習 I	2	社会福祉援助技術演習 II	2								
						乳児保育演習 II	1										
発展科目								教育実習指導(幼稚園)	1			教職実践演習	1	教職実践演習	1		
								教育実習(幼稚園)	4								
							保育実習指導		保育実践演習	1		保育実習 II	2				
						保育実習 I(施設)	2	保育実習指導	1								
								看護技術演習	1	看護技術演習	1	養護実習指導	1				
										看護臨床実習	2	養護実習	4				
		18		23		20		24		23		22		17		20	

子ども学科	I 9:00~10:30			II 10:40~12:10			III 13:00~14:30			IV 14:40~16:10			V 16:30~18:00			
	講義科目名(担当)	人数	教室	講義科目名(担当)	人数	教室	講義科目名(担当)	人数	教室	講義科目名(担当)	人数	教室	講義科目名(担当)	人数	教室	
月	1 回生			社会科学入門(角)		2201	子ども教育学概論<宮坂>		1201	スタディ・スキルズA<パン>		2102	体育実技 I A<奥田>		1117	
	2 回生	自然科学入門<大江>		2101	子どもと音楽 I A(岡本ほか)		3302	子どもと音楽 I B(岡本ほか)		3302	キャリアデザイン I C<平尾>		2201			
					子どもと図画工作 I B<秋元>		1203	子どもと図画工作 I A<秋元>		1203	キャリアデザイン I D<鳥野>		2202			
											子どもの保健実習 A(荒川)		3105			
3 回生	教科教育法家庭(岩本)		2102	教科教育法生活<中西>(岩本・岸本)		1302	教育実習指導(小学校)<中西・位藤・奥田・浅田>		1202	地域・家庭連携論<浅田>		1201	障害児保育実習 A<遠藤>		3207	
4 回生				体育実技 II<奥田>		1117	哲学と人間【藤田】		2101							
火	1 回生			基礎心理学(福田)		1201	発達心理学(福田)		1107	手話・要約筆記演習 A(原田)		1202	手話・要約筆記演習 B(原田)		1202	
										点字・ガイドヘルプ演習 B(前田)		2102	点字・ガイドヘルプ演習 A(前田)		2102	
	2 回生	英会話 II 2-1(ジェイソン)		1307	英会話 II 2-2(ジェイソン)		1307	子どもの心理<千原>		1202	障害児・者福祉論2-1<遠藤>		2202	障害児・者福祉論2-2<鳥野>(小野)		2202
		中国語会話 II 2-1<パン>		2101	中国語会話 II 2-2<パン>		2101	子どもと自然<中西>		1302						
3 回生	ボルトガル語会話 II 2-1(竹屋)		2201	ボルトガル語会話 II 2-2(竹屋)		2201	現代社会と福祉 II<鳥野>		2102							
	看護技術演習<高橋・村西>		2302	生徒・進路指導論<仁木>		2202	子どもの健全育成論 I(大和)		2207	子ども学総合演習<秋元・中西・位藤・仁木・宮坂・浅田>			教育実習指導(幼稚園)<遠藤・宮坂>(杉本)		1201	
	保育実践演習<上月>		3207							子どもと運動 B<上月>		1117				
4 回生				子ども学卒業研究<田中・遠藤・平尾・安田・鳥野・上月>												
水	1 回生			人権教育(川篤)		2207	基礎英語 I A(深井)		1201	基礎英語 I B(深井)		1201				
										情報処理演習 I B<西馬>		1215	情報処理演習 I A<長嶺>		1215	
	2 回生	地域福祉論2-1<平尾>		2201	地域福祉論2-2<平尾>		2201	子どもと健康 A<奥田>		1202	子どもと健康 B<奥田>		1202			
										3207	養護内容演習 A(斉藤)		3207			
3 回生	社会福祉援助技術演習 II A2-1<安田>		1307	社会福祉援助技術演習 II A2-2<安田>		1307	保育指導法総論 A(山口)		2101	保育指導法総論 B(山口)		2101	教科教育法音楽(牧野)		2202	
	社会福祉援助技術演習 II B2-1(吉弘)		1311	社会福祉援助技術演習 II B2-2(吉弘)		1311	子どもと音楽 II B(岡本ほか)		3302	子どもと音楽 II A(岡本ほか)		3302				
4 回生				養護実習指導<高橋・村西・仁木>		2202	就職実践演習<位藤・仁木>		2102							
木	1 回生			保育原理総論2-1(山口)		2207	保育原理総論2-2(山口)		2207	スタディ・スキルズ B<長嶺>		1201	体育実技 I B<奥田>		1117	
	2 回生	医学概論(公衆衛生学・予防医学を含む)【新館】		1201	子どもと人間関係 A(杉本)		2101	子どもと人間関係 B(杉本)		2101	子どもと読み書き<位藤>		2202	キャリアデザイン I A<宮坂>		2101
					乳児保育演習 I B(栗山)		3207	乳児保育演習 I A(栗山)		3207	子どもと数<仁木>		2201	キャリアデザイン I B<浅田>		2202
	3 回生	教科教育法理科<中西>		2201	養護概説<村西>		2102	子ども学総合演習<田中・遠藤・平尾・安田・鳥野・上月>			子どもと運動 A<上月>			保育実習指導<平尾・安田・上月>(杉本)		1202
4 回生				子ども学卒業研究<秋元・中西・位藤・仁木・宮坂・浅田>			子どもと図画工作 II<秋元>		1203	障害児保育演習 B<遠藤>		3207				
金	1 回生			経済学(新館)		1107	子ども福祉学概論<安田>		2207	情報処理論<長嶺>		1301				
	2 回生	基礎看護学2-1<高橋>		2202	基礎看護学2-2<高橋>		2202	国際文化論<パン>		1201	社会保障論2-1<田中>		2201	社会保障論2-2<田中>		2201
	3 回生	社会学<パン>		1201	子どもと言葉 B(渋谷)		1202	子どもと言葉 A(渋谷)		1202	子どもと環境 A(藤井)		2102	子どもと環境 B(藤井)		2102
					子どもの食事 A(馬引)		1303	子どもの食事 B(馬引)		1303	子どもと表現 B(久保)		3105	子どもと表現 A(久保)		3105
4 回生																
土	1 回生															
	2 回生															
	3 回生	言語療法3-1(中谷) ※5日間		3105	言語療法3-2(中谷) ※5日間		3105	言語療法3-3(中谷) ※5日間		3105						
		総合的学習の研究<村西・安田> ※3日間		1107	総合的学習の研究<村西・安田> ※3日間		1107									
4 回生																
集中・実習	1 回生															
	2 回生															
	3 回生	教育実習(小学校)			教育実習(幼稚園)			保育実習 I(保育所)			※介護等体験					
	4 回生	養護実習			保育実習 II			保育実習 III			上級教育実習(小学校)			上級教育実習(幼稚園)		

平成21年度 春期 通常講義における教室使用状況

教室			月					火					水					木					金					土					稼働率 (÷20)				
			I	II	III	IV	V	I	II	III	IV	V	I	II	III	IV	V	I	II	III	IV	V	I	II	III	IV	V	I	II	III	IV	V					
本館	1F	1107	大講義室								子1																子1				子3	子3				20%	
		1117	体育館		子4			子1				子3								子3	子1																25%
	2F	1201	第1講義室			子1	子3			子1			子3				子1	子1		子2			子1		子3			子2								50%	
		1202	第2講義室			子3					子2	子1	子1				子2	子2					子3		子3		子3	子3								50%	
		1203	造形室		子2	子2				子4		子3									子4	子4														30%	
		1215	第2コンピュータ室														子1	子1																		10%	
	3F	1301	第1コンピュータ室																										子1							5%	
		1302	理科室		子3					子4	子2	子3									子4															25%	
		1303	食生活実習室																								子3	子3								10%	
		1308	第3コンピュータ室																																	0%	
		1307	セミナー室						子2	子2		子3		子3	子3						子4	子3														35%	
		1311	小セミナー室							子4		子3		子3	子3						子4	子3														30%	
	1306	セミナー室																																	0%		
新館	1F	2102	第6講義室	子3			子1				子2	子1	子1			子4				子3	子3							子3	子3						50%		
		2101	第7講義室	子2		子4			子2	子2						子3	子3			子2	子2		子2												45%		
	2F	2202	第4講義室				子2			子3		子2	子2		子4			子3				子2	子2	子2	子2											50%	
		2201	第5講義室		子1		子2		子2	子2					子2	子2				子3			子2					子2	子2						50%		
		2207	特別講義室								子3					子1				子1	子1						子1								25%		
	3F	2302	介護実習室						子3																										5%		
	2301	入浴実習室																																0%			
児童棟	1F	3105	子ども教育演習室				子2			子4		子3								子4	子3							子3	子3	子3	子3	子3			50%		
			ピアノ練習室1~4																																0%		
	2F	3207	小児保健実習室					子3	子3	子4						子2	子2			子2	子2	子3													40%		
			ピアノ練習室5~10																																0%		
	3F	3302	音楽室		子2	子2										子3	子3																		20%		
	3301	セミナー室							子4		子3								子4	子3														20%			

平成21年度 秋期 通常講義における教室使用状況

教室			月					火					水					木					金					土					稼働率 (÷20)			
			I	II	III	IV	V	I	II	III	IV	V	I	II	III	IV	V	I	II	III	IV	V	I	II	III	IV	V	I	II	III	IV	V				
本館	1F	1107	大講義室																												稼働率					
		1117	体育館																												稼働率					
	2F	1201	子1				子1	子1	子1				子2	子2		子3			子1	子1	子1				子1											稼働率
		1202	子2	子3			子3				子2	子2	子2	子2					子2	子2			子1	子2												稼働率
		1203	造形室																												稼働率					
		1215	第2コンピュータ室																												稼働率					
	3F	1301	第1コンピュータ室																												稼働率					
		1302	理科室																												稼働率					
		1303	食生活実習室																												稼働率					
		1308	第3コンピュータ室																												稼働率					
新館	1F	2102	子2	子3				子3	子4			子3	子1	子1			子2			子3			子2	子2										稼働率		
		2101	子1	子2			子2	子4				子2	子2			子3		子3	子2		子2	子2													稼働率	
	2F	2202	第4講義室																												稼働率					
		2201	第5講義室																												稼働率					
		2207	特別講義室																												稼働率					
	3F	2302	介護実習室																												稼働率					
		2301	入浴実習室																												稼働率					
	児童棟	1F	3105	子ども教育演習室																												稼働率				
				ピアノ練習室1~4																												稼働率				
		2F	3207	小児保健実習室																												稼働率				
			ピアノ練習室5~10																												稼働率					
3F		3302	音楽室																												稼働率					
	3301	セミナー室																												稼働率						

資料14 教育福祉学部子ども学科 時間割表 (秋期)

子ども学科	Ⅰ 9:00~10:30		Ⅱ 10:40~12:10		Ⅲ 13:00~14:30		Ⅳ 14:40~16:10		Ⅴ 16:30~18:00		
	講義科目名(担当)	教室	講義科目名(担当)	教室	講義科目名(担当)	教室	講義科目名(担当)	教室	講義科目名(担当)	教室	
月	1回生	食育論<大江>	1201	教育心理学<千原>	2101	子どもと音楽ⅠA(岡本ほか)	3302	子どもと音楽ⅠB(岡本ほか)	3302	現代社会と福祉Ⅰ<平尾>	1201
	2回生	道徳教育指導論<仁木>	1202	キャリアデザインⅡA<宮坂>	2102	子どもと図画工作ⅠB<秋元>	1203	子どもと図画工作ⅠA<秋元>	1203	子どもの保健実習B(荒川)	3105
		キャリアデザインⅡB<浅田>	2201	障害児保育学<遠藤>	2101	子どもの保健実習B(荒川)	3105	教科教育法社会(岸本)	2201		
		キャリアデザインⅡC<平尾>	1307								
3回生			キャリアデザインⅡD<鳥野>	1311							
4回生			健康相談論<奥田>	1202	教育課程論(岸本)	2102	教育情報学<千原>	2202	子どもと遊び(奥田)	1202	
火	1回生	英会話Ⅰ2-1(ジェイソン)	1307	英会話Ⅰ2-2(ジェイソン)	1307	運動の科学<奥田>	2207	教育行政学<浅田>	1201	社会調査論<平尾>	2207
	2回生	中国語会話Ⅰ2-1(バン)	1201	中国語会話Ⅰ2-2(バン)	1201						
		ポルトガル語会話Ⅰ2-1(竹屋)	2202	ポルトガル語会話Ⅰ2-2(竹屋)	2202						
	3回生	教科教育法体育<奥田>	2101	教科教育法国語<位藤>	2201	精神保健学(甘佐)	2202	法と社会(日本国憲法)(渡邊)	1202	特別活動論<仁木>	1107
4回生											
水	1回生	子ども学総論<千原・安田・宮坂>	2207	養護原理総論(齊藤)	2202	基礎英語ⅡA(深井)	2102	基礎英語ⅡB(深井)	2102	家族援助論(岡本朝)	2201
	2回生	社会福祉援助技術演習ⅠA2-1【片山】	1201	社会福祉援助技術演習ⅠA2-2【片山】	1201	情報処理演習ⅡB<西馬>	1215	情報処理演習ⅡA<長嶺>	1215	微生物学(雨貝)	2202
		社会福祉援助技術演習ⅠB2-1(吉弘)	1202	社会福祉援助技術演習ⅠB2-2(吉弘)	1202	子どもと音楽ⅡA(岡本ほか)	3302	子どもと音楽ⅡB(岡本ほか)	3302	子どもと健康B<奥田>	2101
	3回生			保育指導法総論B(山口)	2102	子どもと健康A<奥田>	2101	子どもと健康A<奥田>	2101	免疫・薬理学(雨貝)	1201
4回生			子ども学総合演習<担当6名>		保育指導法総論A(山口)	2202	子ども学総合演習<担当6名>		教科教育法図画工作(新開)	1203	
木	1回生	生活科学入門【谷口】	1201	宗教学【藤田】	2201	生命と科学<大江>	1107	子ども学卒業研究<担当6名>			
	2回生	衛生学【新屋】	2202	解剖生理学【新屋】	2102	子どもの保健2-1(長谷川)	1201	子どもの保健2-2(長谷川)	1201	教職概論<宮坂>	1202
		社会福祉援助技術論2-2【片山】	1202	社会福祉援助技術論2-1【片山】	1202	子どもと人間関係A(杉本)	2202	子どもと人間関係B(杉本)	2202	教科教育法算数<仁木>	2101
	3回生			保育計画論<上月>	2101	乳児保育演習ⅡB(栗山)	3207	乳児保育演習ⅡA(栗山)	3207	保育実習指導<平尾・安田・上月>	2201
4回生					教育相談論<安田>	2201	教育方法学<浅田>	2101	救急医学論【新屋】	2102	
金	1回生	地域歴史学(中島)	2201	人間福祉概論<田中>	2207	情報倫理論【岡野】	2202	幼児理解論(杉本)	1201		
	2回生	障害児教育学<安田>	1202	子どもと運動A<上月>	1117	子どもと運動B<上月>	1117	子どもと環境A(藤井)	2102	子どもと環境B(藤井)	2102
					子どもと言葉B(渋谷)	2101	子どもと言葉A(渋谷)	2101	子どもと表現B(久保)	3105	子どもと表現A(久保)
	3回生			子どもの食事B(馬引)	1303	子どもの食事A(馬引)	1303	学校保健論<村西>	2201	看護技術演習<高橋・村西>	2302
4回生											
土	1回生										
	2回生										
3回生	遊戯療法演習3-1(小野)	1203	遊戯療法演習3-2(小野)	1203	遊戯療法演習3-2(小野)	1203					
4回生	音楽療法演習2-1<岡本>	3105	音楽療法演習2-2<岡本>	3105							

資料14 教室使用状況（春期）

子1：子ども学科1回生 子2：子ども学科2回生 子3：子ども学科3回生 子4：子ども学科4回生

教室			月					火					水					木					金					土					稼働率 (÷28)	
			I	II	III	IV	V	I	II	III	IV	V	I	II	III	IV	V	I	II	III	IV	V	I	II	III	IV	V	I	II	III	IV	V		
本館	1F	1107	大講義室									子1												子1					子3	子3				14%
		1117	体育館			子4			子1					子3												子3	子1						18%	
	2F	1201	第1講義室				子1	子3			子1			子3			子1	子1			子2			子1		子3		子2				36%		
		1202	第2講義室				子3					子2	子1	子1			子2	子2					子3		子3		子3	子3				36%		
		1203	造形室			子2	子2					子4		子3							子4	子4										21%		
		1215	CALL教室														子1	子1														7%		
	3F	1301	第1コンピュータ室																									子1					4%	
		1302	理科室			子3								子4	子2	子3						子4										18%		
		1303	食生活実習室																					子3	子3									7%
		1308	第3コンピュータ室																														0%	
		1307	セミナー室							子2	子2		子3	子3	子3							子4	子3									25%		
		1311	セミナー室								子4		子3	子3	子3							子4	子3									21%		
	1306	セミナー室																													0%			
新館	1F	2102	第6講義室		子3			子1			子2	子1	子1			子4			子3	子3					子3	子3					36%			
		2101	第7講義室		子2		子4			子2	子2						子3	子3			子2	子2		子2							32%			
	2F	2202	第4講義室					子2			子3		子2	子2			子4			子3			子2	子2	子2	子2					36%			
		2201	第5講義室			子1		子2			子2	子2				子2	子2			子3			子2				子2	子2				36%		
		2207	特別講義室									子3						子1					子1	子1			子1					18%		
	3F	2302	介護実習室							子3																					4%			
		2301	入浴実習室																												0%			
ピエタス館	1F	3105	子ども教育演習室					子2			子4		子3					子4	子3					子3	子3	子3	子3	子3			36%			
			ピアノ練習室1~4																												0%			
	2F	3207	小児保健実習室					子3	子3	子4						子2	子2			子2	子2	子3									29%			
			ピアノ練習室5~10																												0%			
	3F	3302	音楽室			子2	子2										子3	子3													14%			
	3301	セミナー室							子4		子3							子4	子3											14%				

滋賀県の年齢別人口（0歳～19歳）

2007.1.1現在

年齢	総数（人）	指数
0～ 4歳	68,907	
0歳	13,143	82
1歳	13,634	85
2歳	13,657	85
3歳	14,065	87
4歳	14,408	89
5～ 9歳	72,628	
5歳	14,430	90
6歳	14,627	91
7歳	14,659	91
8歳	14,529	90
9歳	14,383	89
10～ 14歳	71,250	
10歳	14,238	88
11歳	14,318	89
12歳	14,320	89
13歳	14,065	87
14歳	14,309	89
15～ 19歳	77,597	
15歳	14,457	90
16歳	14,860	92
17歳	15,208	94
18歳	16,116	100
19歳	16,956	105

※指数は18歳人口を100としている
出所）住民基本台帳

出生率データ

1. 合計特殊出生率

滋賀県 1.41 全国平均 1.32 全国15位

2. 普通出生率（1,000人当たりの出生数）

滋賀県 9.9‰（パーミル） 全国平均 8.7‰ 全国2位

■分析のポイント

☆2007年の県内の1歳ごとの年齢別人口（0～19歳）を見てみると、19歳16,956人から0歳13,143人まで確実に減少している。18歳人口を100とすると、0歳指数は82となっている。

☆出生率は合計特殊出生率で滋賀県1.41で、全国平均より0.09ポイント高く、全国15位の上位にある。県西部のベッドタウン化による社会増もあり、1,000人当たりの出生数9.9人にみる普通出生率【‰（パーミル）】では、全国2位のトップクラスにある。

☆滋賀県の18歳人口の推移、少子化のトレンドは、全国に比べて、ゆるやかなものとなっている。

滋賀県内の高等学校(全日制・定時制)卒業者の進学状況

	卒業者 (人)	大学等進学者 (人)	進 学 率 (%)		
			県	全国平均	備 考
平成15年度	14,411	7,176	49.8	44.6	(全国10位)
平成16年度	13,820	6,905	50.0	45.3	
平成17年度	13,553	7,055	52.1	47.3	
平成18年度	13,225	7,084	53.6	49.3	
平成19年度	13,211	7,333	55.5	51.2	
		内, 大学学部 5,293	44.8		

※新卒者

※大学・短大の通信教育部を含む

出所) 文部科学省データより作成。

**滋賀県内高等学校卒業生の進学先都道府県
および県内大学への流入状況(平成19年度)**

	県内大学への進学者	卒業生	歩留まり率
滋 賀	1,270人	6,811人	18.6%(全国34位)

(人)

	流出	流入
京 都	2,379	1,491
大 阪	1,494	1,233
兵 庫	305	553
愛 知	256	480
岐 阜	134	194
奈 良	104	266
石 川	91	86
福 井	59	126
三 重	44	175
和歌山	14	83
岡 山	45	117
広 島	40	170
福 岡	35	146
東 京	167	27
小 計	5,167	5,147
その他	374	1,376
全国合計	5,541	6,523

出所)文部科学省『学校基本調査 平成19年度(速報)』より作成。

■分析のポイント

- ☆平成19年度の大学進学状況を見ると、滋賀県内の高校卒業生6,811人の内、県内大学への進学者は1,270人であり、歩留まり率18.6%は全国34位の低い状況にある。
- ☆県外への流出5,541人、流入6,523人であり、全体としては、約1,000人の流入超過となっている。流出入の多い14都府県を見ると、流出超過は京都、大阪、石川、東京であり、他の兵庫、愛知、岐阜、奈良、福井、三重、和歌山、岡山、広島、福岡は大幅な流入超過となっている。
- ☆滋賀県内における大学の新增設は、県内残留率の向上に資するとともに、他県からの流入拡大の可能性も高いものといえる。

「子ども」「教育福祉」を冠する四年制大学の設置状況

年度	大学名	学部名	学科名	備考	定員(19年度)	
<子ども>						
平成14	鎌倉女子大学	児童学部	子ども心理学科		50	
	金城学院大学	人間科学部	現代子ども学科		(5)90	
	鹿児島純心女子大学	国際人間学部	こども学科		(5)45	
平成15	東大阪大学	こども学部	こども学科		(20)80	
平成16	東京成徳大学	子ども学部	子ども学科		90	
	東京純心女子大学	現代文化学部	こども文化学科		60	
	同志社女子大学	現代社会学部	現代こども学科		100	
	神戸海星女子学院大学	文学部	心理こども学科		70	
	活水女子大学	健康生活学部	子ども学科		50	
	平成17	白梅学園大学	子ども学部	子ども学科		(10)120
	浜松大学	健康プロデュース学部	こども健康学科		(20)60	
	名古屋学芸大学	ヒューマンケア学部	子どもケア学科		80	
	四国学院大学	社会福祉学部	子ども福祉学科		40	
	梅光学院大学	子ども学部	子ども未来学科		80	
平成18	札幌学院大学	人文学部	こども発達学科		50	
	東北福祉大学	子ども科学部	子ども教育学科		150	
	田園調布学園大学	人間福祉学部	子ども家庭福祉学科		100	
	(中部学院大学	人間福祉学部	子ども福祉学科)	→19年度(子ども学部)	—	
	(東海女子大学	人間関係学部	子ども学科)	→19年度(東海学院大学)	—	
	相愛大学	人間発達学部	子ども発達学科		100	
	甲南女子大学	人間科学部	総合子ども学科		120	
	姫路獨協大学	医療保健学部	こども保健学科		(20)50	
	中国学園大学	子ども学部	子ども学科		70	
	吉備国際大学	社会福祉学部	子ども福祉学科		70	
	高松大学	発達科学部	子ども発達学科		80	
	熊本学園大学	社会福祉学部第一部	子ども家庭福祉学科		80	
	平成19	浦和大学	こども学部	こども学科		100
		東京未来大学	こども心理学部	こども心理学科		200
目白大学		人間学部	子ども学科		(10)140	
金沢星陵		人間科学部	こども学科		40	
中部学院大学		子ども学部	子ども学科		80	
東海学院大学		人間関係学部	子ども学科		80	
浜松学院大学		現代コミュニケーション学部	子どもコミュニケーション学科		50	
名古屋芸術大学		人間発達学部	子ども発達学科		140	
愛知東邦大学		人間学部	子ども発達学科		50	
椋山女学園大学		教育学部	子ども発達学科		147	
京都造形芸術大学		芸術学部	こども芸術学科		30	
山口学芸大学		教育学部	子ども教育学科		50	
松山東雲女子大学		人文科学部	心理子ども学科		50	
沖縄大学		人文学部	こども文化学科		50	
平成20		相模女子大学	学芸学部	子ども教育学科		100
		帝京科学大学	こども学部	こども学科		(5)50
		聖隷クリスティー大学	社会福祉学部	こども教育福祉学科		40
	日本福祉大学	こども発達学部	子ども発達学科		150	
	近大姫路大学	教育学部	こども未来学科		(10)80	
	くらしき作陽大学	子ども教育学部	子ども教育学科		80	
	福山平成大学	福祉健康学部	こども学科		50	
	<教育福祉>					
平成11	大分大学	教育福祉科学部		人間福祉科学課程	95	
平成16	大阪大谷大学	教育福祉学部	教育福祉学科		240	
平成18	(関西国際大学	人間学部	教育福祉学科)	→19年度(教育学部)		
平成19	関西国際大学	教育学部	教育福祉学科		100	
平成20	聖隷クリスティー大学	社会福祉学部	こども教育福祉学科		40	

()書は編入

出所)『平成19年度 大学一覧』および文部科学省の設置認可届出データより作成。

「子ども」「教育」「社会福祉」系学部別の志願・入学状況(昼間部)

学部	学部数	入学志願者	入学者	倍率	設置者	内訳				
						国	公	私	私	
1	こども学部	2	644	255	2.53	私				
2	子ども学部	5	1,336	357	3.74	私				
3	子ども心理学部	1	132	114	1.16	私				
4	子ども科学部	1	1,116	195	5.72	私				
	小計	9	3,228	921	3.50					
5	教育福祉学部	1	1,330	316	4.21	私				
6	教育福祉科学部	1	1,516	275	5.51	私				
	小計	2	2,846	591	4.82					
7	児童学部	1	625	336	1.86	国				
8	保育学部	2	1,243	218	5.70	私				
9	児童保育学部	1	543	98	5.54	私				
10	発達教育学部	2	4,761	645	7.38	私				
11	人間発達学部	2	429	194	2.21	私				
12	人間発達(科)学部	2	2,241	571	3.92	国私	628	182		1,613 389
13	発達科学部	2	1,305	330	3.95	国私	1,219	292		86 38
14	教育人間科学部	3	5,094	1,112	4.58	国				
15	教育学部	54	98,749	18,045	5.47	国私	52,970	13,660		45,779 4,385
16	学校教育学部	3	2,166	458	4.73	国				
17	次世代教育学部	1	259	177	1.46	私				
18	臨床教育学部	1	132	87	1.52	私				
19	文教育学部	1	1,077	236	4.56	国				
20	文化教育学部	1	999	261	3.83	国				
21	学芸学部	5	17,303	3,198	5.41	私				
	小計	81	136,926	25,966	5.27					
22	社会福祉学部	29	19,519	6,168	3.16	公私		1,075 232		18,444 5,936
23	現代福祉学部	1	2,356	281	8.38	私				
24	人間福祉学部	6	1,998	977	2.05	公私		296 90		1,702 887
25	福祉社会学部	2	963	425	2.27	公私		290 73		673 352
26	コミュニティ福祉学部	1	4,447	313	14.21	私				
27	人間社会福祉学部	1	426	347	1.23	私				
28	福祉学部	1	125	84	1.49	私				
29	総合福祉学部	4	5,194	1,923	2.70	私				
30	福祉総合学部	1	337	217	1.55	私				
31	生活福祉学部	1	174	71	2.45	私				
32	ソーシャルワーク学部	1	93	88	1.06	私				
	小計	48	35,632	10,894	3.27					
	(再)教員養成学部		(52,816)	(11,549)	(4.57)	—				(13,725) (1,171)
	計	280	321,632	65,850	4.88		54,817 14,134	1,661 395		68,297 11,987

(全学部(昼間部)の総計)

国	411,378	100,521	4.09
公	133,587	26,295	5.08
私	2,996,615	475,193	6.31
総計	3,541,580	602,009	5.88

出所)文部科学省『平成19年度学校基本調査(速報)』および文教協会『平成19年度全国大学一覽』より作成。

■分析のポイント

- ☆全体では、280学部あり、志願者平均倍率4.88。全学部総計の平均倍率5.88を下回っている。
- ☆4系列では、教育系5.27、教育福祉系4.82、子ども系3.50、社会福祉系3.27の倍率の順。

資料-20

教育学部(含学芸学部)の志願者数の推移								
		志願者数(人)						2007年度指数 (98年度=100)
		全体						
		1998年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	
教育学部	私立	46,171	61,705	70,116	74,295	76,524	82,437	178.5
	全体	143,109	147,805	152,782	148,851	150,459	144,035	100.6
※2007年度の学部数は私立(44学部)、全体(95学部)である。								
出所)リクルート『2007年度入試実態調査(大学・短期大学)』より作成。								
■分析のポイント								
☆教育学部(含学芸学部)の私立44学部、国立51学部、計95学部の志願者数の伸びは、1998年度と比べ、2007年度では、全体100.6に対して、私立178.5と私立が大きく増加している。								

資料-21

教育学部(含学芸学部)の志願状況									
		2007年度 募集人員 (人)	2007年度 志願者数 (人)	増減状況				志願倍率	
				2006~2007年度		2005~2006年度		2007年度 (倍)	2006年度 (倍)
				増減数 (人)	増減率 (%)	増減数 (人)	増減率 (%)		
教育学部	私立	10,543	82,437	6,107	8.0	2,229	3.0	7.8	9.1
	国公立	14,491	61,598	▲1,2337	▲16.7	▲621	▲0.8	4.3	4.7
※2007年度の学部数は私立(44学部)、国公立(51学部)である。									
※志願者数は'07年度の回答大学(非公表除く)の集計であるが、増減状況(増減数、増減率)については'06年度と'07年度、'05年度と'06年度の調査対象校をそろえて集計している。									
出所)リクルート『2007年度入試実態調査(大学・短期大学)』より作成。									
■分析のポイント									
☆私立44学部の志願者は対前年度比で2006年度3.0%、07年度8.0%と増加している。									
国公立51学部は、同△0.8%、△16.7%の減少となっている。									
☆志願倍率は、私立は2006年度9.1倍、07年度7.8倍、国公立は同4.7倍、4.3倍と減じている。									
私立は、国公立に比べて1.9~1.8倍の志願倍率となっている。									

子ども・保育系学部(学科)の一般入試志願者数の推移

近畿+近隣実績地域

(人)

大学/所在地	学部	学科-専攻/コース	19年定員	19年	18年	17年	16年	15年	14年
金沢星稜大学 (石川)	人間科	こども	35	54					
中部学院大学 (岐阜)	人間福祉	子ども福祉	—	—	74				
	子ども	子ども	40	76					
東海学院大学 (岐阜)	人間関係	子ども	—	—	—				
愛知東邦大学 (愛知)	人間	子ども発達	25	74					
桜花学園大学 (愛知)	保育	保育	80	857	1,025	1,178	—	667	—
金城学院大学 (愛知)	人間科	現代子ども	57	440	508	341	473	536	702
椋山女学園大学 (愛知)	教育	子ども発達	72	844					
中京女子大学 (愛知)	人文	児童	29	152	264	324	362	385	286
名古屋経済大学 (愛知)	人間生活科	幼児保育	50	95	173	148			
名古屋芸術大学 (愛知)	人間発達	子ども発達	70	199					
名古屋女子大学 (愛知)	文	児童教育	104	820	912	749	983	1,236	1,065
同志社女子大学 (京都)	現代社会	現代こども	63	1,392	1,369	1,271	1,358		
大阪総合保育大学 (大阪)	児童保育	児童保育	55	316	381				
千里金蘭大学 (大阪)	生活科	児童	35	30					
相愛大学 (大阪)	人間発達	子ども発達	56	114	67				
梅花女子大学 (大阪)	文	児童文	—	—	—	—	—	72	83
	文化表現	児童文	35	13	25	48	53		
東大阪大学 (大阪)	こども	こども	40	43	72	125	120	172	
芦屋大学 (兵庫)	教育	児童教育	—	—	80	113	93	72	76
	臨床教育	児童教育	30	41					
甲南女子大学 (兵庫)	人間科	総合子ども	60	354	465				
神戸海星女子学院大学 (兵庫)	文	心理こども	35	80	68	104	168		
神戸親和女子大学 (兵庫)	文	児童教育	—	—	—	—	793	723	672
	発達教育	児童教育	115	364	647	652			

小計	1,086	6,358	6,130	5,053	4,403	3,863	2,884
----	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

19年度倍率	5.9倍	19年度指数(14年度=100)	220.5
--------	------	------------------	-------

その他地域

(人)

大学/所在地	学部	学科-専攻/コース	19年定員	19年	18年	17年	16年	15年	14年
札幌学院大学 (北海道)	人文	こども発達	28	193	163				
東北女子大学 (青森)	家政	児童	60	—	52	78	74	81	76
東北福祉大学 (宮城)	子ども科	子ども教育	76	773	587				
宮城学院女子大学 (宮城)	学芸	児童教育	40	296					
茨城キリスト教大学 (茨城)	文	児童教育	70	285	400	495	199	200	171
東京福祉大学 (群馬)	社会福祉	社会福祉-保育児童福祉	—	—	—	—	112		
		保育児童	32	174	283	248			
浦和大学 (埼玉)	こども	こども	50	—					
十文字学園女子大学 (埼玉)	人間生活	幼児教育	—	—	429	486	573	487	324
		児童幼児教育	80	431					
川村学園女子大学 (千葉)	教育	幼児教育	50	108	160	223	258	340	432
聖徳大学 (千葉)	人文	児童	180	926	1,219	1,503	1,006	—	1,016
帝京平成大学 (千葉)	現代ライフ	人間文化-保育・幼稚園	—	—	—	245			
		児童	40	318	239				
東京成徳大学 (千葉)	子ども	子ども	40	310	607	612	582		
共立女子大学 (東京)	家政	児童	60	238					
白梅学園大学 (東京)	子ども	子ども	55	770	1,096	631			
玉川大学 (東京)	教育	乳幼児発達	30	572	663	906	576	693	
東京純心女子大学 (東京)	現代文化	こども文化	30	110	122	173	169		
東京未来大学 (東京)	こども心理	こども心理	100	—					
日本女子大学 (東京)	家政	児童	80	668	886	697	825	950	891
		人間-保育心理	—	—	—	—	—	—	658
文京学院大学 (東京)	人間	人間-保育心理	—	—	—	—	—	—	658
		保育	79	483	716	1,022	589	578	

武蔵野大学 (東京)	人間関係	保育	—	—	—	1,891	1,737	1,094	
		児童	70	2,041	1,805				
目白大学 (東京)	人間	子ども	65	413					
鎌倉女子大学 (神奈川)	児童	児童	85	324	438	474	570	461	448
		子ども心理	25	219	67	176	86	154	76
		教育	40	124					
田園調布学園大学 (神奈川)	人間福祉	子ども家庭福祉	35	83	63				
富士常葉大学 (静岡)	保育	保育	35	101	—				
環太平洋大学 (岡山)	次世代教育	乳幼児教育	30	12					
吉備国際大学 (岡山)	社会福祉	子ども福祉	26	69	55				
就実大学 (岡山)	人文学科	初等教育	42	259					
中国学園大学 (岡山)	子ども	子ども	35	72	102				
ノートルダム清心女子大学 (岡山)	人間生活	児童	72	474	607	419	621	463	445
美作大学 (岡山)	生活科	児童	32	123	261	351	318	177	87
広島女学院大学 (広島)	文	幼児教育心理	49	382					
広島文教女子大学 (広島)	人間科	初等教育	50	289	480	476	556	491	460
安田女子大学 (広島)	文	児童教育	65	660	672	668	749	560	480
宇部フロンティア大学 (山口)	人間社会	児童発達	*50	*63	111	—			
梅光学院大学 (山口)	子ども	子ども未来	32	51	116	—			
山口学芸大学 (山口)	教育	子ども教育	20	80					
四国大学 (徳島)	生活科	児童	50	143	193	232	236	187	146
徳島文理大学 (徳島)	人間生活	児童	—	—					
四国学院大学 (香川)	社会福祉	子ども福祉	*40	*62	45	28			
高松大学 (香川)	発達科	子ども発達	*80	*86					
松山東雲女子大学 (愛媛)	人文学科	心理こども	54	103					
西南学院大学 (福岡)	文	児童教育	—	—	—	—	1,249	1,166	1,074
	人間科	児童教育	70	1,167	1,397	1,569			
中村学園大学 (福岡)	人間発達	人間発達	122	1,069	1,128	1,245	776	809	653
福岡女学院大学 (福岡)	人間関係	子ども発達	60	260					
長崎純心大学 (長崎)	人文	児童保育	40	212	298	269	373	185	
熊本学園大学 (熊本)	社会福祉	子ども家庭福祉	40	257	319				
九州保健福祉大学 (宮崎)	社会福祉	子ども保育福祉	23	18					
鹿児島純心女子大学 (鹿児島)	国際人間	こども	25	41	56	60	54	34	29

小計	2,642	15,912	15,835	15,177	12,288	9,110	7,466
----	-------	--------	--------	--------	--------	-------	-------

19年度倍率	6.0倍	19年度指数(14年度=100)	213.1
--------	------	------------------	-------

※*は推薦データを含むことを表す。

出所) 大学通信調査より作成。

■分析のポイント

☆私立大学の子ども・保育・教育系の69学科の一般入試の志願者は、設置学科数の増加に伴い、14年から19年にかけて増大している。

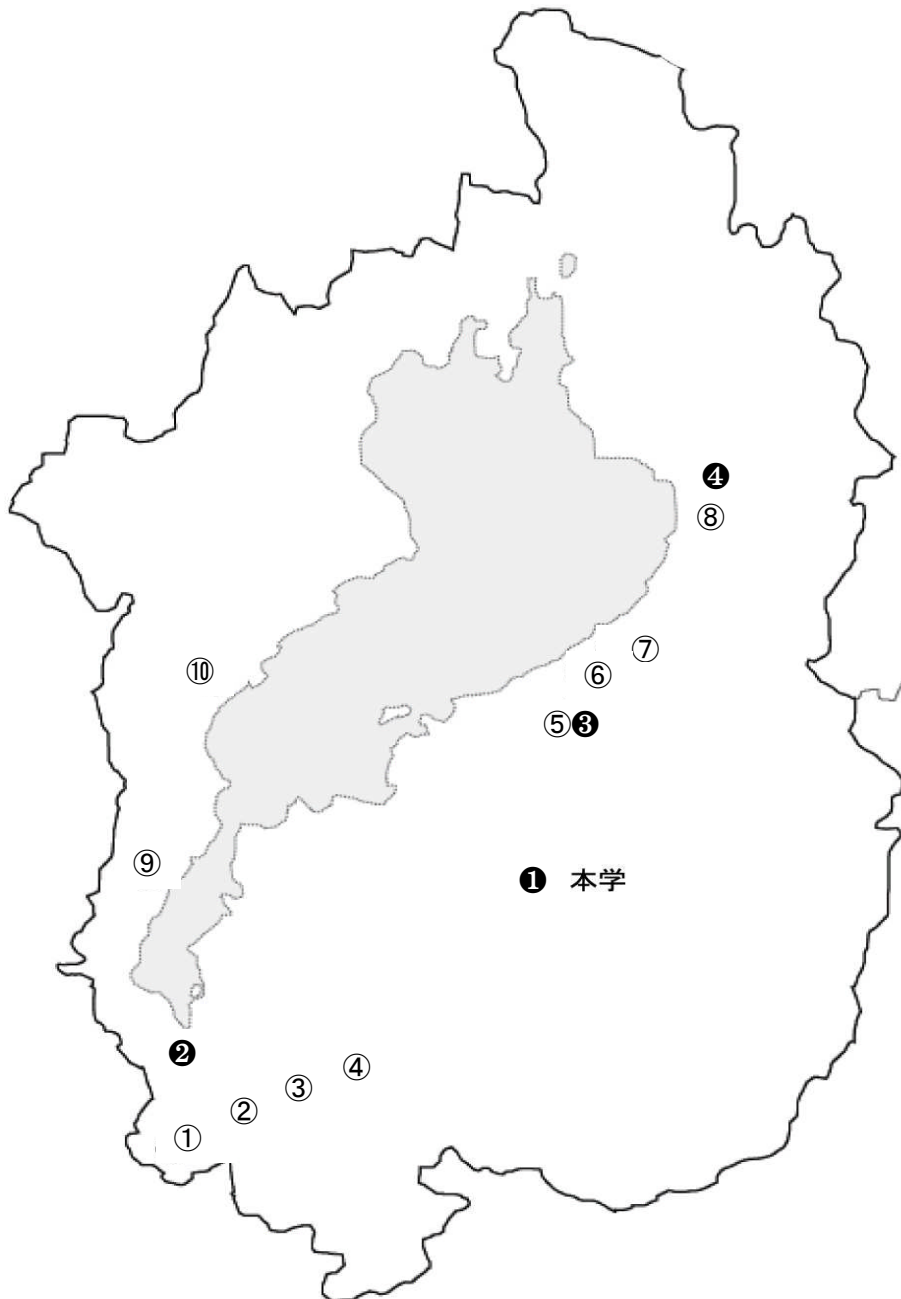
☆「近畿+近畿地域」21学科と「その他地域」48学科を分けてみると、前者は19年度指数(14年度=100) 220.5, 19年度倍率5.9倍, 後者は213.1, 6.0倍であり、同様の傾向にある。

滋賀県内の大学・短期大学と教育(幼・小・養)・保育・社会福祉系の設置状況(平成19年度)

	大学・短期大学	所在地	教員養成系	保育士養成系	社会福祉系
①	滋賀大学(大津・石山キャンパス)	大津市	○(幼・小)	○	
②	龍谷大学(瀬田学舎)	大津市			○△
③	滋賀医科大学	大津市	△(養)		
④	立命館大学(びわこ・くさつキャンパス)	草津市			
⑤	聖泉大学	彦根市			△
⑥	滋賀県立大学	彦根市	○(養)		
⑦	滋賀大学(彦根キャンパス)	彦根市			
⑧	長浜バイオ大学	長浜市			
⑨	成安造形大学	大津市			
⑩	びわこ成蹊スポーツ大学	大津市			
①	滋賀文化短期大学	東近江市	△(幼)	○	○△
②	滋賀女子短期大学	大津市	△(幼)	○	
③	聖泉大学短期大学部	彦根市			△
④	滋賀文教短期大学	長浜市	△(幼・小)	○	

注1. 教員養成系における△は2種免許状

注2. 社会福祉系における○は社会福祉士受験資格、△は社会福祉主事任用資格



		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	子ども教 育												保育実習Ⅰ (施設) 2W
	子ども福 祉												
2年次	子ども教 育			保育実習Ⅰ (園) 2W								社福現場実習Ⅱ 2W	
	子ども福 祉												
3年次	子ども教 育			教育実習 稚園) 3W (幼)			保育実習Ⅱ・Ⅲ 2W			養護実習 3W			社福現場実習Ⅱ 2W
	子ども福 祉												
4年次	子ども教 育			教育実習 学校) 3W (小)						教育実習 (高校) 2W			
	子ども福 祉												

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
子ども教育コース	幼小	1年次											
		2年次											
		3年次											
		4年次											
	小養	1年次											
		2年次											
		3年次											
		4年次											
	保幼小	1年次											
		2年次											
		3年次											
		4年次											
	保幼養	1年次											
		2年次											
		3年次											
		4年次											
子ども福祉コース	保幼	1年次											
		2年次											
		3年次											
		4年次											
	保社	1年次											
		2年次											
		3年次											
		4年次											
	保幼社	1年次											
		2年次											
		3年次											
		4年次											

保育実習
 社福現場実習
 教育実習(幼稚園)
 教育実習(小学校)
 養護実習
 看護臨床実習

資料-24

びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科 学外実習

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次												
2年次									(施)			
3年次			(保)									
4年次					(選Ⅱ) (選Ⅲ)							



教育実習（幼稚園）の受け入れ先一覧

市町村	学校名	所在地	教員数 (人)	学級数 (クラス)	園児数 (名)
東近江市	八日市幼稚園	東近江市八日市町5-4	8	4	85
	八日市野幼稚園	東近江市野村町860	4	4	55
	八日市寺幼稚園	東近江市寺町799	7	3	44
	建部幼稚園	東近江市建部日吉町5	9	4	77
	中野幼稚園	東近江市昭和町2-6	13	6	149
	市辺幼稚園	東近江市市辺町2353	5	2	56
	平田幼稚園	東近江市下羽田町84-4	7	3	67
	玉緒幼稚園	東近江市大森町1012-3	8	4	84
	沖野幼稚園	東近江市沖野三丁目7-33	10	4	108
	市原幼稚園	東近江市市原野町36	4	3	36
	永源寺幼稚園	東近江市永源寺高野町424	8	3	74
	五個荘東幼稚園	東近江市五個荘町山本町306	8	4	85
	五個荘南幼稚園	東近江市五個荘金堂町1705	11	5	109
	五個荘北幼稚園	東近江市宮荘町631	8	4	96
	愛東南幼稚園	東近江市曾根町1305	4	2	27
	愛東北幼稚園	東近江市百済寺本町1521	7	3	54
	湖東第一幼稚園	東近江市下里町35	5	2	49
	湖東第二幼稚園	東近江市南菩提寺町468	5	2	41
	湖東第三幼稚園	東近江市小田菟町200	4	2	55
	蒲生幼稚園	東近江市大塚町1149	25	10	241
	長峰幼稚園	東近江市蒲生堂町335	13	6	160
	能登川第一幼稚園	東近江市佐野町379	16	8	208
能登川第二幼稚園	東近江市乙女浜町176	17	8	202	
近江八幡市	八幡幼稚園	近江八幡市出町487	19	11	258
	島幼稚園	近江八幡市島町1580	5	3	32
	岡山幼稚園	近江八幡市加茂町1524	6	4	67
	金田幼稚園	近江八幡市金剛寺町390	23	11	306
	桐原幼稚園	近江八幡市中小森町1191	21	15	264
	馬淵幼稚園	近江八幡市馬淵町1533	7	4	60
	北里幼稚園	近江八幡市江頭町970	6	4	59
	武佐幼稚園	近江八幡市武佐町118	5	4	32
安土町	安土幼稚園	安土町下豊浦5300	12	7	172
	老蘇幼稚園	安土町東老蘇1300	6	3	55
竜王町	竜王町幼稚園	竜王町綾戸250	10	9	150
竜王町	竜王西幼稚園	竜王町山面1-1	8	6	88

市町村	学校名	所在地	教員数 (人)	学級数 (クラス)	園児数 (名)
日野町	日野幼稚園	日野町大窪331	6	6	173
	西大路幼稚園	日野町西大路47-1	2	2	19
	南比都佐幼稚園	日野町深山口431	2	2	33
	必佐幼稚園	日野町内池606	4	4	104
	桜谷幼稚園	日野町中之郷428-3	1	2	16
湖南省	石部幼稚園	湖南省宮の森一丁目1-1	14	6	123
	石部南幼稚園	湖南省丸山一丁目1-2	10	6	90
	菩提寺幼稚園	湖南省菩提寺783-3	7	2	55
甲賀市	貴生川幼稚園	甲賀市水口町三大寺437	8	6	158
	伴谷幼稚園	甲賀市水口町伴中山3743	8	5	137
	大原幼稚園	甲賀市甲賀町大久保925-1	5	3	40
	油日幼稚園	甲賀市甲賀町上野1320	4	2	23
野洲市	中主幼稚園	野洲市吉地1120-1	18	13	291
	野洲幼稚園	野洲市小篠原2142	12	9	200
	篠原幼稚園	野洲市大篠原951	4	3	30
	三上幼稚園	野洲市三上134	5	3	63
	祇王幼稚園	野洲市永原474	8	7	129
	北野幼稚園	野洲市市三宅248	10	8	164
守山市	守山幼稚園	守山市守山一丁目4-4	6	6	189
	小津幼稚園	守山市欲賀町879	3	2	37
	玉津幼稚園	守山市赤野井町39-3	4	2	30
	河西幼稚園	守山市今市町25-1	5	6	174
	速野幼稚園	守山市水保町2399-1	4	4	126
	中洲幼稚園	守山市幸津川町1406	3	2	23
	吉身幼稚園	守山市吉身三丁目2-51	5	6	163
	物部幼稚園	守山市二町町253	4	5	154
	立入が丘幼稚園	守山市立入町226-1	3	3	61
草津市	志津幼稚園	草津市青地町845	11	4	106
	山田幼稚園	草津市南山田町672-2	8	2	39
	笠縫幼稚園	草津市上笠一丁目6-1	5	3	69
	常盤幼稚園	草津市志那中町278	5	2	24
	中央幼稚園	草津市草津三丁目13-10	6	2	50
	老上幼稚園	草津市矢橋町4	7	4	87
	玉川幼稚園	草津市野路町2218	9	4	99
	笠縫東幼稚園	草津市平井三丁目8-2	8	4	107
草津市	大路幼稚園	草津市大路二丁目11-51	5	2	59
	矢倉幼稚園	草津市矢倉二丁目5-21	9	4	102

市町村	学校名	所在地	教員数 (人)	学級数 (クラス)	園児数 (名)
愛荘町	秦荘幼稚園	愛知郡愛荘町安孫子642	6	3	60
	愛知川幼稚園	愛知郡愛荘町市1736	19	8	229
豊郷町	豊郷幼稚園	豊郷町石畑545	8	5	101
甲良町	甲良東幼稚園	甲良町横関32	3	4	41
	甲良西幼稚園	甲良町呉竹53	3	3	33
多賀町	大滝幼稚園	多賀町川相568	2	4	18
	多賀幼稚園	多賀町久徳348	5	4	51
彦根市	彦根幼稚園	彦根市本町一丁目3-33	8	4	91
	高宮幼稚園	彦根市高宮町2391	10	5	108
	佐和山幼稚園	彦根市芹川町481-1	8	4	94
	平田幼稚園	彦根市平田町379-3	13	7	183
	稲枝東幼稚園	彦根市稲部町315-1	6	3	77
	旭森幼稚園	彦根市東沼波町493-2	10	5	119
	城北幼稚園	彦根市松原町3751-3	7	4	87
	金城幼稚園	彦根市大藪町2545	9	7	146
	城陽幼稚園	彦根市日夏町166	9	4	104
米原市	山東幼稚園	米原市池下91	8	7	95
	いぶきこども幼稚園	米原市春照1950	8	7	125
	醒井幼稚園	米原市枝折74	4	2	15
	米原幼稚園	米原市入江296	8	4	79
	ふたば幼稚園	米原市新庄77	13	6	146
長浜市	長浜幼稚園	長浜市朝日町5-14	10	6	134
	神照幼稚園	長浜市神照町305-2	14	6	163
	南郷里幼稚園	長浜市新栄町626	12	9	173
	神前幼稚園	長浜市宮前町13-10	10	6	117
	北郷里幼稚園	長浜市春近町196-1	7	3	65
	六荘幼稚園	長浜市勝町493	11	6	112
	神田幼稚園	長浜市加田町2727	6	3	39
	西黒田幼稚園	長浜市常喜町500-1	6	3	44
	長浜北幼稚園	長浜市三ツ矢元町19-24	10	6	141
	長浜西幼稚園	長浜市相撲町604-6	6	3	67
	神照東幼稚園	長浜市国友町574	6	3	40
	あざい幼稚園	長浜市大依町1232	28	13	332
	びわ幼稚園	長浜市八木浜町26-1	10	9	124
湖北町	速水幼稚園	湖北町速水551	6	3	61
	朝日幼稚園	湖北町山本4271	6	4	36
高月町	高月幼稚園	高月町東柳野15-1	13	6	148

市町村	学校名	所在地	教員数 (人)	学級数 (クラス)	園児数 (名)
木之本町	木之本幼稚園	木之本町木之本606-1	10	4	89
余呉町	余呉幼稚園	余呉町東野368	6	4	67
西浅井町	西浅井町幼稚園	西浅井町塩津中2066	4	3	41

実 習 評 価 票

幼稚園名		園長名		印				
学年・学籍番号		実習生名						
実習期間	平成	年	月	日	～	月	日	(実習総日数 10日間)
出勤状況	出勤数	日	欠勤数	日	遅刻	回	早退	回

※該当するところに○をして下さい (評価の基準・実習生として 5 よくできた, 4 できた, 3 ふつう, 2 努力必要, 1 かなり努力必要)

実習態度・実習意欲	1. 自分から誰とでも気持ちよくあいさつができた	5	4	3	2	1
	2. ていねいな言葉づかいや、実習にふさわしい服装、マナーができていた	5	4	3	2	1
	3. 実習時間、記録、指導案の提出など、決められた約束がきちんと守れた	5	4	3	2	1
	4. 目的意識をきちんと持って実習に取り組むことができた	5	4	3	2	1
	5. 疑問に思ったこと、わからないことは積極的に質問しようとした	5	4	3	2	1
	6. 職員から受けた注意や助言を素直に聞き、次に生かそうとした (その他、特記事項)	5	4	3	2	1
指導・援助・保育技術	7. 子どもの名前を覚え、親しみを持って関わる事ができた	5	4	3	2	1
	8. どの子どもも積極的に関わり、個々の気持ちを受け止めて関わる事ができた					
	9. 健康や安全に留意しながら子どもと関わる事ができた	5	4	3	2	1
	10. 発達段階や個人差に配慮しながら基本的な生活習慣に関わる援助ができた	5	4	3	2	1
	11. 教材研究がよくなされ、発達に応じた遊びの指導・援助が展開できた	5	4	3	2	1
	12. 指導案は子どもの姿をていねいに捉えて立案することができた	5	4	3	2	1
記録・考察等	13. 保育の準備や片付け、環境整備などに進んで取り組むことができた	5	4	3	2	1
	14. 職員との連携・協力を意識しながら保育を進めることができた (その他、特記事項)	5	4	3	2	1
	15. 適切な表現で記述できた	5	4	3	2	1
	16. 子どもの姿を事実に基づいて丁寧に捉えていた	5	4	3	2	1
	17. 教師の意図するねらいを捉え、指導・援助、環境構成について考察できた	5	4	3	2	1
	18. 実習園の教育目標や教育内容について実際との関連から理解しようとした	5	4	3	2	1
総合所見	19. 幼稚園の機能と役割について理解しようとした	5	4	3	2	1
	20. 自分の取り組みを日々振り返りながら、毎日課題を見つけて取り組もうとした (その他、特記事項)	5	4	3	2	1
総合所見		(総合評価 5 4 3 2 1)				

教育実習（小学校）の受け入れ先一覧

市町村	学校名	所在地	教員数 (人)	学級数 (クラス)	生徒数 (名)
東近江市	玉緒小学校	東近江市大森町971	19	14	285
	御園小学校	東近江市五智町239	28	19	467
	八日市南小学校	東近江市東中野町4-5	49	33	992
	八日市北小学校	東近江市建部日吉町468	21	16	419
	八日市西小学校	東近江市柏木町14	21	14	308
	布引小学校	東近江市今堀町581-10	20	14	301
	市原小学校	東近江市高木町1124	13	7	87
	甲津畑小学校	東近江市甲津畑町1200-2	7	6	29
	山上小学校	東近江市山上町200	17	12	234
	政所小学校	東近江市政所町1267	7	5	17
	五個荘小学校	東近江市五個荘竜田町567	40	28	832
	愛東南小学校	東近江市曾根町1285	12	7	159
	愛東北小学校	東近江市百済寺本町1399	12	7	156
	湖東第一小学校	東近江市下里町21	13	8	202
	湖東第二小学校	東近江市南菩提寺町430	11	7	142
	湖東第三小学校	東近江市小田苜町340	16	11	204
	蒲生東小学校	東近江市桜川東町455	18	13	278
	蒲生西小学校	東近江市鈴町1	28	19	538
	蒲生北小学校	東近江市蒲生堂町1287	23	18	435
	能登川東小学校	東近江市小川町30	23	16	431
能登川西小学校	東近江市伊庭町2885	14	9	196	
能登川南小学校	東近江市猪子町12	32	25	648	
能登川北小学校	東近江市福堂2877-1	12	7	93	
近江八幡市	八幡小学校	近江八幡市本町五丁目5	42	29	870
	島小学校	近江八幡市島町1603	13	9	128
	沖島小学校	近江八幡市沖島町360	5	3	8
	岡山小学校	近江八幡市加茂町1524	15	11	234
	金田小学校	近江八幡市金剛寺町36	42	31	859
	桐原小学校	近江八幡市池田本町638-4	27	19	475
	馬淵小学校	近江八幡市馬淵町1533	14	9	221
	北里小学校	近江八幡市江頭町1014	21	15	329
	武佐小学校	近江八幡市武佐町118	18	9	215
	桐原東小学校	近江八幡市土田町175	26	18	483
安土町	安土小学校	安土町常楽寺456	29	19	494
	老蘇小学校	安土町東老蘇1300	14	7	187

市町村	学校名	所在地	教員数 (人)	学級数 (クラス)	生徒数 (名)
竜王町	竜王小学校	竜王町綾戸275	28	19	478
	竜王西小学校	竜王町山面1-1	17	12	264
日野町	日野小学校	日野町大窪331	25	18	470
	西大路小学校	日野町西大路1631	14	7	104
	南比都佐小学校	日野町深山口431	11	7	161
	必佐小学校	日野町小御門444	24	16	360
	桜谷小学校	日野町佐久良37	11	7	161
湖南省	石部小学校	湖南省石部中央二丁目3-1	24	15	381
	石部南小学校	湖南省丸山一丁目1-1	24	15	376
	三雲小学校	湖南省夏見1857	33	22	593
	岩根小学校	湖南省岩根3791	18	14	265
	下田小学校	湖南省下田2784	24	15	383
	水戸小学校	湖南省水戸町31-1	22	14	379
	菩提寺小学校	湖南省菩提寺1583-270	23	17	446
	三雲東小学校	湖南省三雲3100	18	12	299
	菩提寺北小学校	湖南省菩提寺328	22	15	328
甲賀市	伴谷小学校	甲賀市水口町伴中山2252	27	21	597
	柏木小学校	甲賀市水口町北脇1132	15	8	188
	水口小学校	甲賀市水口町本町一丁目2-1	31	23	652
	貴生川小学校	甲賀市水口町三大寺437	30	21	521
	綾野小学校	甲賀市水口町綾野3-6	22	14	382
	伴谷東小学校	甲賀市水口町山774	23	18	454
	大野小学校	甲賀市土山町大野949	15	12	194
	土山小学校	甲賀市土山町北土山1462	16	10	211
	山内小学校	甲賀市土山町黒川1536	9	7	44
	鮎河小学校	甲賀市土山町鮎河1201	9	6	29
	大原小学校	甲賀市甲賀町大久保1000	21	15	298
	油日小学校	甲賀市甲賀町上野1322	18	12	257
	佐山小学校	甲賀市甲賀町小佐治2922	13	8	117
	甲南第一小学校	甲賀市甲南町深川1728-1	23	15	372
	甲南第二小学校	甲賀市甲南町杉谷2046	12	7	149
	甲南第三小学校	甲賀市甲南町野川840	9	7	52
	甲南中部小学校	甲賀市甲南町竜法師1137	13	7	159
	希望ヶ丘小学校	甲賀市甲南町希望ヶ丘三丁目34	30	20	511
	雲井小学校	甲賀市信楽町牧868	10	6	168
	小原小学校	甲賀市信楽町柞原899	11	7	113
朝宮小学校	甲賀市信楽町下朝宮268	7	6	25	

市町村	学校名	所在地	教員数 (人)	学級数 (クラス)	生徒数 (名)
甲賀市	多羅尾小学校	甲賀市信楽町多羅尾2012	5	4	10
	信楽小学校	甲賀市信楽町江田969	22	15	381
野洲市	中主小学校	野洲市西河原712	38	26	742
	篠原小学校	野洲市大篠原1414	14	8	194
	祇王小学校	野洲市上屋1169	29	21	541
	三上小学校	野洲市三上111	15	9	218
	野洲小学校	野洲市小篠原1147	40	29	803
	北野小学校	野洲市市三宅240	34	22	523
守山市	守山小学校	守山市勝部一丁目13-1	37	29	765
	小津小学校	守山市欲賀町853	17	11	232
	玉津小学校	守山市赤野井町9-1	19	15	248
	河西小学校	守山市小島町1843	44	34	897
	速野小学校	守山市木浜町112	37	28	800
	中洲小学校	守山市幸津川町1406	13	7	146
	吉身小学校	守山市吉身三丁目2-26	35	25	700
	物部小学校	守山市二町町252	40	30	798
	立入が丘小学校	守山市立入町222	20	14	353
草津市	志津小学校	草津市青地町827	35	25	740
	草津小学校	草津市草津三丁目14-5	37	23	631
	老上小学校	草津市野路町517	34	24	688
	山田小学校	草津市北山田町350	29	17	452
	笠縫小学校	草津市上笠一丁目6-2	28	20	516
	常盤小学校	草津市志那中町119	22	14	320
	草津第二小学校	草津市大路二丁目7-62	36	25	740
	玉川小学校	草津市野路町2218	32	20	540
	矢倉小学校	草津市矢倉二丁目5-50	31	22	608
	笠縫東小学校	草津市平井三丁目8-1	30	21	608
	志津南小学校	草津市若草二丁目16-2	15	9	213
	南笠東小学校	草津市南笠東四丁目4-1	30	19	500
	渋川小学校	草津市西渋川二丁目8-55	30	20	576
	愛荘町	秦荘東小学校	愛荘町東出25	19	14
秦荘西小学校		愛荘町島川1162	15	8	170
愛知川小学校		愛荘町沓掛480	25	18	497
愛知川東小学校		愛荘町豊満573	21	16	371
豊郷町	豊郷小学校	豊郷町石畑518	18	10	228
	日栄小学校	豊郷町吉田1454	16	9	156
甲良町	甲良東小学校	甲良町横関215	25	13	284

市町村	学校名	所在地	教員数 (人)	学級数 (クラス)	生徒数 (名)
甲良町	甲良西小学校	甲良町在士625	15	9	198
多賀町	多賀小学校	多賀町多賀738	23	14	329
	大滝小学校	多賀町川相568	11	7	110
彦根市	城東小学校	彦根市京町二丁目2-19	23	15	426
	城西小学校	彦根市本町三丁目3-22	19	14	279
	城南小学校	彦根市西今町380	36	26	720
	城北小学校	彦根市松原町3751-3	15	10	227
	佐和山小学校	彦根市安清町11-32	30	21	548
	旭森小学校	彦根市東沼波町300	36	28	799
	金城小学校	彦根市大藪町391	37	28	806
	鳥居本小学校	彦根市鳥居本町1550-1	11	7	142
	河瀬小学校	彦根市極楽寺町118	26	18	470
	高宮小学校	彦根市高宮町2447	21	15	392
	亀山小学校	彦根市賀田山町8	13	7	166
	城陽小学校	彦根市甘呂町430	20	14	304
	稲枝東小学校	彦根市稲部町308	30	19	465
	稲枝西小学校	彦根市本庄町3583	13	7	176
	稲枝北小学校	彦根市下岡部町597	10	6	149
	平田小学校	彦根市平田町267	23	15	423
若葉小学校	彦根市蓮台寺町180	25	17	391	
米原市	柏原小学校	米原市柏原2320	14	9	197
	山東東小学校	米原市長岡645	11	7	84
	山東西小学校	米原市大鹿546	12	8	143
	大原小学校	米原市市場424	25	19	462
	東草野小学校	米原市吉槻656	7	3	14
	伊吹小学校	米原市上野991	11	7	105
	春照小学校	米原市杉沢817	16	11	242
	息郷小学校	米原市三吉190	12	6	115
	醒井小学校	米原市枝折77	13	7	128
	米原小学校	米原市入江307	27	18	436
	坂田小学校	米原市宇賀野508	25	18	452
	息長小学校	米原市能登瀬1339	23	14	268
長浜市	長浜小学校	長浜市高田町9-9	48	36	1,033
	長浜北小学校	長浜市八幡中山町1310	42	31	868
	神照小学校	長浜市神照町311	33	25	733
	南郷里小学校	長浜市南田附町352	32	21	624
	北郷里小学校	長浜市春近町353	22	14	279

市町村	学校名	所在地	教員数 (人)	学級数 (クラス)	生徒数 (名)
長浜市	長浜南小学校	長浜市加田町1460	27	19	480
	上草野小学校	長浜市野瀬町730	11	7	88
	湯田小学校	長浜市内保町1051	25	16	451
	下草野小学校	長浜市当目町54	15	11	237
	七尾小学校	長浜市佐野町22	11	7	100
	田根小学校	長浜市野田町68	13	8	96
	びわ南小学校	長浜市川道町3456	22	14	322
	びわ北小学校	長浜市益田町56	12	8	112
湖北町	小谷小学校	湖北町丁野524	13	8	120
	速水小学校	湖北町速水2561-1	14	9	212
	朝日小学校	湖北町山本1125	14	8	173
高月町	富永小学校	高月町井口160	12	8	120
	高月小学校	高月町高月738	19	14	320
	古保利小学校	高月町西柳野38	12	7	106
	七郷小学校	高月町唐川248	10	6	86
木之本町	杉野小学校	木之本町杉野489	8	5	27
	高時小学校	木之本町古橋309	12	7	65
	木之本小学校	木之本町木之本685-1	26	14	314
	伊香具小学校	木之本町大音1114	12	7	65
余呉町	余呉小学校	余呉町中之郷777	15	10	223
西浅井町	塩津小学校	西浅井町塩津中41	12	8	124
	永原小学校	西浅井町大浦167	11	7	172

東近江市	八日市幼稚園	527-0029	東近江市八日市町5-4
	八日市野幼稚園	527-0047	東近江市野村町860
	八日市寺幼稚園	527-0052	東近江市寺町799
	建部幼稚園	527-0006	東近江市建部日吉町5
	中野幼稚園	527-0017	東近江市昭和町2-6
	市辺幼稚園	527-0074	東近江市市辺町2353
	平田幼稚園	527-0085	東近江市下羽田町84-4
	玉緒幼稚園	527-0063	東近江市大森町1012-3
	沖野幼稚園	527-0034	東近江市沖野三丁目7-33
	市原幼稚園	527-0224	東近江市市原野町36
	永源寺幼稚園	527-0212	東近江市永源寺高野町424
	五個荘東幼稚園	529-1431	東近江市五個荘町山本町306
	五個荘南幼稚園	529-1405	東近江市五個荘金堂町1705
	五個荘北幼稚園	529-1404	東近江市宮荘町631
	愛東南幼稚園	527-0163	東近江市曾根町1305
	愛東北幼稚園	527-0143	東近江市百濟寺本町1521
	湖東第一幼稚園	527-0115	東近江市下里町35
	湖東第二幼稚園	527-0136	東近江市南菩提寺町468
	湖東第三幼稚園	527-0125	東近江市小田苅町200
	蒲生幼稚園	529-1512	東近江市大塚町1149
	長峰幼稚園	529-1541	東近江市蒲生堂町335
	能登川第一幼稚園	521-1222	東近江市佐野町379
	能登川第二幼稚園	521-1241	東近江市乙女浜町176
近江八幡市	八幡幼稚園	523-0892	近江八幡市出町487
	島幼稚園	523-0804	近江八幡市島町1580
	岡山幼稚園	523-0058	近江八幡市加茂町1524
	金田幼稚園	523-0001	近江八幡市金剛寺町390
	桐原幼稚園	523-0041	近江八幡市中小森町1191
	馬淵幼稚園	523-0022	近江八幡市馬淵町1533
	北里幼稚園	523-0061	近江八幡市江頭町970
	武佐幼稚園	523-0012	近江八幡市武佐町118
安土町	安土幼稚園	521-1311	安土町下豊浦5300
	老蘇幼稚園	521-1332	安土町東老蘇1300
竜王町	竜王町幼稚園	520-2524	竜王町綾戸250
	竜王西幼稚園	520-2564	竜王町山面1-1
日野町	日野幼稚園	529-1603	日野町大窪331
	西大路幼稚園	529-1628	日野町西大路47-1
	南比都佐幼稚園	529-1634	日野町深山口431
	必佐幼稚園	529-1644	日野町内池606
	桜谷幼稚園	529-1617	日野町中之郷428-3
湖南市	石部幼稚園	520-3102	湖南市宮の森一丁目1-1
	石部南幼稚園	520-3112	湖南市丸山一丁目1-2
	菩提寺幼稚園	520-3242	湖南市菩提寺783-3
甲賀市	貴生川幼稚園	528-0046	甲賀市水口町三大寺437
	伴谷幼稚園	528-0064	甲賀市水口町伴中山3743
	大原幼稚園	520-3414	甲賀市甲賀町大久保925-1
	油日幼稚園	520-3421	甲賀市甲賀町上野1320
野洲市	中主幼稚園	520-2413	野洲市吉地1120-1
	野洲幼稚園	520-2331	野洲市小篠原2142
	篠原幼稚園	520-2313	野洲市大篠原951
	三上幼稚園	520-2323	野洲市三上134
	祇王幼稚園	520-2304	野洲市永原474
	北野幼稚園	520-2362	野洲市市三宅248
守山市	守山幼稚園	524-0022	守山市守山一丁目4-4
	小津幼稚園	524-0063	守山市欲賀町879
	玉津幼稚園	524-0061	守山市赤野井町39-3

	河西幼稚園	524-0011	守山市今市町25-1	
	速野幼稚園	524-0102	守山市水保町2399-1	
	中洲幼稚園	524-0215	守山市幸津川町1406	
	吉身幼稚園	524-0021	守山市吉身三丁目2-51	
	物部幼稚園	524-0043	守山市二町町253	
	立入が丘幼稚園	524-0031	守山市立入町226-1	
草津市	志津幼稚園	525-0041	草津市青地町845	
	山田幼稚園	525-0063	草津市南山田町672-2	
	笠縫幼稚園	525-0028	草津市上笠一丁目6-1	
	常盤幼稚園	525-0006	草津市志那中町278	
	中央幼稚園	525-0034	草津市草津三丁目13-10	
	老上幼稚園	525-0066	草津市矢橋町4	
	玉川幼稚園	525-0055	草津市野路町2218	
	笠縫東幼稚園	525-0023	草津市平井三丁目8-2	
	大路幼稚園	525-0032	草津市大路二丁目11-51	
	矢倉幼稚園	525-0053	草津市矢倉二丁目5-21	
	栗東市	治田東幼稚園	520-3015	栗東市安養寺六丁目7-29
		大宝幼稚園	520-3031	栗東市糺八丁目16-9
治田幼稚園		520-3013	栗東市目川871-2	
治田西幼稚園		520-3025	栗東市中沢一丁目6-3	
葉山幼稚園		520-3045	栗東市高野289	
金勝幼稚園		520-3005	栗東市御園1009-1	
葉山東幼稚園		520-3016	栗東市小野460-1	
大津市	大宝西幼稚園	520-3035	栗東市靈仙寺五丁目6-19	
	伊香立幼稚園	520-0352	大津市伊香立下在地町1310	
	真野幼稚園	520-0232	大津市真野四丁目6-27	
	堅田幼稚園	520-0242	大津市本堅田三丁目7-17	
	仰木幼稚園	520-0247	大津市仰木四丁目1-30	
	雄琴幼稚園	520-0101	大津市雄琴二丁目16-1	
	下阪本幼稚園	520-0105	大津市下阪本四丁目15-12	
	志賀幼稚園	520-0013	大津市勸学一丁目8-1	
	藤尾幼稚園	520-0066	大津市茶戸町22-6	
	長等幼稚園	520-0034	大津市三井寺町10-30	
	逢坂幼稚園	520-0053	大津市音羽台6-2	
	大津幼稚園	520-0042	大津市島の関1-50	
	平野幼稚園	520-0802	大津市馬場一丁目5-28	
	膳所幼稚園	520-0837	大津市中庄二丁目6-5	
	晴嵐幼稚園	520-0854	大津市鳥居川町15-22	
	石山幼稚園	520-0861	大津市石山寺三丁目17-8	
	大石幼稚園	520-2263	大津市大石中一丁目5-9	
	田上幼稚園	520-2277	大津市関津六丁目19-8	
	上田上幼稚園	520-2113	大津市平野一丁目18-20	
	瀬田南幼稚園	520-2131	大津市三大寺1-3	
	瀬田幼稚園	520-2141	大津市大江四丁目3-6	
	富士見幼稚園	520-0846	大津市富士見台45-5	
	坂本幼稚園	520-0113	大津市坂本六丁目1-12	
	唐崎幼稚園	520-0002	大津市際川三丁目38-2	
	南郷幼稚園	520-0865	大津市南郷三丁目15-1	
	瀬田東幼稚園	520-2153	大津市一里山二丁目20-1	
	比叡平幼稚園	520-0016	大津市比叡平一丁目45-3	
	日吉台幼稚園	520-0112	大津市日吉台三丁目33-2	
	瀬田北幼稚園	520-2145	大津市大將軍一丁目14-1	
	志賀北幼稚園	520-0513	大津市荒川880	
	志賀南幼稚園	520-0524	大津市和邇今宿482-1	
	真野北幼稚園	520-0221	大津市緑町16-2	
	仰木の里幼稚園	520-0246	大津市仰木の里三丁目10-1	

	青山幼稚園	520-2101	大津市青山三丁目16-2
	仰木の里東幼稚園	520-0248	大津市仰木の里東六丁目4-1
愛荘町	秦荘幼稚園	529-1234	秦荘町安孫子642
	愛知川幼稚園	529-1313	愛知川町市1736
豊郷町	豊郷幼稚園	529-1169	豊郷町石畑545
甲良町	甲良東幼稚園	522-0262	甲良町横関32
	甲良西幼稚園	522-0241	甲良町呉竹53
多賀町	大滝幼稚園	522-0324	多賀町川相568
	多賀幼稚園	522-0352	多賀町久徳348
彦根市	彦根幼稚園	522-0064	彦根市本町一丁目3-33
	高宮幼稚園	522-0201	彦根市高宮町2391
	佐和山幼稚園	522-0033	彦根市芹川町481-1
	平田幼稚園	522-0041	彦根市平田町379-3
	稲枝東幼稚園	521-1113	彦根市稲部町315-1
	旭森幼稚園	522-0027	彦根市東沼波町493-2
	城北幼稚園	522-0002	彦根市松原町3751-3
	金城幼稚園	522-0053	彦根市大藪町2545
	城陽幼稚園	522-0047	彦根市日夏町166
米原市	山東幼稚園	521-0221	米原市池下91
	いぶきこども幼稚園	521-0314	米原市春照1950
	醒井幼稚園	521-0032	米原市枝折74
	米原幼稚園	521-0003	米原市入江296
	ふたば幼稚園	521-0083	米原市新庄77
長浜市	長浜幼稚園	526-0056	長浜市朝日町5-14
	神照幼稚園	526-0015	長浜市神照町305-2
	南郷里幼稚園	526-0841	長浜市新栄町626
	神前幼稚園	526-0053	長浜市宮前町13-10
	北郷里幼稚園	526-0842	長浜市春近町196-1
	六荘幼稚園	526-0042	長浜市勝町493
	神田幼稚園	526-0828	長浜市加田町2727
	西黒田幼稚園	526-0823	長浜市常喜町500-1
	長浜北幼稚園	526-0024	長浜市三ツ矢元町19-24
	長浜西幼稚園	526-0017	長浜市相撲町604-6
	神照東幼稚園	526-0001	長浜市国友町574
	あざい幼稚園	526-0251	長浜市大依町1232
	びわ幼稚園	526-0116	長浜市八木浜町26-1
虎姫町	とらひめ幼稚園	529-0141	虎姫町五村371-1
湖北町	速水幼稚園	529-0341	湖北町速水551
	朝日幼稚園	529-0354	湖北町山本4271
高月町	高月幼稚園	529-0263	高月町東柳野15-1
木之本町	木之本幼稚園	529-0425	木之本町木之本606-1
余呉町	余呉幼稚園	529-0527	余呉町東野368
西浅井町	西浅井町幼稚園	529-0704	西浅井町塩津中2066
高島市	なのはな幼稚園	520-1511	高島市新旭町藁園2305
	さくら幼稚園	520-1531	高島市新旭町饗庭5138

滋賀県東近江市八日市町	8	4	85
滋賀県東近江市野村町	4	4	55
滋賀県東近江市寺町	7	3	44
滋賀県東近江市建部日吉町	9	4	77
滋賀県東近江市昭和町	13	6	149
滋賀県東近江市市辺町	5	2	56
滋賀県東近江市下羽田町	7	3	67
滋賀県東近江市大森町	8	4	84
滋賀県東近江市沖野	10	4	108
滋賀県東近江市市原野町	4	3	36
滋賀県東近江市永源寺高野町	8	3	74
滋賀県東近江市五個荘山本町	8	4	85
滋賀県東近江市五個荘金堂町	11	5	109
滋賀県東近江市宮荘町	8	4	96
滋賀県東近江市曾根町	4	2	27
滋賀県東近江市百済寺本町	7	3	54
滋賀県東近江市下里町	5	2	49
滋賀県東近江市南菩提寺町	5	2	41
滋賀県東近江市小田苅町	4	2	55
滋賀県東近江市大塚町	25	10	241
滋賀県東近江市蒲生堂町	13	6	160
滋賀県東近江市佐野町	16	8	208
滋賀県東近江市乙女浜町	17	8	202
滋賀県近江八幡市出町	19	11	258
滋賀県近江八幡市島町	5	3	32
滋賀県近江八幡市加茂町	6	4	67
滋賀県近江八幡市金剛寺町	23	11	306
滋賀県近江八幡市中小森町	21	15	264
滋賀県近江八幡市馬淵町	7	4	60
滋賀県近江八幡市江頭町	6	4	59
滋賀県近江八幡市武佐町	5	4	32
滋賀県蒲生郡安土町下豊浦	12	7	172
滋賀県蒲生郡安土町東老蘇	6	3	55
滋賀県蒲生郡竜王町綾戸	10	9	150
滋賀県蒲生郡竜王町山面	8	6	88
滋賀県蒲生郡日野町大窪	6	6	173
滋賀県蒲生郡日野町西大路	2	2	19
滋賀県蒲生郡日野町深山口	2	2	33
滋賀県蒲生郡日野町内池	4	4	104
滋賀県蒲生郡日野町中之郷	1	2	16
湖南市	14	6	123
滋賀県湖南市丸山	10	6	90
滋賀県湖南市菩提寺	7	2	55
滋賀県甲賀市水口町三大寺	8	6	158
滋賀県甲賀市水口町伴中山	8	5	137
滋賀県甲賀市甲賀町大久保	5	3	40
滋賀県甲賀市甲賀町上野	4	2	23
滋賀県野洲市吉地	18	13	291
滋賀県野洲市小篠原	12	9	200
滋賀県野洲市大篠原	4	3	30
滋賀県野洲市三上	5	3	63
滋賀県野洲市永原	8	7	129
滋賀県野洲市市三宅	10	8	164
滋賀県守山市	6	6	189
滋賀県守山市欲賀町	3	2	37
滋賀県守山市赤野井町	4	2	30

滋賀県守山市今市町	5	6	174
滋賀県守山市水保町	4	4	126
滋賀県守山市幸津川町	3	2	23
滋賀県守山市	5	6	163
滋賀県守山市二町町	4	5	154
滋賀県守山市立入町	3	3	61
滋賀県草津市青地町	11	4	106
滋賀県草津市南山田町	8	2	39
滋賀県草津市上笠	5	3	69
滋賀県草津市志那中町	5	2	24
滋賀県草津市草津	6	2	50
滋賀県草津市矢橋町	7	4	87
滋賀県草津市野路町	9	4	99
滋賀県草津市平井	8	4	107
滋賀県草津市大路	5	2	59
滋賀県草津市矢倉	9	4	102
滋賀県栗東市安養寺	13	6	156
滋賀県栗東市繕	24	9	256
滋賀県栗東市目川	13	6	182
滋賀県栗東市中沢	19	8	227
滋賀県栗東市高野	11	6	124
滋賀県栗東市御園	17	6	185
滋賀県栗東市小野	12	6	129
滋賀県栗東市霊仙寺	14	6	148
滋賀県大津市伊香立下在地町	3	2	15
滋賀県大津市真野	6	4	82
滋賀県大津市本堅田	8	5	130
滋賀県大津市仰木	4	2	15
滋賀県大津市雄琴	4	2	41
滋賀県大津市下阪本	8	4	135
滋賀県大津市勤学	8	4	131
滋賀県大津市茶戸町	4	2	29
滋賀県大津市三井寺町	6	4	127
滋賀県大津市音羽台	4	2	36
滋賀県大津市島の関	3	2	26
滋賀県大津市馬場	8	5	137
滋賀県大津市中庄	7	4	104
滋賀県大津市鳥居川町	7	4	113
滋賀県大津市石山寺	8	4	102
滋賀県大津市大石中	8	4	113
滋賀県大津市関津	7	4	84
滋賀県大津市平野	3	2	16
滋賀県大津市三大寺	8	5	134
滋賀県大津市大江	10	6	188
滋賀県大津市富士見台	8	4	123
滋賀県大津市坂本	5	2	56
滋賀県大津市際川	10	6	148
滋賀県大津市南郷	8	4	76
滋賀県大津市一里山	13	7	189
滋賀県大津市比叡平	3	2	21
滋賀県大津市日吉台	3	2	27
滋賀県大津市大將軍	10	6	184
滋賀県大津市荒川	12	6	155
滋賀県大津市和邇今宿	17	9	245
滋賀県大津市緑町	4	2	52
滋賀県大津市仰木の里	5	2	49

滋賀県大津市青山	10	6	166
滋賀県大津市仰木の里東	8	5	137
滋賀県愛知郡愛荘町安孫子	6	3	60
愛荘町？	19	8	229
滋賀県犬上郡豊郷町石畑	8	5	101
滋賀県犬上郡甲良町横関	3	4	41
滋賀県犬上郡甲良町呉竹	3	3	33
滋賀県犬上郡多賀町川相	2	4	18
滋賀県犬上郡多賀町久徳	5	4	51
滋賀県彦根市本町	8	4	91
滋賀県彦根市高宮町	10	5	108
滋賀県彦根市芹川町	8	4	94
滋賀県彦根市平田町	13	7	183
滋賀県彦根市稲部町	6	3	77
滋賀県彦根市東沼波町	10	5	119
滋賀県彦根市	7	4	87
滋賀県彦根市大藪町	9	7	146
滋賀県彦根市日夏町	9	4	104
滋賀県米原市池下	8	7	95
滋賀県米原市春照	8	7	125
滋賀県米原市枝折	4	2	15
滋賀県米原市入江	8	4	79
滋賀県米原市新庄	13	6	146
滋賀県長浜市朝日町	10	6	134
滋賀県長浜市神照町	14	6	163
滋賀県長浜市新栄町	12	9	173
滋賀県長浜市宮前町	10	6	117
滋賀県長浜市春近町	7	3	65
滋賀県長浜市勝町	11	6	112
滋賀県長浜市加田町	6	3	39
滋賀県長浜市常喜町	6	3	44
滋賀県長浜市三ツ矢元町	10	6	141
滋賀県長浜市相撲町	6	3	67
滋賀県長浜市国友町	6	3	40
滋賀県長浜市大依町	28	13	332
滋賀県長浜市八木浜町	10	9	124
滋賀県東浅井郡虎姫町五村	17	6	148
滋賀県東浅井郡湖北町速水	6	3	61
滋賀県東浅井郡湖北町山本	6	4	36
滋賀県伊香郡高月町東柳野	13	6	148
滋賀県伊香郡木之本町木之本	10	4	89
滋賀県伊香郡余呉町東野	6	4	67
滋賀県伊香郡西浅井町塩津中	4	3	41
滋賀県高島市新旭町藁園	7	3	55
郡と市	10	4	79

平成 年度

教育実習評価票

実習校	学 校 名				
	所 在 地				
	学 校 長 氏 名		(印)		
	教育実習担当教諭 氏 名		(印)		
	学 校 担 任 教 諭 氏 名		(印)		
	教 科 担 当 教 諭 氏 名		(印)		
実習生	大 学 名				
	学部・学科名(専攻)		()		
	年 次		回生		
	氏 名				
	教育実習教科等名				
実習期間	平成 年 月 日 (曜) ~平成 年 月 日 (曜) 日 間				
出席状況	出席すべき日数	出席した日数	欠 席 日 数	遅 刻	早 退
	日	日	病 欠 日	回	回
			事故欠 日		
			その他 日		

実 習 評 価

評 価 項 目	主 な 着 眼 点	評 価	
1. 実習態度	11. 積 極 性 ・ 熱 意	● 主体的な取組みがみられるかなど。	A. B. C. D
	12. 事 務 ・ 実 務 の 処 理	● 学校経営上の事務は効率的に行っているかなど。	A. B. C. D
	13. 指 導 を 受 け る 態 度	● 指導教諭の指示、指導を積極的に受けとめ、実践しているかなど。	A. B. C. D
2. 学習指導	21. 基 礎 学 力	● 言語が明瞭であるか ● 基礎知識を身につけているか ● 文字が正しく書けるかなど。	A. B. C. D
	22. 教 材 研 究	● 教材研究の計画性、創意工夫がなされているかなど。	A. B. C. D
	23. 指 導 技 術	● 発問等によって児童生徒の関心をひきつけているか。 ● 板書は明確に行われているかなど。	A. B. C. D
3. 生徒指導	31. 児 童 ・ 生 徒 の 理 解	● すすんで児童生徒に接して理解につとめているかなど。	A. B. C. D
	32. 教 科 外 指 導	● 学級、クラブ活動等の指導を自主的、意欲的に行っているかなど。	A. B. C. D
	33. 個 別 ・ 集 団 指 導	● 個別指導、学級・HRなどでの集団の指導は適切かなど。	A. B. C. D
総 合 所 見	上記評価項目1.～3.において、なお特記すべき事項及び評価されていない実習生の諸資質などがあれば記入すること。		
<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>			
総 合 評 価	A . B . C . D		

※備考：A（優）、B（良）、C（可）、D（不可）、評価は該当記号に○印をつけること。

教育実習（養護教諭）の受け入れ先一覧

市町村	学校名	所在地	教員数 (人)	学級数 (クラス)	生徒数 (名)
東近江市	玉緒小学校	東近江市大森町971	19	14	285
	御園小学校	東近江市五智町239	28	19	467
	八日市南小学校	東近江市東中野町4-5	49	33	992
	八日市北小学校	東近江市建部日吉町468	21	16	419
	八日市西小学校	東近江市柏木町14	21	14	308
	布引小学校	東近江市今堀町581-10	20	14	301
	市原小学校	東近江市高木町1124	13	7	87
	甲津畑小学校	東近江市甲津畑町1200-2	7	6	29
	山上小学校	東近江市山上町200	17	12	234
	政所小学校	東近江市政所町1267	7	5	17
	五個荘小学校	東近江市五個荘竜田町567	40	28	832
	愛東南小学校	東近江市曾根町1285	12	7	159
	愛東北小学校	東近江市百済寺本町1399	12	7	156
	湖東第一小学校	東近江市下里町21	13	8	202
	湖東第二小学校	東近江市南菩提寺町430	11	7	142
	湖東第三小学校	東近江市小田苺町340	16	11	204
	蒲生東小学校	東近江市桜川東町455	18	13	278
	蒲生西小学校	東近江市鈴町1	28	19	538
	蒲生北小学校	東近江市蒲生堂町1287	23	18	435
	能登川東小学校	東近江市小川町30	23	16	431
能登川西小学校	東近江市伊庭町2885	14	9	196	
能登川南小学校	東近江市猪子町12	32	25	648	
能登川北小学校	東近江市福堂2877-1	12	7	93	
近江八幡市	八幡小学校	近江八幡市本町五丁目5	42	29	870
	島小学校	近江八幡市島町1603	13	9	128
	沖島小学校	近江八幡市沖島町360	5	3	8
	岡山小学校	近江八幡市加茂町1524	15	11	234
	金田小学校	近江八幡市金剛寺町36	42	31	859
	桐原小学校	近江八幡市池田本町638-4	27	19	475
	馬淵小学校	近江八幡市馬淵町1533	14	9	221
	北里小学校	近江八幡市江頭町1014	21	15	329
	武佐小学校	近江八幡市武佐町118	18	9	215
	桐原東小学校	近江八幡市土田町175	26	18	483
安土町	安土小学校	安土町常楽寺456	29	19	494
安土町	老蘇小学校	安土町東老蘇1300	14	7	187

市町村	学校名	所在地	教員数 (人)	学級数 (クラス)	生徒数 (名)
竜王町	竜王小学校	竜王町綾戸275	28	19	478
	竜王西小学校	竜王町山面1-1	17	12	264
日野町	日野小学校	日野町大窪331	25	18	470
	西大路小学校	日野町西大路1631	14	7	104
	南比都佐小学校	日野町深山口431	11	7	161
	必佐小学校	日野町小御門444	24	16	360
	桜谷小学校	日野町佐久良37	11	7	161
湖南省	石部小学校	湖南省石部中央二丁目3-1	24	15	381
	石部南小学校	湖南省丸山一丁目1-1	24	15	376
	三雲小学校	湖南省夏見1857	33	22	593
	岩根小学校	湖南省岩根3791	18	14	265
	下田小学校	湖南省下田2784	24	15	383
	水戸小学校	湖南省水戸町31-1	22	14	379
	菩提寺小学校	湖南省菩提寺1583-270	23	17	446
	三雲東小学校	湖南省三雲3100	18	12	299
	菩提寺北小学校	湖南省菩提寺328	22	15	328
甲賀市	伴谷小学校	甲賀市水口町伴中山2252	27	21	597
	柏木小学校	甲賀市水口町北脇1132	15	8	188
	水口小学校	甲賀市水口町本町一丁目2-1	31	23	652
	貴生川小学校	甲賀市水口町三大寺437	30	21	521
	綾野小学校	甲賀市水口町綾野3-6	22	14	382
	伴谷東小学校	甲賀市水口町山774	23	18	454
	大野小学校	甲賀市土山町大野949	15	12	194
	土山小学校	甲賀市土山町北土山1462	16	10	211
	山内小学校	甲賀市土山町黒川1536	9	7	44
	鮎河小学校	甲賀市土山町鮎河1201	9	6	29
	大原小学校	甲賀市甲賀町大久保1000	21	15	298
	油日小学校	甲賀市甲賀町上野1322	18	12	257
	佐山小学校	甲賀市甲賀町小佐治2922	13	8	117
	甲南第一小学校	甲賀市甲南町深川1728-1	23	15	372
	甲南第二小学校	甲賀市甲南町杉谷2046	12	7	149
	甲南第三小学校	甲賀市甲南町野川840	9	7	52
	甲南中部小学校	甲賀市甲南町竜法師1137	13	7	159
	希望ヶ丘小学校	甲賀市甲南町希望ヶ丘三丁目34	30	20	511
	雲井小学校	甲賀市信楽町牧868	10	6	168
	甲賀市	小原小学校	甲賀市信楽町柞原899	11	7
朝宮小学校		甲賀市信楽町下朝宮268	7	6	25

市町村	学校名	所在地	教員数 (人)	学級数 (クラス)	生徒数 (名)
	多羅尾小学校	甲賀市信楽町多羅尾2012	5	4	10
	信楽小学校	甲賀市信楽町江田969	22	15	381
野洲市	中主小学校	野洲市西河原712	38	26	742
	篠原小学校	野洲市大篠原1414	14	8	194
	祇王小学校	野洲市上屋1169	29	21	541
	三上小学校	野洲市三上111	15	9	218
	野洲小学校	野洲市小篠原1147	40	29	803
	北野小学校	野洲市市三宅240	34	22	523
守山市	守山小学校	守山市勝部一丁目13-1	37	29	765
	小津小学校	守山市欲賀町853	17	11	232
	玉津小学校	守山市赤野井町9-1	19	15	248
	河西小学校	守山市小島町1843	44	34	897
	速野小学校	守山市木浜町112	37	28	800
	中洲小学校	守山市幸津川町1406	13	7	146
	吉身小学校	守山市吉身三丁目2-26	35	25	700
	物部小学校	守山市二町町252	40	30	798
	立入が丘小学校	守山市立入町222	20	14	353
草津市	志津小学校	草津市青地町827	35	25	740
	草津小学校	草津市草津三丁目14-5	37	23	631
	老上小学校	草津市野路町517	34	24	688
	山田小学校	草津市北山田町350	29	17	452
	笠縫小学校	草津市上笠一丁目6-2	28	20	516
	常盤小学校	草津市志那中町119	22	14	320
	草津第二小学校	草津市大路二丁目7-62	36	25	740
	玉川小学校	草津市野路町2218	32	20	540
	矢倉小学校	草津市矢倉二丁目5-50	31	22	608
	笠縫東小学校	草津市平井三丁目8-1	30	21	608
	志津南小学校	草津市若草二丁目16-2	15	9	213
	南笠東小学校	草津市南笠東四丁目4-1	30	19	500
	渋川小学校	草津市西渋川二丁目8-55	30	20	576
	愛荘町	秦荘東小学校	愛荘町東出25	19	14
秦荘西小学校		愛荘町島川1162	15	8	170
愛知川小学校		愛荘町沓掛480	25	18	497
愛知川東小学校		愛荘町豊満573	21	16	371
豊郷町	豊郷小学校	豊郷町石畑518	18	10	228
	日栄小学校	豊郷町吉田1454	16	9	156
甲良町	甲良東小学校	甲良町横関215	25	13	284

市町村	学校名	所在地	教員数 (人)	学級数 (クラス)	生徒数 (名)
	甲良西小学校	甲良町在士625	15	9	198
多賀町	多賀小学校	多賀町多賀738	23	14	329
	大滝小学校	多賀町川相568	11	7	110
彦根市	城東小学校	彦根市京町二丁目2-19	23	15	426
	城西小学校	彦根市本町三丁目3-22	19	14	279
	城南小学校	彦根市西今町380	36	26	720
	城北小学校	彦根市松原町3751-3	15	10	227
	佐和山小学校	彦根市安清町11-32	30	21	548
	旭森小学校	彦根市東沼波町300	36	28	799
	金城小学校	彦根市大藪町391	37	28	806
	鳥居本小学校	彦根市鳥居本町1550-1	11	7	142
	河瀬小学校	彦根市極楽寺町118	26	18	470
	高宮小学校	彦根市高宮町2447	21	15	392
	亀山小学校	彦根市賀田山町8	13	7	166
	城陽小学校	彦根市甘呂町430	20	14	304
	稲枝東小学校	彦根市稲部町308	30	19	465
	稲枝西小学校	彦根市本庄町3583	13	7	176
	稲枝北小学校	彦根市下岡部町597	10	6	149
		平田小学校	彦根市平田町267	23	15
	若葉小学校	彦根市蓮台寺町180	25	17	391
米原市	柏原小学校	米原市柏原2320	14	9	197
	山東東小学校	米原市長岡645	11	7	84
	山東西小学校	米原市大鹿546	12	8	143
	大原小学校	米原市市場424	25	19	462
	東草野小学校	米原市吉槻656	7	3	14
	伊吹小学校	米原市上野991	11	7	105
	春照小学校	米原市杉沢817	16	11	242
	息郷小学校	米原市三吉190	12	6	115
	醒井小学校	米原市枝折77	13	7	128
	米原小学校	米原市入江307	27	18	436
	坂田小学校	米原市宇賀野508	25	18	452
	息長小学校	米原市能登瀬1339	23	14	268
長浜市	長浜小学校	長浜市高田町9-9	48	36	1,033
長浜市	長浜北小学校	長浜市八幡中山町1310	42	31	868
	神照小学校	長浜市神照町311	33	25	733
	南郷里小学校	長浜市南田附町352	32	21	624
	北郷里小学校	長浜市春近町353	22	14	279

市町村	学校名	所在地	教員数 (人)	学級数 (クラス)	生徒数 (名)
	長浜南小学校	長浜市加田町1460	27	19	480
	上草野小学校	長浜市野瀬町730	11	7	88
	湯田小学校	長浜市内保町1051	25	16	451
	下草野小学校	長浜市当目町54	15	11	237
	七尾小学校	長浜市佐野町22	11	7	100
	田根小学校	長浜市野田町68	13	8	96
	びわ南小学校	長浜市川道町3456	22	14	322
	びわ北小学校	長浜市益田町56	12	8	112
湖北町	小谷小学校	湖北町丁野524	13	8	120
	速水小学校	湖北町速水2561-1	14	9	212
	朝日小学校	湖北町山本1125	14	8	173
高月町	富永小学校	高月町井口160	12	8	120
	高月小学校	高月町高月738	19	14	320
	古保利小学校	高月町西柳野38	12	7	106
	七郷小学校	高月町唐川248	10	6	86
木之本町	杉野小学校	木之本町杉野489	8	5	27
	高時小学校	木之本町古橋309	12	7	65
	木之本小学校	木之本町木之本685-1	26	14	314
	伊香具小学校	木之本町大音1114	12	7	65
余呉町	余呉小学校	余呉町中之郷777	15	10	223
西浅井町	塩津小学校	西浅井町塩津中41	12	8	124
	永原小学校	西浅井町大浦167	11	7	172

学校保健実習評価票

実習校

学 校 名	
所 在 地	
学 校 長 氏 名	(印)
実 習 担 当 者 教 諭 氏 名	(印)
	(印)
	(印)

実習生と担当教官

大 学 名 担 当 教 官			
所 在 地			
学 籍 番 号		学 生 氏 名	
実 習 期 間	平成	年	月
		日	～ 平成
			年
			月
			日

実習評価

評 価 項 目		主 な 着 眼 点	評 価
管 理	学校保健に対する理解：学校保健計画・活動について理解しているか		A・B・C・D
	保健室の運営：保健室の整備・掲示物の意味に着目できるか		A・B・C・D
教 育	健康教育に対する理解：対象の子どもを理解しようとしているか		A・B・C・D
	児童・生徒への理解：進んで児童・生徒に接し理解に勤めたか		A・B・C・D
	健康教育に対する態度：積極的に教育に取り組んだか		A・B・C・D
態 度	指導を受ける態度：積極的に指導教諭の助言を求め理解しようとしたか		A・B・C・D
	実務処理：事務を効果的に行おうとしているか		A・B・C・D
総 合 所 見	総合評価：A・B・C・D		

資料-31

看護臨床実習（養護教諭）の受け入れ先一覧

市町村	学校名	所在地
東近江市	青葉病院	東近江市青葉町1-36
	神崎中央病院	東近江市五個荘清水鼻町95
	東近江敬愛病院	東近江市八日市東本町8-16
	東近江市立蒲生病院	東近江市桜川西町340
近江八幡市	ヴォーリス記念病院	近江八幡市北之庄町492
	八幡青樹会病院	近江八幡市鷹飼町744
甲賀市	公立甲賀病院	甲賀市水口町鹿深3-39
	甲南病院	甲賀市甲南町葛木958
野洲市	びわこ学園医療福祉センター野洲	野洲市北桜978-2
守山市	守山市民病院	守山市守山四丁目14-1
	滋賀県立小児保健医療センター	守山市守山五丁目7-30
草津市	びわこ学園医療福祉センター草津	草津市笠山八丁目3-113
大津市	大津市民病院	大津市本宮二丁目9-9
	社会保険滋賀病院	大津市富士見台16-1
豊郷町	財団法人豊郷病院	犬上郡豊郷町大字八目12
彦根市	彦根中央病院	彦根市西今町421
	友仁山崎病院	彦根市竹ヶ鼻町80
長浜市	市立長浜病院	長浜市大戌亥町313
	長浜青樹会病院	長浜市寺田町257
高島市	公立高島総合病院	高島市勝野1667

資料-31

看護臨床実習（養護教諭）の受け入れ先一覧

市町村	学校名	所在地
東近江市	青葉病院	東近江市青葉町1-36
	神崎中央病院	東近江市五個荘清水鼻町95
	東近江敬愛病院	東近江市八日市東本町8-16
	東近江市立蒲生病院	東近江市桜川西町340
近江八幡市	ヴォーリス記念病院	近江八幡市北之庄町492
	八幡青樹会病院	近江八幡市鷹飼町744
甲賀市	公立甲賀病院	甲賀市水口町鹿深3-39
	甲南病院	甲賀市甲南町葛木958
野洲市	びわこ学園医療福祉センター野洲	野洲市北桜978-2
守山市	守山市民病院	守山市守山四丁目14-1
	滋賀県立小児保健医療センター	守山市守山五丁目7-30
草津市	びわこ学園医療福祉センター草津	草津市笠山八丁目3-113
大津市	大津市民病院	大津市本宮二丁目9-9
	社会保険滋賀病院	大津市富士見台16-1
豊郷町	財団法人豊郷病院	犬上郡豊郷町大字八目12
彦根市	彦根中央病院	彦根市西今町421
	友仁山崎病院	彦根市竹ヶ鼻町80
長浜市	市立長浜病院	長浜市大戌亥町313
	長浜青樹会病院	長浜市寺田町257
高島市	公立高島総合病院	高島市勝野1667

看護臨床実習評価票

びわこ学院大学

学籍番号 _____

学生氏名 _____

実習病院名 _____

看護部長・総師長名 _____ (印)

1. 看護臨床実習出席表

月/日	月 /	火 /	水 /	木 /	金 /	土 /
出席印						
月/日	月 /	火 /	水 /	木 /	金 /	土 /
出席印						

早退 _____ 回

遅刻 _____ 回

欠席 _____ 回

※ 各自押印の上、最終的に看護部長・総師長様に印鑑をいただく。

2. 実習評価

実 習 評 価		A	B	C
1	実習の目的、目標を明確にして実習に望んだ			
2	各実習で計画された内容を理解する努力（予習復習）をして臨んだ			
3	学習のポイントをつかみ重要な事項は理解できた			
4	遅刻・欠席せず実習予定を完遂した			
5	職員に対する態度やことばづかいは礼儀正しく行動した			
6	患者・家族に対する態度やことばづかいは礼儀正しく行動した			
7	必要な相談、報告、連絡を怠る事が無かった			
8	実習着や靴を始め手指、爪、髪など清潔を心掛けた			
9	今後の自己課題を見出すことができた			
概評				

保育実習Ⅰ（保育所）

NO	保育所名	所在地	学生配属人数
1	聖徳保育園	東近江市東今崎町1-15	2
2	八日市すみれ保育園	東近江市三津屋町77-1	2
3	つつじ保育園	東近江市妙法寺町607	2
4	みつくり保育園	東近江市小脇町1125	1
5	もみじ保育園	東近江市上二俣町24-1	2
6	湖東ひばり保育園	東近江市平松町829	3
7	能登川ひばり園	東近江市猪子203	1
8	こばと園	東近江市乙女浜12	1
9	めじろ園	東近江市種1596	2
10	延命保育園	東近江市八日市清水2-1-39	2
11	むつみ保育園	東近江市八日市野々宮町3-10	2
12	いちのべ保育園	東近江市市辺町3836	2
13	八日市めぐみ保育園	東近江市八日市町3-23	3
14	かすが保育園	東近江市妹町592-3	2
15	ふたば保育園	東近江市市子松井175-1	2
16	武佐保育所	近江八幡市西生来町1193	2
17	八幡保育所	近江八幡市八幡町220-2	3
18	桐原保育所	近江八幡市大森町51-1	2
19	ひむれ乳児院	近江八幡市出町461-2	3
20	北里保育所	近江八幡市江頭町412-1	3
21	あおば乳児保育所	近江八幡市馬淵町2345	3
22	あおぞら園	蒲生郡日野町村井905	2
23	さくら園	蒲生郡日野町北脇988	2
24	こばと園	蒲生郡日野町三十坪1314	2
25	水口東保育園	甲賀市水口町本町1-2601	3
26	水口西保育園	甲賀市水口町八坂2338	3
27	三上保育園	野洲市近江富士5-1-3	1
28	守山保育園	守山市勝部町1-14-27	2
29	吉身保育園	守山市吉身2-6-61	2
30	玉津保育園	守山市石田町707	2
31	浮気保育園	守山市浮気町321-2	2
32	小津保育園	守山市欲賀町848	2
33	古高保育園	守山市古高町5	2
34	治田保育園	栗東市目川871-2	1
35	大宝保育園	栗東市野尻476	2
36	治田西保育園	栗東市中沢114-2	3
37	治田東保育園	栗東市安養寺6-7-12	1
38	秦川保育園	愛荘町蚊野2560	3
39	秦川愛児園	愛荘町目加田628-2	3

40	つくし保育園	愛荘町川原702-1	3
41	彦根市立ふたば保育園	彦根市金剛寺町101	2
42	日夏保育園	彦根市日夏町2634-1	2
43	多景保育園	彦根市須越町1154-5	2
44	城南保育園	彦根市西今町285-1	2
45	旭森保育園	彦根市東沼波町498-2	2
46	東山保育園	彦根市里根町235	2
47	鳥居本保育園	彦根市鳥居本町1445	1
48	亀山保育園	彦根市賀田山町272-2	3
49	さくらんぼ保育園	長浜市西上坂町1158	2
50	大谷保育園	長浜市元浜町32-4	3
51	北保育園	長浜市神照町596	3
52	長浜カトリック保育園	長浜市南高田町47	3
53	小谷保育園	東浅井郡湖北町丁野725-1	2

合計 115

NO	保育所名	施設の種類	所在地	配属数
1	あかね寮	知的障害者更生施設	東近江市小脇町字栄2089	3
2	近江学園	知的障害児施設	湖南市東寺四丁目1-1	4
3	落穂寮	知的障害者更生施設	湖南市東寺二丁目2-2	4
4	一麦寮	知的障害者更生施設	湖南市東寺二丁目2-1	3
5	あざみ寮	知的障害者更生施設	湖南市石部が丘2-1-1	2
6	信楽学園	知的障害児施設	甲賀市信楽町神山473	3
7	信楽青年寮	知的障害者更生施設	甲賀市信楽町神山534-8	3
8	鹿深の家	児童養護施設	甲賀市甲賀町小佐治3557	6
9	びわこ学園医療 福祉センター野洲	重症心身障害児施設	野洲市北桜978-2	3
10	蛍の里	知的障害者更生施設	守山市州本町井関52	3
11	守山学園	児童養護施設	守山市笠原町西向瀬1257-1	3
12	びわこ学園医療 福祉センター草津	重症心身障害児施設	草津市笠山8-3-113	5
13	ステップ広場ガル	知的障害者更生施設	大津市石山千町清水270-3	3
14	小鳩乳児院	乳児院	大津市石山千町清水270-3	3
15	湘南学園	児童養護施設	大津市平津二丁目4-9	3
16	小鳩の家	児童養護施設	大津市錦織1-14-25	3
17	彦根学園	知的障害者更生施設	彦根市高宮町2671	4
18	さざなみ学園	情緒障害児短期治療施設	彦根市鳥居本町1586	3
19	彦根子ども家庭 相談センター	児童相談所・一時保護所	彦根市小泉町932-1	3
20	かいぜ寮	知的障害者更生施設	彦根市海瀬町久保255	2
21	第二湖北寮	知的障害者更生施設	長浜市大戌亥町415-1	3
22	杉山寮	知的障害者更生施設	高島市今津町杉山253	3
23	コーポのぞみ	母子生活支援施設	彦根市小泉町932-1	3
24	藤美寮	知的障害者更生施設	高島市マキノ町西浜1415	3
25	淡海学園	児童自立支援施設	甲賀市土山町大野283-20	3
26	中央子ども家庭 相談センター	児童相談所・一時保護所	草津市笠山7丁目4-45	5

合計 86

保育実習Ⅱ（保育所）

NO	保育所名	所在地	学生配属人数
1	聖徳保育園	東近江市東今崎町1-15	2
2	八日市すみれ保育園	東近江市三津屋町77-1	2
3	つつじ保育園	東近江市妙法寺町607	2
4	みつくり保育園	東近江市小脇町1125	1
5	もみじ保育園	東近江市上二俣町24-1	2
6	湖東ひばり保育園	東近江市平松町829	3
7	能登川ひばり園	東近江市猪子203	1
8	こばと園	東近江市乙女浜12	1
9	めじろ園	東近江市種1596	2
10	延命保育園	東近江市八日市清水2-1-39	2
11	むつみ保育園	東近江市八日市野々宮町3-10	2
12	いちのべ保育園	東近江市市辺町3836	2
13	八日市めぐみ保育園	東近江市八日市町3-23	3
14	かすが保育園	東近江市妹町592-3	2
15	ふたば保育園	東近江市市子松井175-1	2
16	武佐保育所	近江八幡市西生来町1193	2
17	八幡保育所	近江八幡市八幡町220-2	3
18	桐原保育所	近江八幡市大森町51-1	2
19	ひむれ乳児院	近江八幡市出町461-2	3
20	北里保育所	近江八幡市江頭町412-1	3
21	あおば乳児保育所	近江八幡市馬淵町2345	3
22	あおぞら園	蒲生郡日野町村井905	2
23	さくら園	蒲生郡日野町北脇988	2
24	こばと園	蒲生郡日野町三十坪1314	2
25	水口東保育園	甲賀市水口町本町1-2601	3
26	水口西保育園	甲賀市水口町八坂2338	3
27	三上保育園	野洲市近江富士5-1-3	1
28	守山保育園	守山市勝部町1-14-27	2
29	吉身保育園	守山市吉身2-6-61	2
30	玉津保育園	守山市石田町707	2
31	浮気保育園	守山市浮気町321-2	2
32	小津保育園	守山市欲賀町848	2
33	古高保育園	守山市古高町5	2
34	治田保育園	栗東市目川871-2	1
35	大宝保育園	栗東市野尻476	2
36	治田西保育園	栗東市中沢114-2	3
37	治田東保育園	栗東市安養寺6-7-12	1
38	秦川保育園	愛荘町蚊野2560	3
39	秦川愛児園	愛荘町目加田628-2	3

40	つくし保育園	愛荘町川原702-1	3
41	彦根市立ふたば保育園	彦根市金剛寺町101	2
42	日夏保育園	彦根市日夏町2634-1	2
43	多景保育園	彦根市須越町1154-5	2
44	城南保育園	彦根市西今町285-1	2
45	旭森保育園	彦根市東沼波町498-2	2
46	東山保育園	彦根市里根町235	2
47	鳥居本保育園	彦根市鳥居本町1445	1
48	さくらんぼ保育園	長浜市西上坂町1158	2
49	大谷保育園	長浜市元浜町32-4	3
50	長浜カトリック保育園	長浜市南高田町47	3
51	小谷保育園	東浅井郡湖北町丁野725-1	2

合計 109

NO	保育所名	施設の種類	所在地	配属数
1	めだかの学校	障害児通園事業	東近江市八日市上之町1-41	3
2	あかね寮	知的障害者更生施設	東近江市小脇町字栄2089	3
3	近江学園	知的障害児施設	湖南市東寺四丁目1-1	4
4	落穂寮	知的障害者更生施設	湖南市東寺二丁目2-2	4
5	一麦寮	知的障害者更生施設	湖南市東寺二丁目2-1	3
6	あざみ寮	知的障害者更生施設	湖南市石部が丘2-1-1	2
7	信楽学園	知的障害児施設	甲賀市信楽町神山473	3
8	信楽青年寮	知的障害者更生施設	甲賀市信楽町神山534-8	3
9	鹿深の家	児童養護施設	甲賀市甲賀町小佐治3557	6
10	びわこ学園医療 福祉センター野洲	重症心身障害児施設	野洲市北桜978-2	3
11	蛍の里	知的障害者更生施設	守山市州本町井関52	3
12	守山学園	児童養護施設	守山市笠原町西向瀬1257-1	3
13	びわこ学園医療 福祉センター草津	重症心身障害児施設	草津市笠山8-3-113	5
14	ステップ広場ガル	知的障害者更生施設	大津市石山千町清水270-3	4
15	小鳩乳児院	乳児院	大津市石山千町清水270-3	3
16	湘南学園	児童養護施設	大津市平津二丁目4-9	3
17	小鳩の家	児童養護施設	大津市錦織1-14-25	3
18	彦根学園	知的障害者更生施設	彦根市高宮町2671	4
19	さざなみ学園	情緒障害児短期治療施設	彦根市鳥居本町1586	4
20	彦根子ども家庭 相談センター	児童相談所・一時保護所	彦根市小泉町932-1	3
21	かいぜ寮	知的障害者更生施設	彦根市海瀬町久保255	2
22	第二湖北寮	知的障害者更生施設	長浜市大成亥町415-1	3
23	杉山寮	知的障害者更生施設	高島市今津町杉山253	3
24	こじか教室	障害児通園事業	甲賀市水口町字川209-1	3
25	市立さつき児童館	児童厚生施設	東近江市小脇町1697-1	2
26	市立ひまわり児童館	児童厚生施設	東近江市五個荘竜田町550	3
27	市立湖東第一児童館 (童夢の館)	児童厚生施設	東近江市下里3	2
28	ふれあいセンター つくし	児童厚生施設	東近江市佐野町341	4

29	ふれあいセンター あやめ	児童厚生施設	東近江市栗見新田町921	2
30	ふれあいセンター すみれ	児童厚生施設	東近江市小川町258	2
31	坂本児童館	児童厚生施設	大津市坂本6-33-19	3
32	皇子が丘児童館	児童厚生施設	大津市皇子が丘1-9-10	3
33	伊香立児童館	児童厚生施設	大津市伊香立下龍華町584-157	3
34	膳所児童館	児童厚生施設	大津市昭和町15-15	3
35	市立かえで児童館	児童厚生施設	甲賀市甲南町森尻672	3
36	田上児童館	児童厚生施設	大津市稲津1-14-30	3
37	堅田児童館	児童厚生施設	大津市堅田2-1-11	3
38	小野児童館	児童厚生施設	大津市水明一丁目37-1	3
39	市立東山児童館	児童厚生施設	彦根市里根町163-6	2
40	市立ふれあいの館	児童厚生施設	彦根市八坂町2408	2

合計 120

実 習 評 価 票

保育所名		所長名		印
学年・学籍番号		実習生名		
実 習 期 間	平成 年 月 日 ～ 月 日 (実習総日数 10日間)			
出 勤 状 況	出勤数 日	欠勤数 日	遅刻 回	早退 回

※該当するところに○をして下さい (評価の基準・実習生として 5よくできた, 4できた, 3ふつう, 2努力必要, 1かなり努力必要)

実 習 態 度 ・ 実 習 意 欲	1. 自分から誰とでも気持ちよくあいさつができた	5	4	3	2	1
	2. ていねいな言葉づかいや、実習にふさわしい服装、マナーができていた	5	4	3	2	1
	3. 実習時間、記録、指導案の提出など、決められた約束がきちんと守れた	5	4	3	2	1
	4. 目的意識をきちんと持って実習に取り組むことができた	5	4	3	2	1
	5. 疑問に思ったこと、わからないことは積極的に質問しようとした	5	4	3	2	1
	6. 職員から受けた注意や助言を素直に聞き、次に生かそうとした	5	4	3	2	1
	(その他、特記事項)					
指 導 ・ 援 助 ・ 保 育 技 術	7. 子どもの名前を覚え、親しみを持って関わる事ができた	5	4	3	2	1
	8. どの子どもも積極的に関わり、個々の気持ちを受け止めて関わる事ができた					
	9. 健康や安全に留意しながら子どもと関わる事ができた	5	4	3	2	1
	10. 発達段階や個人差に配慮しながら基本的な生活習慣に関わる援助ができた	5	4	3	2	1
	11. 教材研究がよくなされ、発達に応じた遊びの指導・援助が展開できた	5	4	3	2	1
	12. 指導案は子どもの姿をていねいに捉えて立案することができた	5	4	3	2	1
	13. 保育の準備や片付け、環境整備などに進んで取り組むことができた	5	4	3	2	1
	14. 職員との連携・協力を意識しながら保育を進めることができた	5	4	3	2	1
(その他、特記事項)						
記 録 ・ 考 察 等	15. 適切な表現で記述できた	5	4	3	2	1
	16. 子どもの姿を事実に基づいて丁寧に捉えていた	5	4	3	2	1
	17. 保育士の意図するねらいを捉え、指導・援助、環境構成について考察できた	5	4	3	2	1
	18. 実習園の教育目標や教育内容について実際との関連から理解しようとした	5	4	3	2	1
	19. 保育所の機能と役割について理解しようとした	5	4	3	2	1
	20. 自分の取り組みを日々振り返りながら、毎日課題を見つけて取り組もうとした	5	4	3	2	1
(その他、特記事項)						
総合所見	(総合評価 5 4 3 2 1)					

実習評価票

施設名				施設長名	⑩			
				実習指導者名	⑩			
実習生学籍番号		学年		実習生名				
実習期間	年 月 日 ~ 年 月 日							
出勤状況	出勤日数	日	欠勤	日	遅刻	回	早退	回
評価のポイント				評価点				
1. 一般的態度	礼儀・言葉づかい・服装(身だしなみ) 誠実さ			5 4 3 2 1				
	特記							
2. 実習態度	利用者・職員と接する態度、 積極性・協調性・責任性			5 4 3 2 1				
	特記							
3. 研究意欲	探求心・課題意識			5 4 3 2 1				
	特記							
4. 保育援助	利用者の把握・援助・創意工夫			5 4 3 2 1				
	特記							
5. 観察・記録	実習記録の整理・観察力・表現力			5 4 3 2 1				
	特記							
総合所見(今回の実習で努力がみられた点や今後の課題などについて具体的にご記入下さい)								

※ 注意事項 ・特記の欄には、各項目について特にお気づきのことをお書き下さい。
・評価点は「3」を基準とし「5」に向かって優として下さい。

NO	実習施設名	所在地
1	真盛園	大津市坂本5-13-1
2	榛原の里	大津市真野普門三丁目1120番地
3	滋賀保護院	大津市本宮2-6-45
4	桐生園	大津市上田上桐生町37
5	福寿荘	大津市大萱七丁目7-1
6	ふじの里	高島市安曇川町下小川字藤ノ里3220-1
7	さわやか荘	高島市今津町大字浜分528-11
8	清湖園	高島市今津町南新保87
9	清風荘	高島市今津町南新保87
10	びわこ学園医療福祉センター野洲	野洲市北桜978-2
11	悠紀の里	野洲市南桜2131-1
12	淡海荘	栗東市出庭697-1
13	美松苑	湖南市針1325
14	せせらぎ苑	甲賀市甲南町葛木855
15	甲賀荘	甲賀市甲賀町大原中904
16	兆生園	甲賀市水口町今郷字北山1032-25
17	るりこう園	甲賀市土山町野上野497
18	信楽荘	甲賀市信楽町大字牧字小屋カイト1159
19	リハビリセンターあゆみ	東近江市新宮町558番地
20	能登川園	東近江市新宮町547番地
21	清水苑	東近江市五個荘川並町268番地
22	カルナハウス	東近江市建部下野町797
23	玉園ハイム	東近江市尻無町字山ノ間1170-3
24	菊水園	東近江市下里町字桑の木789
25	アロフェンテ彦根	彦根市竹ヶ鼻町80番地
26	近江第二ふるさと園	彦根市開出今町1343-3
27	いぬかみ	犬上郡多賀町中川原605番地2
28	パストラールとよさと	犬上郡豊郷町石畑212
29	ヴォーリズ老健センター	近江八幡市北之庄町492
30	ゆいの里	守山市洲本町井関1
31	菖蒲の郷	草津市山寺町837
32	むれやま荘	草津市笠山八丁目5-130
33	びわこ学園医療福祉センター草津	草津市笠山八丁目3番113号
34	福良荘	東浅井郡浅井町内保480
35	青浄苑	長浜市加田町字清水2995
36	長浜メディケアセンター	長浜市加田町2984-1
37	湖北やすらぎの里	伊香郡木之本町黒田1221
38	滋賀県立日野溪園	蒲生郡日野町松尾121
39	白寿荘	蒲生郡日野町松尾御霊谷359
40	誉の松	蒲生郡日野町深山口524番地
41	万葉の里	蒲生郡竜王町山之上632

異文化体験（海外研修）実施計画書

◆ 概要

対象学年	2年生	渡航先	中華人民共和国
実施日	8月下旬		山東省青島市
ねらい	海外（中国）で教育現場、福祉施設などを見学し、現地の人々と交流することによって、異文化を肌で感じ、国際化の観点から、異文化理解、多文化共生、平和と民族共存などについての教養を深めていく。		

◆ 計画案

項目	詳細
実施時期及び期間	春期 2週間程度
研修受け入れ先	中国海洋大学（青島市）
研修内容	午前 語学研修（4時間） 午後 見学および異文化体験
見学先（予定）	市内観光・青島ビール工場・オリンピックヨット競技場 幼稚園・小学校等、教育機関 福祉施設（老人ホーム）・コミュニティセンター（老人大学） 等
異文化体験（予定）	現地学生および一般市民との交流・中華料理・太極拳・中国書画・中国茶芸 等
受け入れ可能人数	20名程度
費用	実施時期によって異なる 航空券＋食費・宿泊費＋現地活動費用 等
研修先との連携体制	受け入れ先と協議
事前学習等	研修開始前に1週間の中国語および予備知識学習のためのセミナーを実施。各自テーマを設定し、研修終了後にレポート提出。

編入学科目読替表

科目名		単位数	読替えの範囲	
教養教育科目	人権教育	2	社会と人権 同和教育 差別と人権	
	法と社会(日本国憲法)	2	くらしと憲法 日本国憲法 法学(日本国憲法)	
	社会科学入門	2	社会科学と生活 情報社会と人間	
	社会学	2	家族社会学 比較社会学	
	社会調査論	2	社会調査法 社会福祉調査法	
	経済学	2	入門経済学 経済原論	
	自然の理解	滋賀の環境	2	地域環境論 くらしと環境
		自然科学入門	2	自然科学論 自然科学と生活
		微生物学	2	微生物学概論 感染症学
		生命と科学	2	生命科学 環境生態学
		医学概論(公衆衛生学・予防医学を含む)	2	公衆衛生学 医学一般
		物理学入門	2	物理学 物理学概論
	人間・文化の理解	基礎心理学	2	心理学 心理学入門
		宗教学	2	宗教学概論 宗教学入門
		哲学と人間	2	哲学 哲学概説
		地域歴史学	2	歴史学 民俗学 日本史
		生活科学入門	2	生活科学概論 生活と科学 くらしと科学
		国際文化論	2	異文化理解 異文化概説
ことば・情報	基礎英語Ⅰ	2	英語A 英語Ⅰ 基礎英語A	
	基礎英語Ⅱ	2	英語B 英語Ⅱ 基礎英語B	
	英会話Ⅰ	2	英会話A 英会話Ⅰ 初級英会話	
	英会話Ⅱ	2	英会話B 英会話Ⅱ 中級英会話	
	中国語会話Ⅰ	2	中国語A 中国語Ⅰ 初級中国語	
	中国語会話Ⅱ	2	中国語B 中国語Ⅱ 中級中国語	
	ポルトガル語会話Ⅰ	2	ポルトガル語A ポルトガル語Ⅰ 初級ポルトガル語	
	ポルトガル語会話Ⅱ	2	ポルトガル語B ポルトガル語Ⅱ 中級ポルトガル語	
	手話・要約筆記演習	1	※聴覚障害者支援に関する科目	
	点字・ガイドヘルプ演習	1	※視覚障害者支援に関する科目	
	情報処理論	2	情報処理概論 情報システム	
	情報倫理論	2	情報倫理 情報倫理学	
	情報処理演習Ⅰ	1	情報処理A 情報処理Ⅰ	
	情報処理演習Ⅱ	1	情報処理B 情報処理Ⅱ	
大学入門	スタディ・スキルズ	1	大学入門基礎学 ベーシックセミナー	
	キャリアデザインⅠ	1	キャリアデザインセミナー キャリア計画論	
	キャリアデザインⅡ	1	キャリアデザインセミナー キャリア計画論	
健康	運動の科学	2	運動科学 運動生理学 健康体育学	
	体育実技Ⅰ	1	体育 体育実技 体育実習	
	体育実技Ⅱ	1	体育 体育実技 体育実習	

		科目名	単位数	読替えの範囲
専門教育科目	学科コア科目	子ども学総論	2	
		子ども教育学概論	2	教育原論 教育原理 教育学概論
		保育原理総論	4	保育原理
		養護原理総論	2	養護原理
		発達心理学	2	発達心理学A 発達心理学 I
		教育心理学	2	教育心理学A 教育心理学 I
		人間福祉概論	2	人間福祉学
		子ども福祉学概論	2	児童福祉論 児童福祉論A 児童福祉論 I
		子ども学総合演習	2	
		子ども学卒業研究	2	
	子ども教育基幹科目	教職概論	2	教職原理 教職入門 教職論
		障害児教育学	2	障害児教育論 障害児教育総論
		教育行政学	2	教育行財政学 教育行財政論
		教育課程論	2	カリキュラム論 教育課程総論
		地域・家庭連携論	2	
		幼児理解論	2	幼児理解 幼児理解の理論と方法
		教育相談論	2	教育相談学 教育相談心理学
		子どもの心理	2	児童心理学 乳幼児心理学
		子どもと読み書き	2	国語科概論
		子どもと数	2	算数科概論
子どもと自然	2	生活科概論		
子どもと遊び	2	遊戯学 子ども学		
子どもと音楽 I	2	音楽演習A 音楽演習 I		
子どもと音楽 II	2	音楽演習B 音楽演習 II		
子どもと図画工作 I	2	造形A 造形 I		
子どもと図画工作 II	2	造形B 造形 II		
子どもと運動	2	体育科概論		
子ども教育展開科目	道徳教育指導論	2	道徳教育論 道徳・特別活動論	
特別活動論	2	特別活動指導法 道徳・特別活動論		
教育方法学	2	教育方法論		
教育情報学	2	情報科学		
生徒・進路指導論	2			
生涯学習論	2	社会教育論 成人教育論		
学校保健論	2	学校保健		
健康相談論	2	健康相談活動の理論及び方法		
衛生学	2			
養護概説	2	養護学概論		
解剖生理学	2			
免疫・薬理学	2			
精神保健学	2	精神保健 精神保健論		
基礎看護学	4	看護学概論 看護概論 看護学		
救急医学論	2	救急医学 救急医療		

		科目名	単位数	読替えの範囲
専門教育科目	子ども福祉基幹科目	現代社会と福祉Ⅰ	2	社会福祉論 社会福祉概論 社会福祉原論
		社会福祉援助技術論	4	社会福祉援助技術総論
		障害児・者福祉論	4	障害者福祉論
		保育計画論	2	
		障害児保育学	2	障害児保育論
		現代社会と福祉Ⅱ	2	社会福祉概論 社会福祉原論
		地域福祉論	4	地域福祉 地域福祉学
		社会保障論	4	社会保障 社会保障概論
		公的扶助論	4	公的扶助 生活保護論
		家族援助論	2	家庭福祉 母子福祉論
	子どもの健全育成論Ⅰ	2	子どもの健全育成	
	子どもの健全育成論Ⅱ	2	児童館の機能と運営	
	食育論(食品学を含む)	2	栄養学(食品学を含む)	
	子どもの食事	2	小児栄養	
	子どもの保健	4	小児保健	
	子どもの保健実習	1	小児保健実習	
	保育指導法総論	2	保育内容総論	
	子どもと環境	2	保育内容環境 保育指導法環境	
	子どもと健康	2	保育内容健康 保育指導法健康	
	子どもと人間関係	2	保育内容人間関係 保育指導法人間関係	
	子どもと言葉	2	保育内容言葉 保育指導法言葉	
	子どもと表現	2	保育内容表現 保育指導法表現	
	乳児保育演習Ⅰ	1	乳児保育 乳児保育A	
	乳児保育演習Ⅱ	1	乳児保育 乳児保育B	
	障害児保育演習	1	障害児保育	
	養護内容演習	1	養護内容	
	音楽療法演習	1	音楽療法	
	遊戯療法演習	2	遊戯療法	
	言語療法演習	1	言語療法	
	社会福祉援助技術演習Ⅰ	2	社会福祉援助技術演習	
	社会福祉援助技術演習Ⅱ	2	社会福祉援助技術演習	
	子ども福祉展開科目	教職実践演習	2	教職実践
		教科教育法 国語	2	国語科教育法 初等教科教育法(国語)
		教科教育法 社会	2	社会科教育法 初等教科教育法(社会)
		教科教育法 算数	2	算数科教育法 初等教科教育法(算数)
		教科教育法 理科	2	理科教育法 初等教科教育法(理科)
		教科教育法 生活	2	生活科教育法 初等教科教育法(生活)
		教科教育法 音楽	2	音楽科教育法 初等教科教育法(音楽)
		教科教育法 図画工作	2	図工科教育法 初等教科教育法(図画工作)
		教科教育法 家庭	2	家庭科教育法 初等教科教育法(家庭)
		教科教育法 体育	2	体育科教育法 初等教科教育法(体育)
		総合的学習の研究(介護等体験を含む)	2	
		教育実習指導(小学校)	1	小学校教育実習指導
		教育実習(小学校)	4	小学校教育実習
		上級教育実習(小学校)	2	
		教育実習指導(幼稚園)	1	幼稚園教育実習指導
		教育実習(幼稚園)	4	幼稚園教育実習
		上級教育実習(幼稚園)	2	
		看護技術演習	2	
		看護臨床実習	2	
養護実習指導		1		
養護実習		4		
保育実践演習		1	保育実践	
保育実習指導		1		
保育実習Ⅰ(施設)		2	保育実習ⅠB	
保育実習Ⅰ(保育所)		2	保育実習ⅠA	
保育実習Ⅱ	2			
保育実習Ⅲ	2			
発展科目				

※その他「読み替えの範囲」に記載のない科目にあっては、当該科目の授業科目の概要を確認のうえ、認定することがある。

編入学科目読替表

科目名		単位数	読替えの範囲
教養教育科目	人権教育	2	社会と人権 同和教育 差別と人権
	法と社会(日本国憲法)	2	くらしと憲法 日本国憲法 法学(日本国憲法)
	社会科学入門	2	社会科学と生活 情報社会と人間
	家族社会学	2	地域社会学 比較社会学
	社会調査論	2	社会調査法 社会福祉調査法
	経済学	2	入門経済学 経済原論
	滋賀の環境	2	地域環境論 くらしと環境
	自然科学入門	2	自然科学論 自然科学と生活
	微生物学	2	微生物学概論 感染症学
	生命と科学	2	生命科学 環境生態学
	医学概論(公衆衛生学・予防医学を含む)	2	公衆衛生学 医学一般
	物理学入門	2	物理学 物理学概論
	基礎心理学	2	心理学 心理学入門
	宗教学	2	宗教学概論 宗教学入門
	哲学と人間	2	哲学 哲学概説
	地域歴史学	2	歴史学 民俗学 日本史
	生活科学入門	2	生活科学概論 生活と科学 くらしと科学
	国際文化論	2	異文化理解 異文化概説
	基礎英語Ⅰ	2	英語A 英語Ⅰ 基礎英語A
	基礎英語Ⅱ	2	英語B 英語Ⅱ 基礎英語B
英会話Ⅰ	2	英会話A 英会話Ⅰ 初級英会話	
英会話Ⅱ	2	英会話B 英会話Ⅱ 中級英会話	
中国語会話Ⅰ	2	中国語A 中国語Ⅰ 初級中国語	
中国語会話Ⅱ	2	中国語B 中国語Ⅱ 中級中国語	
ポルトガル語会話Ⅰ	2	ポルトガル語A ポルトガル語Ⅰ 初級ポルトガル語	
ポルトガル語会話Ⅱ	2	ポルトガル語B ポルトガル語Ⅱ 中級ポルトガル語	
手話・要約筆記演習	1	※聴覚障害者支援に関する科目	
点字・ガイドヘルプ演習	1	※視覚障害者支援に関する科目	
情報処理論	2	情報処理概論 情報システム	
情報倫理論	2	情報倫理 情報倫理学	
情報処理演習Ⅰ	1	情報処理A 情報処理Ⅰ	
情報処理演習Ⅱ	1	情報処理B 情報処理Ⅱ	
大学入門	スタディ・スキルズ	1	大学入門基礎学 ベーシックセミナー
	キャリアデザインⅠ	1	キャリアデザインセミナー キャリア計画論
	キャリアデザインⅡ	1	キャリアデザインセミナー キャリア計画論
健康	運動の科学	2	運動科学 運動生理学 健康体育学
	体育実技Ⅰ	1	体育 体育実技 体育実習
	体育実技Ⅱ	1	体育 体育実技 体育実習

		科目名	単位数	読替えの範囲	
学科コア科目		教育福祉学	2		
		子ども学総論	2		
		子ども教育学概論	2	教育原論 教育原理 教育学概論	
		子ども教育学概論(養護)	2	教育原論 教育原理 教育学概論	
		発達心理学	2	発達心理学A 発達心理学 I	
		教育心理学	2	教育心理学A 教育心理学 I	
		教育心理学(養護)	2	教育心理学A 教育心理学 I	
		人間福祉概論	2	人間福祉学	
		子ども福祉学概論	2	児童福祉論 児童福祉論A 児童福祉論 I	
		子ども学総合演習	2		
		子ども学総合演習(養護)	2		
		子ども学卒業研究	2		
	専門教育科目	子ども教育基幹科目	教職概論	2	教職原理 教職入門 教職論
			教職概論(養護)	2	教職原理 教職入門 教職論
子どもの心理			2	児童心理学 乳幼児心理学	
障害児教育学			2	障害児教育論 障害児教育総論	
教育課程論			2	カリキュラム論 教育課程総論	
教育課程論(養護)			2	カリキュラム論 教育課程総論	
地域・家庭連携論			2		
幼児理解論			2	幼児理解 幼児理解の理論と方法	
教育相談論			2	教育相談学 教育相談心理学	
教育相談論(養護)			2	教育相談学 教育相談心理学	
子ども教育科目		子ども教育展開科目	子どもと読み書き	2	国語科概論
			子どもと教	2	算数科概論
			子どもと遊び	2	遊戯学 子ども学
			子どもと音楽 I	2	音楽演習A 音楽演習 I
			子どもと音楽 II	2	音楽演習B 音楽演習 II
			子どもと図画工作 I	2	造形A 造形 I
			子どもと図画工作 II	2	造形B 造形 II
			子どもと運動	2	体育科概論
			道徳教育指導論	2	道徳教育論 道徳・特別活動論
			道徳教育指導論(養護)	2	道徳教育論 道徳・特別活動論
		特別活動論	2	特別活動指導法 道徳・特別活動論	
		特別活動論(養護)	2	特別活動指導法 道徳・特別活動論	
		教育方法学	2	教育方法論	
		教育方法学(養護)	2	教育方法論	
		教育行政学	2	教育行財政学 教育行財政論	
		教育行政学(養護)	2	教育行財政学 教育行財政論	
		教育情報学	2	情報科学	
		生徒・進路指導論	2		
		生徒・進路指導論(養護)	2		
		生涯学習論	2	社会教育論 成人教育論	
		学校保健論	2	学校保健	
		健康相談論	2	健康相談活動の理論及び方法	
衛生学		2			
養護概説		2	養護学概論		
解剖生理学	2				
免疫・薬理学	2				
精神保健学	2	精神保健 精神保健論			
基礎看護学	4	看護学概論 看護概論 看護学			
救急医学論	2	救急医学 救急医療			

		科目名	単位数	読替えの範囲
専門教育科目	子ども福祉基幹科目	保育原理総論	4	保育原理
		養護原理総論	2	養護原理
		現代社会と福祉Ⅰ	2	社会福祉論 社会福祉概論 社会福祉原論
		地域福祉論	4	地域福祉 地域福祉学
		障害児保育学	2	障害児保育論
	子ども福祉展開科目	現代社会と福祉Ⅱ	2	社会福祉概論 社会福祉原論
		社会保障論	4	社会保障 社会保障概論
		公的扶助論	4	公的扶助 生活保護論
		家族援助論	2	家庭福祉 母子福祉論
		子どもの健全育成論Ⅰ	2	子どもの健全育成
		子どもの健全育成論Ⅱ	2	児童館の機能と運営
		食育論(食品学を含む)	2	栄養学(食品学を含む)
		子どもの食事	2	小児栄養
		子どもの保健	4	小児保健
		子どもの保健実習	1	小児保健実習
		保育指導法総論	2	保育内容総論
		保育計画論	2	
		子どもと環境	2	保育内容環境 保育指導法環境
		子どもと健康	2	保育内容健康 保育指導法健康
		子どもと人間関係	2	保育内容人間関係 保育指導法人間関係
		子どもと言葉	2	保育内容言葉 保育指導法言葉
		子どもと表現	2	保育内容表現 保育指導法表現
		乳児保育演習Ⅰ	1	乳児保育 乳児保育A
		乳児保育演習Ⅱ	1	乳児保育 乳児保育B
		障害児・者福祉論	4	障害者福祉論
		障害児保育演習	1	障害児保育
		養護内容演習	1	養護内容
		音楽療法演習	1	音楽療法
		遊戯療法演習	2	遊戯療法
		言語療法演習	1	言語療法
		社会福祉援助技術論	4	社会福祉援助技術総論
		社会福祉援助技術演習Ⅰ	2	社会福祉援助技術演習
	社会福祉援助技術演習Ⅱ	2	社会福祉援助技術演習	

科目名		単位数	読み替えの範囲
専門 教育 科目	発展 科目	教職実践演習	2 教職実践
		教科教育法 国語	2 国語科教育法 初等教科教育法(国語)
		教科教育法 社会	2 社会科教育法 初等教科教育法(社会)
		教科教育法 算数	2 算数科教育法 初等教科教育法(算数)
		教科教育法 理科	2 理科教育法 初等教科教育法(理科)
		教科教育法 生活	2 生活科教育法 初等教科教育法(生活)
		教科教育法 音楽	2 音楽科教育法 初等教科教育法(音楽)
		教科教育法 図画工作	2 図工科教育法 初等教科教育法(図画工作)
		教科教育法 家庭	2 家庭科教育法 初等教科教育法(家庭)
		教科教育法 体育	2 体育科教育法 初等教科教育法(体育)
		総合的学習の研究(介護等体験を含む)	2
		教育実習指導(小学校)	1 小学校教育実習指導
		教育実習(小学校)	4 小学校教育実習
		上級教育実習(小学校)	2
		教育実習指導(幼稚園)	1 幼稚園教育実習指導
		教育実習(幼稚園)	4 幼稚園教育実習
		上級教育実習(幼稚園)	2
		看護技術演習	2
		看護臨床実習	2
		養護実習指導	1
		養護実習	4
		保育実践演習	1 保育実践
		保育実習指導	1
		保育実習Ⅰ(施設)	2 保育実習ⅠB
		保育実習Ⅰ(保育所)	2 保育実習ⅠA
		保育実習Ⅱ	2
		保育実習Ⅲ	2

※その他「読み替えの範囲」に記載のない科目にあつては、当該科目の授業科目の概要を確認のうえ、認定することがある。

資料一38 編入生履修モデル(幼稚園教員)

科目名		3年次				4年次				
		春期		秋期		春期		秋期		
		科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
教養教育科目	社会の理解	人権教育	2	法と社会(日本国憲法)	2					
	自然の理解			滋賀の環境	2					
	人間・文化の理解									
	ことば・情報	中国語会話 I	2							
		手話・要約筆記演習	1							
		情報処理演習 I	1	情報処理演習 II	1					
	大学入門	スタディ・スキルズ	1			キャリアデザイン I	1			
健康										
専門教育科目	学科コア科目		子ども学総合演習	1	子ども学総合演習	1	子ども学卒業研究	1	子ども学卒業研究	1
					子ども学総論	2			人間福祉概論	2
	子ども教育基幹科目		地域・家庭連携論	2	教職概論	2			障害児教育学	2
					幼児理解論	2			教育行政学	2
					教育相談論	2			教育課程論	2
	子ども教育展開科目		子どもの心理	2	子どもと音楽 II	1	子どもと音楽 II	1	教育方法学	2
			子どもと読み書き	2	子どもと図画工作 II	1	子どもと図画工作 II	1	教育情報学	2
	子ども福祉基幹科目		障害児・者福祉論	4	障害児保育学	2				
					社会福祉援助技術論	4				
	子ども福祉展開科目		子どもの健全育成論 I	2						
発展科目						教育実習指導(幼稚園)	1			
						教育実習(幼稚園)	4			
			20		22		9		13	

計 64

※ 卒業所要単位数 124 単位 :教養教育科目及び専門教育科目について、短期大学等における既修得単位数により最大60単位の読み替えによる認定を行う。

※ この履修モデルは、短期大学等を卒業し保育士資格を有する者が、幼稚園教諭一種免許状を取得するための一例である。既修得単位の状況により、入学後に修得を必要とする単位数が異なり、所定の年限内で免許取得できないことがある。

資料—38 編入生履修モデル(小学校教員)

科目名		3年次				4年次				
		春期		秋期		春期		秋期		
		科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
教養教育科目	社会の理解									
	自然の理解									
	人間・文化の理解									
	ことば・情報	手話・要約筆記演習	1							
	大学入門	スタディ・スキルズ	1			キャリアデザインⅠ	1			
	健康									
専門教育科目	学科コア科目		子ども学総合演習	1	子ども学総合演習	1	子ども学卒業研究	1	子ども学卒業研究	1
			保育原理総論	4	子ども学総論	2	子ども福祉学概論	2	人間福祉概論	2
							養護原理総論			2
	子ども教育科目	子ども教育基幹科目							障害児教育学	2
		子ども教育展開科目	生徒・進路指導論	2	道徳教育指導論	2				
	子ども福祉科目	子ども福祉基幹科目					障害児・者福祉論	4		
		子ども福祉展開科目	地域福祉論	4			社会保障論	4		
	発展科目		教科教育法 理科	2	教科教育法 国語	2	教職実践演習	1	教職実践演習	1
			教科教育法 生活	2	教科教育法 社会	2	総合的学習の研究 (介護等体験を含む)	2		
			教科教育法 音楽	2	教科教育法 算数	2	教育実習指導(小学校)	1		
教科教育法 家庭			2	教科教育法 体育	2	教育実習(小学校)	4			
教科教育法 図画工作				2						

21

15

20

8

計 64

※ 卒業所要単位数 124 単位 :教養教育科目及び専門教育科目について、短期大学等における既修得単位数により最大60単位の読み替えによる認定を行う。

※ この履修モデルは、短期大学等を卒業し幼稚園教諭二種免許状を有する者が、小学校教諭一種免許状を取得するための一例である。既修得単位の状況により、入学後に修得を必要とする単位数が異なり、所定の年限内で免許取得できないことがある。

資料—38 編入生履修モデル(養護教員)

科目名		3年次				4年次				
		春期		秋期		春期		秋期		
		科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
教養教育科目	社会の理解									
	自然の理解									
	人間・文化の理解									
	ことば・情報	点字・ガイドヘルプ演習	1							
	大学入門	スタディ・スキルズ	1			キャリアデザイン I	1			
	健康									
専門教育科目	学科コア科目	子ども学総合演習	1	子ども学総合演習	1	子ども学卒業研究	1	子ども学卒業研究	1	
		保育原理総論	4	子ども学総論	2			人間福祉概論	2	
								養護原理総論	2	
	子ども教育基幹科目	子ども教育展開科目	基礎看護学	4	衛生学	2			障害児教育学	2
			救急医学論	2	解剖生理学	2			幼児理解論	2
			養護概説	2	精神保健学	2				
					学校保健論	2				
					健康相談論	2				
					免疫・薬理学	2				
	子ども福祉基幹科目	子ども福祉展開科目	子どもの健全育成論 I	2	食育論(食品学を含む)	2	乳児保育演習 I	1	現代社会と福祉 I	2
							障害児保育演習	1	障害児保育学	2
発展科目		看護技術演習	1	看護技術演習	1	養護実習指導	1			
				看護臨床実習	2	養護実習	4			

18

20

13

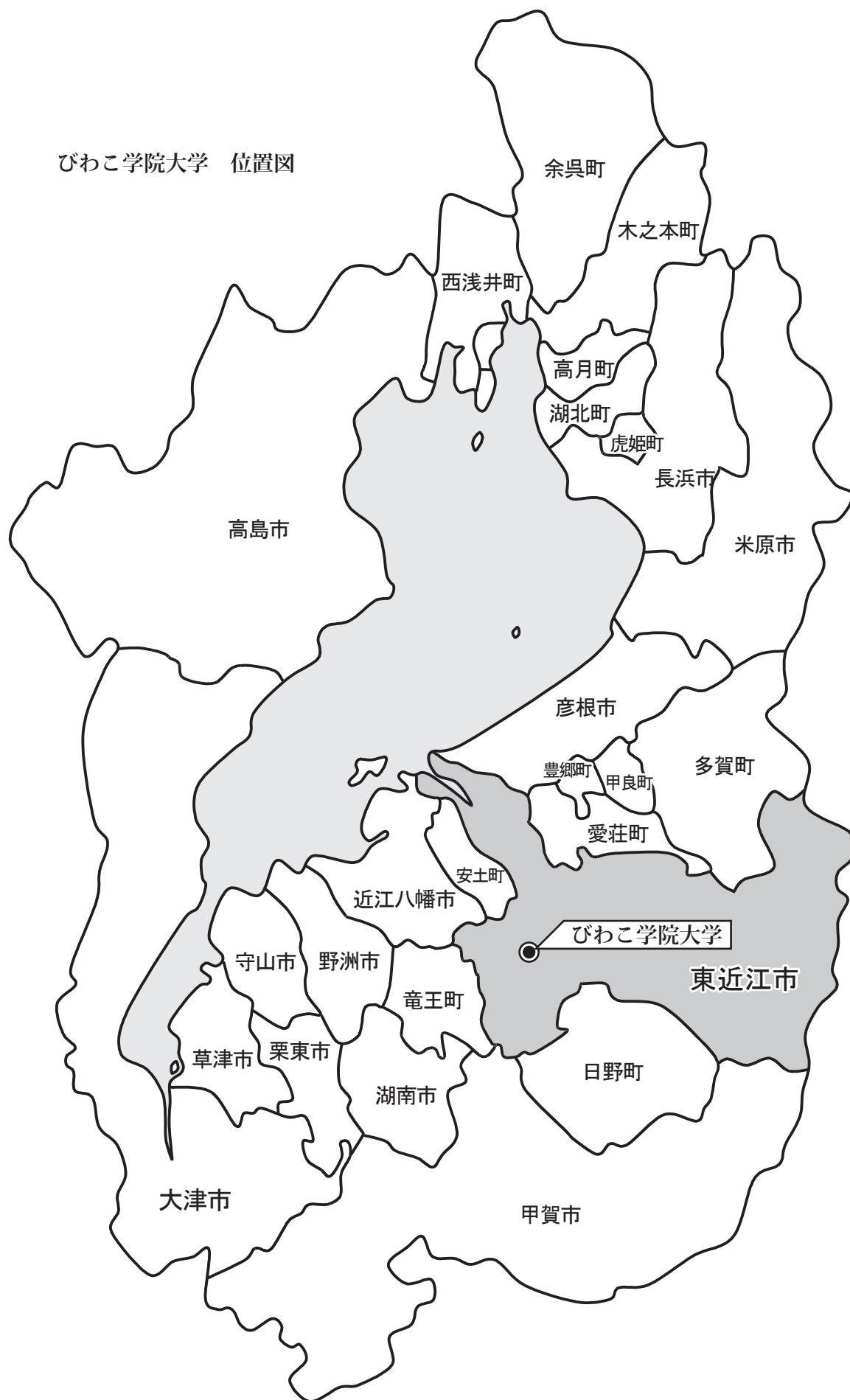
13

計 64

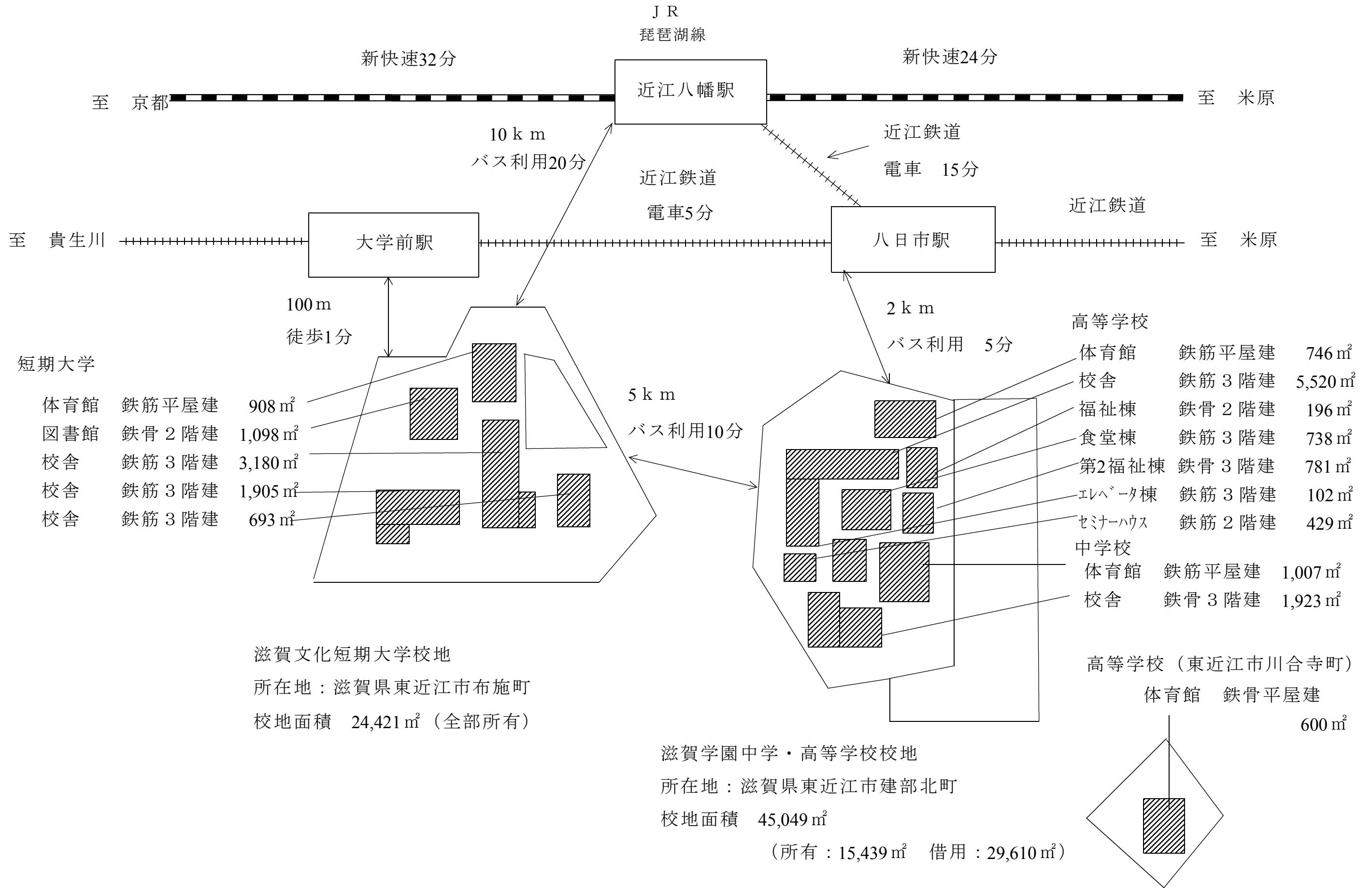
※ 卒業所要単位数 124 単位 :教養教育科目及び専門教育科目について、短期大学等における既修得単位数により最大60単位の読み替えによる認定を行う。

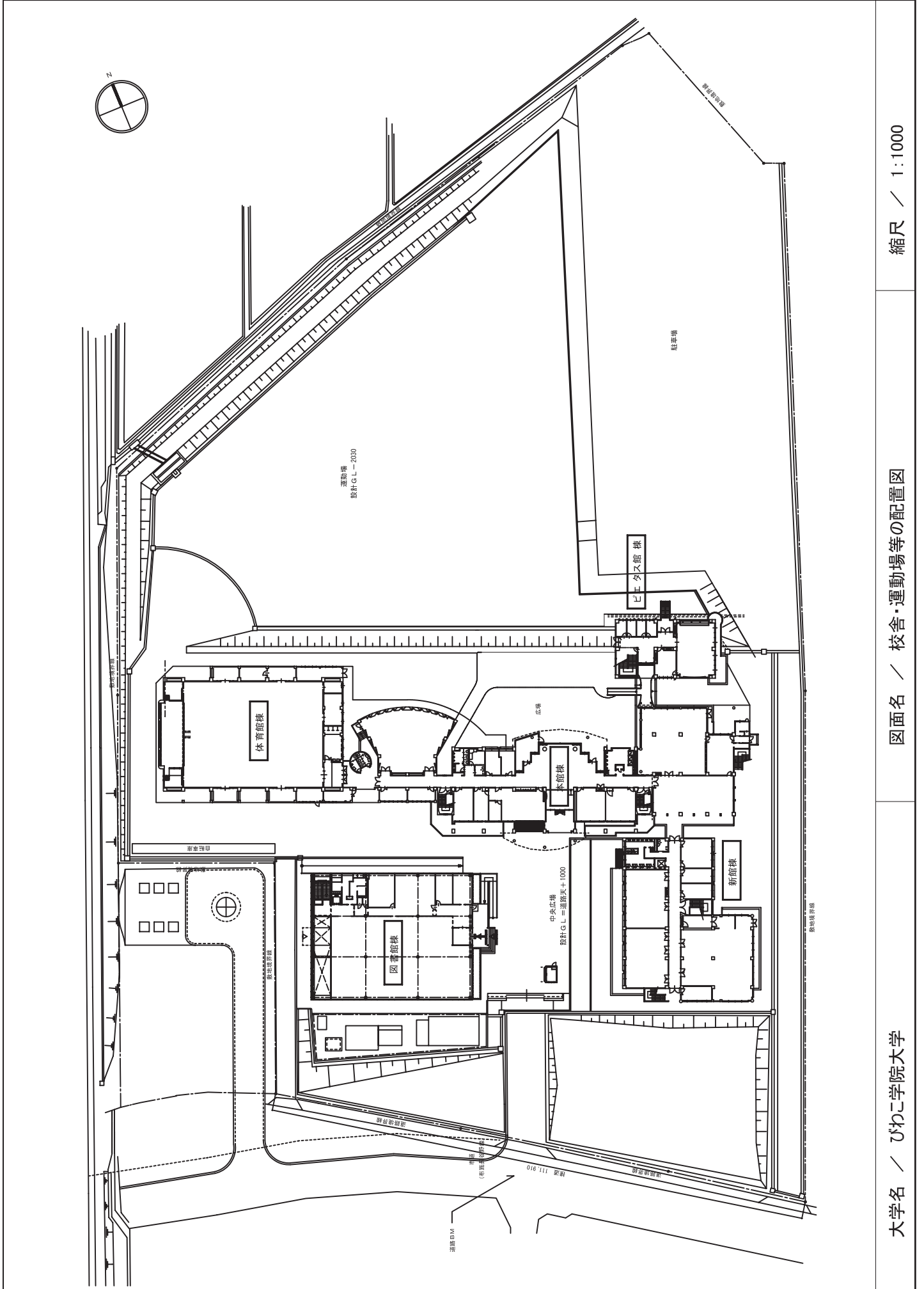
※ この履修モデルは、短期大学等を卒業し小学校教諭二種免許状を有する者が、養護教諭一種免許状を取得するための一例である。既修得単位の状況により、入学後に修得を必要とする単位数が異なり、所定の年限内で免許取得できないことがある。

びわこ学院大学 位置図



学校の位置及び校地、校舎の配置図の概要

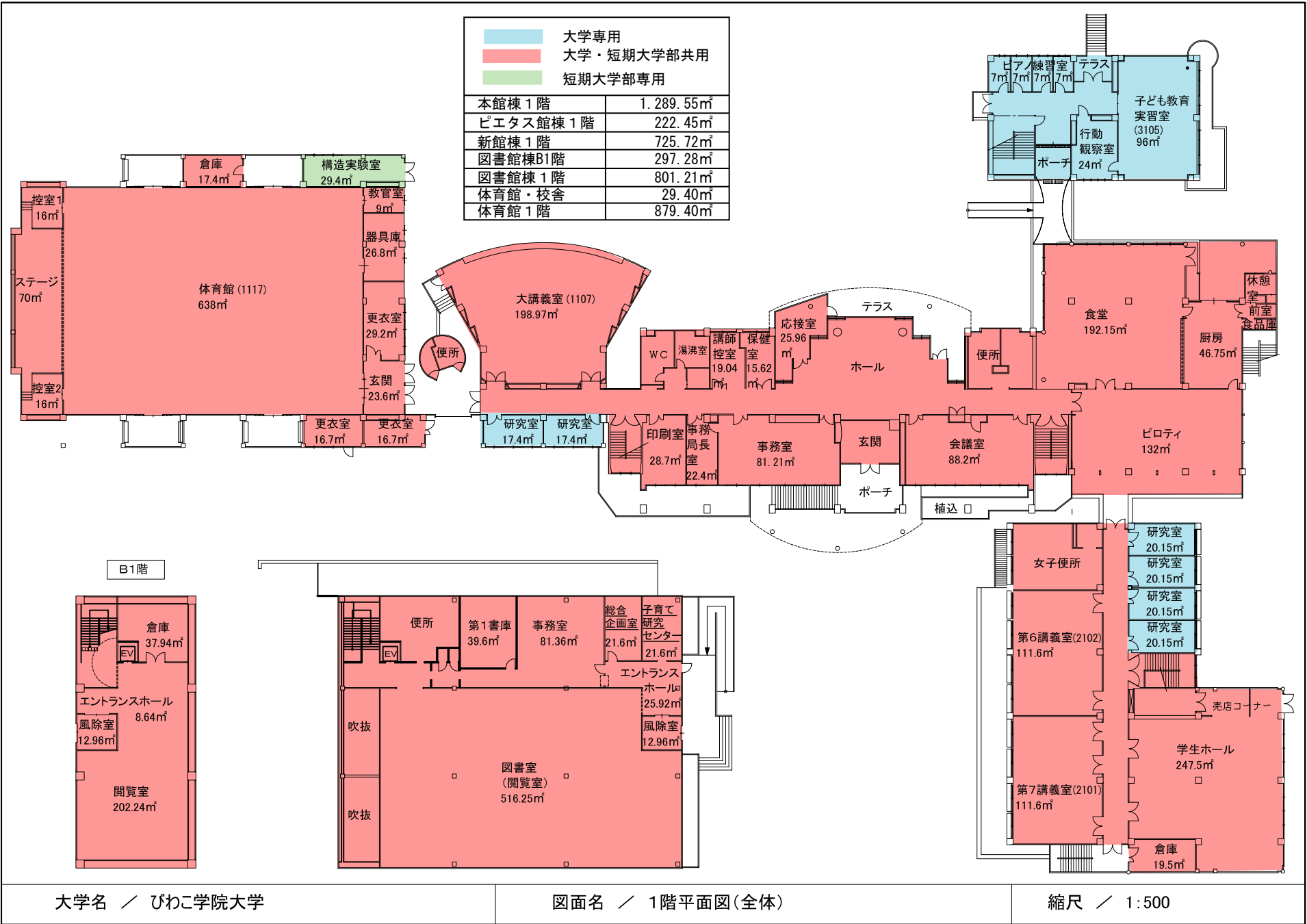




縮尺 / 1:1000

図面名 / 校舎・運動場等の配置図

大学名 / びわこ学院大学






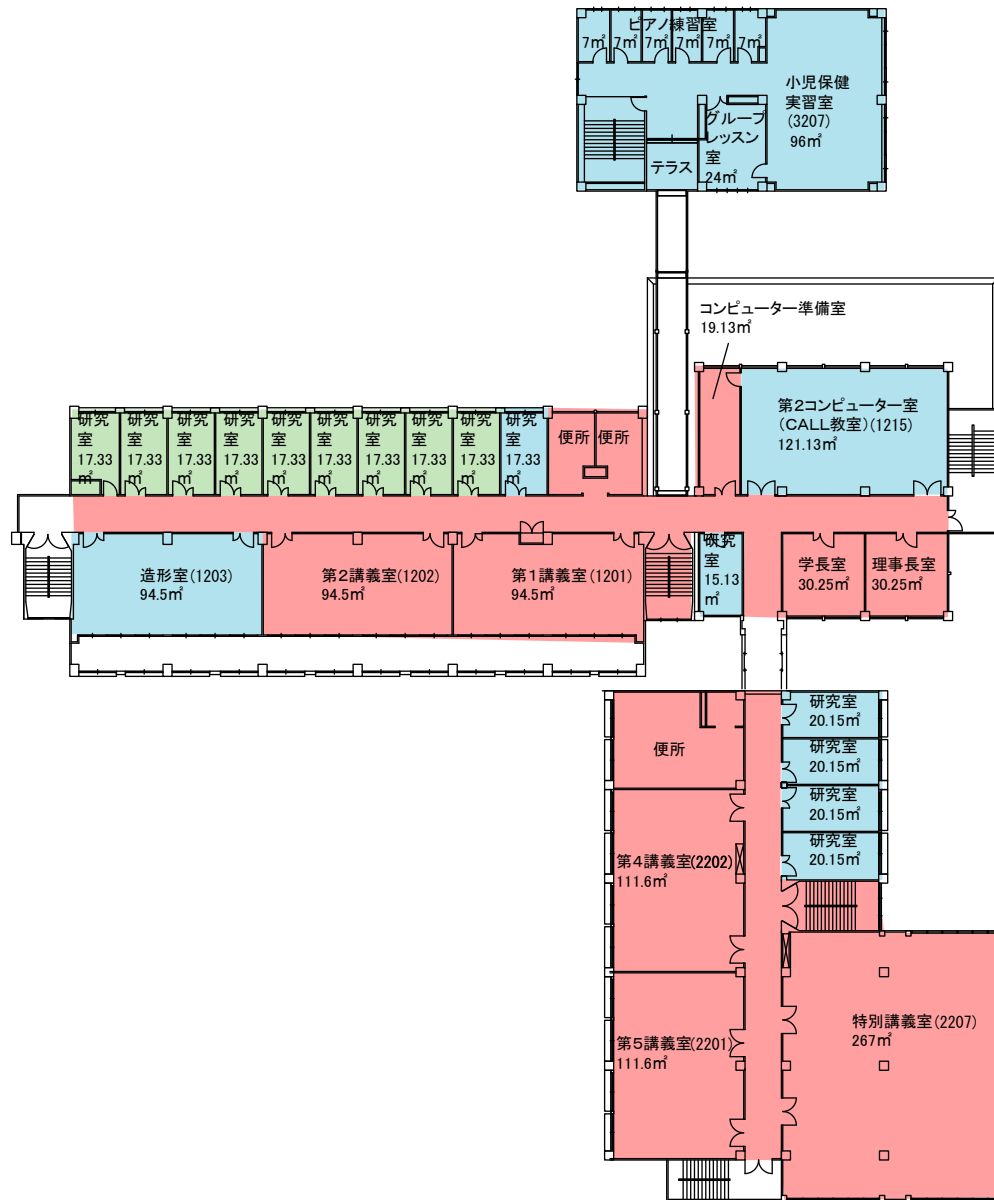
大学名 / びわこ学院大学

図面名 / 1階平面図(全体)

縮尺 / 1:500

5

	大学専用
	大学・短期大学部共用
	短期大学部専用
本館棟2階	916.84㎡
ピエタス館棟2階	232.56㎡
新館棟2階	733.56㎡



大学名 / びわこ学院大学

図面名 / 2階平面図

縮尺 / 1:500

 大学専用	
 大学・短期大学部共用	
 短期大学部専用	
本館棟3階	974.22㎡
ピエタス館棟3階	238.30㎡
新館棟3階	446.31㎡

